

保險法

目次

緒論

第一編 總則

第一章 保險契約ノ性質

第一節 保險契約ノ定義

第二節 保險契約ノ特性

第二章 被保險利益

第一節 被保險利益ノ性質

第二節 被保險利益ノ價格

第三章 保險料

第四章 當事者及ヒ代理人

第一節 當事者

第二節 代理人

保險法目次



| | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 一 | 五 | 同 | 五 | 四 | 三 | 同 | 二 | 八 | 同 | 同 | 五 | 一 |
| | 三 | 丁 | 〇 | 一 | 四 | 丁 | 二 | 丁 | 丁 | 丁 | 丁 | 丁 |
| | 五 | | | | | | | | | | | |
| | 三 | | | | | | | | | | | |
| | 丁 | | | | | | | | | | | |

| | | |
|-----|-------------------|------|
| 第二章 | 火災保險 | 一六二丁 |
| 第三章 | 委棄ノ効果 | 一五八丁 |
| 第二款 | 委棄ヲ爲シ得ヘキ場合 | 一五二丁 |
| 第一款 | 委棄ノ性質 | 同 丁 |
| 第七節 | 委棄 | 一五〇丁 |
| 第六節 | 保険料ノ増減 | 一四七丁 |
| 第五節 | 損失ノ補償 | 一三二丁 |
| 第四節 | 保険契約ノ解除 | 一三〇丁 |
| 第三節 | 海上ノ危険 | 一二五丁 |
| 第二節 | 被保険物ノ價格 | 一一九丁 |
| 第一節 | 海上保險ノ目的物 | 同 丁 |
| 第一章 | 海上保險 | 同 丁 |
| 第二編 | 各論 | 一〇九丁 |
| 第十章 | 保險營業 | 一〇〇丁 |
| 第九章 | 保險契約ノ移轉 | 九六丁 |
| 第八章 | 損失ノ賠償 | 八八丁 |
| 第三節 | 超過保險 | 八七丁 |
| 第二節 | 不足保險 | 八三丁 |
| 第一節 | 重複保險 | 同 丁 |
| 第七章 | 重複保險不足保險及 超過保險 | 七九丁 |
| 第三節 | 保險證券ノ解釋 | 七四丁 |
| 第二節 | 保險證券ニ記載スヘキ條件 | 七三丁 |
| 第一節 | 保險證券ノ種類 | 七〇丁 |
| 第六章 | 保險證券 | 六九丁 |
| 第二節 | 危險ノ範圍 | 六五丁 |
| 第一節 | 危險ノ性質 | 六一丁 |
| 第五章 | 危險 | 二 |

| | | |
|-----|-------------------|------|
| 第二章 | 火災保險 | 一六二丁 |
| 第三章 | 委棄ノ効果 | 一五八丁 |
| 第二款 | 委棄ヲ爲シ得ヘキ場合 | 一五二丁 |
| 第一款 | 委棄ノ性質 | 同 丁 |
| 第七節 | 委棄 | 一五〇丁 |
| 第六節 | 保険料ノ増減 | 一四七丁 |
| 第五節 | 損失ノ補償 | 一三二丁 |
| 第四節 | 保険契約ノ解除 | 一三〇丁 |
| 第三節 | 海上ノ危険 | 一二五丁 |
| 第二節 | 被保険物ノ價格 | 一一九丁 |
| 第一節 | 海上保險ノ目的物 | 同 丁 |
| 第一章 | 海上保險 | 同 丁 |
| 第二編 | 各論 | 一〇九丁 |
| 第十章 | 保險營業 | 一〇〇丁 |
| 第九章 | 保險契約ノ移轉 | 九六丁 |
| 第八章 | 損失ノ賠償 | 八八丁 |
| 第三節 | 超過保險 | 八七丁 |
| 第二節 | 不足保險 | 八三丁 |
| 第一節 | 重複保險 | 同 丁 |
| 第七章 | 重複保險不足保險及 超過保險 | 七九丁 |
| 第三節 | 保險證券ノ解釋 | 七四丁 |
| 第二節 | 保險證券ニ記載スヘキ條件 | 七三丁 |
| 第一節 | 保險證券ノ種類 | 七〇丁 |
| 第六章 | 保險證券 | 六九丁 |
| 第二節 | 危險ノ範圍 | 六五丁 |
| 第一節 | 危險ノ性質 | 六一丁 |
| 第五章 | 危險 | 二 |

| | | |
|-----|-------------|------|
| 第一節 | 火災保險ノ性質 | 一六二丁 |
| 第二節 | 被保險利益 | 一六五丁 |
| 第三節 | 危険 | 一七〇丁 |
| 第四節 | 損失ノ賠償 | 一七三丁 |
| 第三章 | 土地ノ產物ノ保險 | 一七七丁 |
| 第四章 | 運送ノ保險 | 一八一丁 |
| 第五章 | 生命保險 | 一八五丁 |
| 第一節 | 生命保險ノ歴史 | 同 丁 |
| 第二節 | 生命保險ノ定義 | 一九〇丁 |
| 第三節 | 生命保險ノ性質 | 一九二丁 |
| 第四節 | 被保險利益 | 一九四丁 |
| 第五節 | 保險契約ノ無効及ヒ解除 | 二〇二丁 |

保險法目次終

保險法

法學士 馬場 愿 治 講述
 卒業生 高橋喜三郎 編輯

論

保險法ハ我國ニ於テハ實ニ新規ノ法律ニシテ且ツ斯法ヲ學フ者モ甚タ尠少ナルカ故ニ余ハ本論ニ入ルニ先タチテ保險法ノ概念ト其沿革トヲ略述セント欲スルナリ

抑モ保險ノ目的トスル所ハ即チ不慮ノ事變若クハ不測ノ事故ニ依リテ發生スル所ノ損失ヲ賠償スルニ在リ從テ保險ノ目的物トナルモノハ極メテ廣クシテ何等ノ財產ニテモ又何等ノ事業ニテモ何等ノ能力ニテモ苟モ金錢上ノ價值ヲ有スルモノハ悉ク之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ヘシ故ヲ以テ保險ノ種類ハ極メテ多クシテ單ニ我商法ニ於テ名目ヲ掲ケ居ルモノ、ミニ止マラス實ニ法理上其種類多キノミナラス現今歐米諸國ニ於テ實際行ハル、所ノ保險ヲ見ルモ我商法カ特ニ名

目ヲ掲ケ居レル保險ハ論ヲ俟タス或ハ債務者ノ能力ニ關シ或ハ僕婢ノ忠直ニ關シ或ハ雇主ノ資力ニ關シテ保險契約ヲ締結スルコトハ實ニ通例ノ事ナリトス然リト雖モ或泰西ノ學者ハ尙ホ且ツ保險ノ行ハル、所ノ區域甚タ狹隘ナリトシ今一層其區域ヲ擴張シ保險ヲ利用スルニ於テハ必ス莫大ナル利益ヲ見ル可シト曰ヘリ

我邦保險法ハ素トロエスレル氏ノ立案ニ基ツクモノナリト雖モ其實歐米諸國ノ法律ヲ移植シタルニ過キス然リ而シテ歐米諸國ニ於ケル保險ノ原則ハ決シテ立法者ノ考案ヨリ湧出シ來リタルモノニ非ス全ク商業ノ必要上自然ニ發達シタルモノニシテ確乎タル正義ノ基礎ニ基ツキ純白ナル公益ノ柱石ニ依リ一日ト雖モ文明社會ニ缺ク可カラサル所ノモノナリ

保險法ノ沿革ヲ考フルニ其濫觴ハ決シテ古キモノニ非ス太古商業盛ニ行ハレ海上權ヲ專ラニセル邦國ニ乏シカラサリシ時期ニ際シテモ尙ホ未タ保險法ナル有益ノ機關ヲ利用シテ商業ヲ保護シタルモノナシ今夫レ保險法ナクンハ商業ハ決シテ充分ノ發達ヲ見ルコト能ハス然ルニ保險法ノ保護ナクシテ盛ニ商業行ハレ

大ニ海上權ヲ利用スルコトハ今日ヨリ考フレハ實ニ奇々怪々ナルコト、云ハサル可カラサルナリ降テ中世ノ終ニ至リテハ學術技藝ノ復古商業再興ノ時代アリシカ其當時ニ於テモ保險法ハ未タ其萌芽タモ發生セサリシ現ニ此時代ニ於テ有名ナル「オレゴン」ノ法律及ヒ「ハンシャチック、アッソシエーション」ノ法律ヲ見ルニ一モ保險ニ關スル規定アルコトナシ果シテ然ラハ保險法ハ古代ニ起リタルモノニ非サルコトヲ明言スルモ大過ナカル可シト信ス降テ十五世紀ニ至リ漸ク保險ノ事項ヲ規定セル法典ヲ見ルニ至レリ千四百三十五年ノ「バルスロース」ノ法令即チ是ナリ而シテ歐羅巴ニ於テ通常人ノ唱道スル所ニ依レハ保險法ノ濫觴ハ第十四世紀ノ終ニ當リテ「バルチック海」ノ一小島ニ於テ編成シタル「ウエスビー」ノ法律ナリト云ヒ居レリ然リト雖モ斯法ノ起源ニ付キテハ學者ノ間異說紛々擾々トシテ未タ其眞否如何ヲ知ルコト能ハス又佛蘭西ノ或學者ノ唱フル所ニ依レハ中古ノ宗教法ハ冒險貸借ヲ以テ高利ノ貸借ナリト見做シ斷然之ヲ禁止セリ然ルニ千二百二十七年頃ヨリ千二百三十四年頃ノ間ニ於テ此禁制ヲ免カレンカ爲メニ保險契約ヲ發明シタリト云ヒ居レリ

保險ニ關シテ今日ニ傳ハレル書籍中最モ古キモノハ即チ「ルーギボン」ト稱スル佛蘭西法律書ナリ今ヤ此著書ニ依リテ見ルトキハ保險法ハ第十六世紀ニ在リテ業既ニ完全ナル一科ノ學術トナリシコトハ明白疑フ可カラサルノ事實ナリトス何トナレハ此著書ニ於テハ數多ノ原則及ヒ數多ノ判決例ヲ掲載シタルノミナラス寔ニ整然タル秩序ヲ具備シ居レハナリ然レトモ是レ唯タ保險ノ一種タル海上保險ニ付テノミ論斷ヲ下シタルニ過キスシテ其他ノ保險ニ至リテハ極メテ近世ノ創設ニ係リ且ツ其充分ノ發達ヲ見ルニ至リタルハ實ニ當世紀ニ在リ歐米諸國ノ法律ヲ見ルモ概ネ海上保險ノコトノミヲ規定スルニ止マリ他ノ保險ニ付テハ成文ヲ以テ之ヲ規定セルモノ極メテ少ナシトス蓋シ先ツ海上保險發達シ其他ノ保險ハ海上保險ニ倣ツテ各個人カ之ヲ取結フニ至リタルカ爲メナル可シ左レハ佛蘭西獨逸ノ法典ヲ始メトシ其他佛蘭西法典ニ摸倣シテ制定シタル各國ノ法典ハ何レモ皆單ニ海上保險ノコトノミヲ規定スルニ過キス而シテ又英國ニ於テモ海上保險ノ原則ヲ取捨折衷シテ以テ其他ノ保險ニ適用セリ唯タ僅カニ和蘭ト白耳義ノ新商法ノミ海上保險ト同シク其他ノ保險ニ付テモ稍々充分ナル原則ヲ制定

シ居レリ蓋シ我商法ハ此點ニ付キテハ和蘭及ヒ白耳義等ノ法律ニ摸倣シタルモノナル可シ

第一編 總 則

第一章 保險契約ノ性質

第一節 保險契約ノ定義

保險契約一般ノ定義ハ我商法第六百二十五條ニ之ヲ明掲セリ曰ク保險契約ハ保險者カ保險料ヲ受ケテ或ル物ニ關シ或ル時間ニ於テ不測又ハ不確定ノ事故ニ因リテ生スルコト有ル可キ喪失又ハ損害ニ付キ被保險者ニ賠償ヲ爲ス義務ヲ負フ契約タリト今ヤ此定義ヲ分析スルトキハ保險契約ニハ究竟左ニ講述スルカ如キ要素ヲ具備セサル可カラサルコト明カナリ

(第一) 保險者及ヒ被保險者 凡ソ契約ニハ二人以上ノ當事者ナカル可カラス保險契約ハ一ノ契約ナリ故ニ保險契約ニモ亦二人ノ當事者ナカル可カラス而シテ保險契約ニ於テ損失ノ賠償ヲ約諾スル者ヲ保險者ト名ケ保險料ヲ支拂ヒテ損失賠償ノ約諾ヲ受クル者ヲ被保險者ト稱ス

總則
保險契約
ノ性質
保險契約
ノ定義

(第二) 被保險利益 保險ハ有體物ニ關係スルコトアリ又無體物ニ關係スルコトアリ家屋ヲ保險ニ付スルカ如キハ即チ有體物ニ關係スルモノニシテ債務者ノ資力ヲ保險ニ付スルカ如キハ即チ無體物ニ關係スルモノナリ而シテ其有體物ニ關係スルト無體物ニ關係スルトヲ論セス必スヤ被保險利益ナカル可ラス否ラスンハ決シテ保險契約ヲ取結フコトヲ得サルナリ元來保險契約ナルモノハ損失ヲ補償スルコトヲ以テ主眼ト爲スモノナレハ其損失ス可キ利益ニシテ存在セスンハ保險契約ノ成立ヲ見サルヤ敢テ論ヲ俟タス故ニ他人ノ家屋ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス又債權者ニ非サル者ハ債務者ノ資力ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス何トナレハ毫モ被保險利益ヲ有セサレハナリ之ヲ要スルニ普通ノ契約ハ普通ノ能力アレハ自由ニ之ヲ取結フコトヲ得レトモ保險契約ハ普通ノ能力ヲ有スルノ外尙ホ被保險利益ヲ有スル者ニ非サレハ決シテ之ヲ取結フコト能ハサルモノトス

(第三) 不慮ノ事故ニ因リテ損失ヲ來スノ恐アルコト 抑モ保險契約ハ不慮ノ事故ニ因リテ生スル損失ヲ賠償スルコトヲ目的トスルモノナレハ一定ノ時日ニ

於テ必ス生ス可キ事故若クハ必ス生セサル事故ニ付テハ保險契約ヲ取結フコトヲ得ス保險ニ付ス可キ事故ハ必スヤ早晚起ル可キモノナルモ其起ル可キノ日不確定ナル乎若クハ其起不起ノ豫知ス可カラサルモノナルコトヲ要ス例ヘハ暴風雨ノ爲メニ船舶カ沈没スルカ如キハ其起ルヤ起ラサルヤ計ル可カラサルモノナリ又人ノ死亡ノ如キ早晚免カシク可カラサル所ナレトモ其日時ニ至リテハ實ニ不確定ナルモノナリ故ニ是等ノ事故ニ因リテ生ス可キ損失ハ保險ニ付スルコトヲ得ヘシ我商法第六百二十五條ノ所謂不測ノ事故トハ其起不起ノ豫知ス可カラサルモノヲ云ヒ不確定ノ事故トハ早晚起生スルモノニ相違ナキモ果シテ何レノ日ニ於テ起生スルヤ不確定ナルモノヲ云フコトナラン

(第四) 保險料 被保險者ハ不慮ノ事故ニ因リテ損失ヲ蒙ムルト否トニ拘ハラズ保險者ニ對シテ保險料ヲ支拂ハサル可カラス蓋シ保險料ハ保險者ノ負擔スル賠償義務ニ對スル報償タル可キモノナレハ若シ之ヲ欠如スルニ於テハ保險契約ハ其成立ヲ見サルナリ

(第五) 損失ノ賠償 若シ不慮ノ事故ニ因テ損失ヲ生スルトキハ保險者ハ其損失

ヲ賠償セサル可カラス何トナレハ損失ヲ賠償スルハ正サシク保險ノ目的ナレハナリ此事ニ關シテハ尙ホ後ニ詳論スル所アルカ故ニ茲ニハ唯其項目ヲ示ス而已

第二節 保險契約ノ特性

保險契約ハ左ニ講述スルカ如キ特性ヲ具備スルモノナリ

(第一) 補償 (Indemnity) ノ性質ヲ有スルコト

抑モ保險カ商業社會ニ發生シタルハ全ク補償ノ目的ヲ達センカ爲メニシテ社會カ之ヲ以テ必要缺ク可カラサルモノトスルモ復タ職ヲシテ其補償ノ性質ヲ有スルニ由ラスンハ非ス然ラハ補償トハ何ソヤ被保險者カ實際蒙リタル損失ヲ賠償スルノ謂ナリ何等ノ保險ト雖モ此補償ノ性質ヲ帶ヒサルハナク只生命保險ハ此性質ヲ帶フルコトノ完全ナラサルノミ去レハ保險ヲ以テ損失補償ノ方法ト爲サスシテ單ニ利益ヲ得ルノ方法ト爲ス者アラハ是實ニ保險法ノ精神ヲ蹂躪スルモノト謂ハサルヘカラス世ニ賭博ナルモノアリ保險ハ素ト之ニ類似ス然レトモ賭博ト保險トハ決シテ同一物ニ非ス其間差別ノ存スルモノアリ然ラハ其差別トハ

何ソ他ナシ要ハ補償ノ性質ヲ具フルト否ラサルトニ在リ即チ補償ノ性質ヲ帶フルモノハ賭博ニ非スシテ保險ナリ之ニ反シテ補償ノ性質ヲ帶ヒサルモノハ賭博ニシテ保險ニ非サルナリ蓋シ此點ニ付テハ學者或ハ疑ヲ懷クモノナキニ非サル可シ請フ試ニ例ヲ擧ケテ之ヲ説明セン今余カ他人ノ家屋ヲ火災保險ニ付シタリト假定セヨ此契約ハ果シテ保險契約ナル乎將タ賭博ナル乎ト云フニ保險契約ニ非スシテ賭博ナリトス何トナレハ余ハ他人ノ家屋ニ付テ毫モ利害ノ關係ヲ有セス從テ縱令其家屋カ火災ニ因リテ燒失スルモ余ニ於テ痛痒全ク相關セサルカ故ニ若シ其家屋燒失セハ若干ノ金員ヲ得ントノ契約ハ其性質一六丁半ト尠シモ擇フ所ナケレハナリ換言スレハ余ハ被保險物ニ付テ被保險利益ヲ有セス從テ其契約ハ全然補償ノ性質ヲ欠カスルカ故ニ賭博ニシテ保險契約ニ非サルナリ然ルニ之ニ反シテ余カ自己所有ノ家屋ヲ火災保險ニ付シタリト假定セヨ此場合ニ於テハ火災ノ爲メニ其家屋ノ燒失スルト否トハ余ノ利害ニ至大ノ關係アリ即チ若シ其家屋ニシテ燒失スレハ余ハ其價額ヲ損失シ又若シ其家屋ニシテ燒失セザレハ此損失ヲ免カル可シ左レハ此例ニ於テハ余ハ被保險利益ヲ有シ從テ其契約ハ補

償ノ性質ヲ帶フルカ故ニ決シテ賭博契約ニ非ス實ニ有効ナル保險契約ナリトス英國ノ法理學者ホルランド氏ハ曰ク保險契約ナルモノハ賭博契約ノ一種ナリ然ルニ法律カ獨リ保險契約ノミニ効力ヲ附與シ賭博契約ニハ之ヲ附與セサル所以ノモノハ他ナシ保險契約ハ公益ヲ保護スルモ賭博契約ハ公益ヲ害スルヲ以テナリ是故ニ保險契約及ヒ賭博契約ノ區別ハ其性質上ノモノニ非スシテ單ニ社會ニ利益ヲ及ホスヤ將タ害毒ヲ流スヤノ結果上ノ區別ニ過キスト然レトモ余ハ絕對的ニホルランド氏ノ說ニ首肯スルコト能ハス全ク同性質ノモノニシテ全ク反對ノ結果ヲ生スルト云フカ如キハ余ノ信スル能ハサル所ニシテ既ニ結果上公益ヲ保護スルト之ヲ害スルトノ區別アル以上ハ必ス其性質上ニ於テモ儼乎タル區別アリト信スルモノナリ請フ左ニ少シク之ヲ説明セン例ヘハ上野不忍池畔ノ競馬場ニ於テ競馬ノ勝敗ニ付キ金錢ノ授受ヲ約シタリトセン乎其契約ハ賭博ノ性質ヲ具フルヤ將タ保險ノ性質ヲ備フルヤト云フニ若シ其馬ニシテ自己ノ所有ニ屬セサルトキハ其契約タル猶ホ相撲ヲ見物シテ金錢ヲ賭スルト同シク全然賭博ノ性質ヲ帶フルモノタルヤ歟々ヲ俟タスシテ明カナリ然ラハ今少シク其例ヲ變シ

余カ所有ニ屬スル馬ノ勝敗ニ付キ保險契約ヲ取結ヒタルトキハ如何果シテ保險ノ性質ヲ具フルモノナルヤ將タ賭博ノ性質ヲ備フルモノナルヤト云フニ此場合ニ付テハ聊カ考慮ヲ回ラサ、ル可カラス若シ夫レ皮相ノ見ヲ以テセン乎余ノ馬カ幸ニシテ勝ヲ制セハ市價之カ爲メニ増加シ又不幸ニシテ敗ヲ取レハ市價之カ爲メニ減少スルカ故ニ余ハ實際余ノ馬カ競走ニ於テ敗ヲ取ルテフ不慮ノ事故ニ因リ損害ヲ蒙ルモノタリ從テ其損失ヲ償フノ契約ナレハ是レ即チ保險ノ性質ヲ帶フルモノニ非サル乎ノ感想ヲ生ス可シ蓋シ深思熟慮スル所ナク一見以テ斷定ヲ下ストキハ其契約ハ寔ニ補償ノ性質即チ保險タルノ性質ヲ具備スルカ如クナルモ仔細ニ之ヲ研究スルトキハ斯ル契約モ矢張賭博契約ニシテ有効ナル保險契約ニ非サルヲ知ルナリ何ヲ以テ乎爾カ謂フ他ナシ馬カ競走ニ於テ勝ヲ制スルト敗ヲ取ルトハ一ニ其馬ノ千里ナルト否ラサルトニ因ル若シ其馬ニシテ驍駘ナラン乎競走ニ於テ敗ヲ取ルハ素ヨリ其所而已之カ爲メニ市價ノ減少スルハ眞ニ市價ノ減少スルニ非スシテ却テ其減少シタル價額コソ其馬ノ實價ナリ然ラハ則チ余ハ實際ノ損失ヲ蒙リタルモノニ非ス既ニ實際ノ損失ヲ蒙ラザラン乎他人ヨ

リ金錢ヲ得ントスルノ契約ハ補償ノ性質ヲ帶フルモノニ非ス既ニ補償ノ性質ヲ帶ヒザラン乎保險契約ニ非スシテ賭博契約タルヤ敢テ曉々ヲ要セサレハナリ乍去尙ホ尠シク其例ヲ變シ若シ余ノ馬ニシテ競走ノ際斃死セハ金若干ヲ得ントノ契約ヲ爲シタリトセン乎是レ即チ保險契約ニシテ賭博契約ニ非サルナリ何トナレハ此契約ハ馬ノ斃死ニ因テ生ス可キ損失ヲ補償スルヲ目的トスルモノナレハナリ論シテ茲ニ至レハ賭博契約ト保險契約トノ間ニハ補償ノ性質ヲ具備スルヤ否ヤノ點ニ關スル一大區別ノ存スルモノアルコト及ヒ外形上ニ於テハ保險契約ハ賭博契約ノ一種ナルカ如ク學者モ亦爾ク論下スル者ナキニ非スト雖モ是レ實ニ正鵠ヲ失スルノ太甚シキモノナルコトヲ知ルニ足ラン

我商法ハ其第六百二十五條ニ於テ保險契約ノ定義ヲ下スニ方リ明カニ保險契約ハ補償ノ性質ヲ帶ヒサル可カラサルコトヲ指示シ其他歐米各國ノ法律一トシテ保險契約ニハ補償ノ性質ナカル可カラスト爲サ、ルモノナシ而シテ若シ此補償ノ性質ヲ欠如スルトキハ之ヲ賭博保險ト稱シ何レノ邦國ニ於テモ法律上効力ヲ付與セサルモノトス

(第二) 條件附帶ノ契約ナルコト

凡ソ保險契約ハ被保險物カ實際危險ヲ冒スニ非サレハ決シテ其効力ヲ生スルモノニ非ス即チ保險契約ノ効力ハ危險ヲ冒ステフ條件ニ繫レルモノナリ今例ヲ舉ケテ之ヲ説明センニ先ツ海上保險ノ場合ニ付テ云ヘハ若シ橫濱ヨリ桑港ニ至ル船舶ノ航海ヲ保險ニ付シタリトセン乎其保險契約ハ何レノ時ヨリ其効力ヲ生ス可キヤト問フニ必スシモ其保險契約ヲ取結ヒタル時ヨリ直チニ其効力ヲ生スルモノニ非スシテ實ニ其船舶カ艤裝ヲ了リ橫濱港ヲ出帆スル時ヨリ始メテ其効力ヲ生スルモノトス即チ其被保險物タル船舶カ航海ヲ開始シテ危險ヲ冒ス時ヨリ始メテ保險契約ノ効力ヲ發生スルモノトス又運送保險ノ場合ニ付テ云フモ實際其運送ス可キ貨物ヲ運送者ニ引渡シタル時ヨリ始メテ危險ヲ冒スモノニシテ其貨物カ自己ノ手元ニ在ル間ハ未タ危險ヲ冒スモノニ非ス故ニ運送保險ノ契約ヲ締結シタルノミニテハ直チニ其効力ヲ發生スルモノニ非ス其効力ヲ發生セシメシニハ必スヤ貨物ヲ運送者ニ引渡シ以テ危險ヲ冒スコトヲ要ス蓋シ此條件タル歐米保險法ノ均シク識認スル所ナルノミナラス我商法第六百五十五條モ亦明カ

ニ認了スル所ナリ即チ同條ニ曰ク契約ハ保險シタル危險カ被保險者ニ對シテ生
ス可キニ至ラサルトキハ被保險者ヲ羈束セス(後略)ト知ル可シ被保險物カ危險ヲ
冒サ、レハ保險契約ノ効力ヲ生セサルコトヲ

(第三) 保險契約ハ最上ノ誠意(Uberinnae fidei)ヲ必要トスル契約ナリ

凡ソ契約ニハ誠意ヲ必要トセサルモノナク從テ詐欺ヲ以テ締結スルモ可ナルモ
ノナシ乍去百般ノ契約中最モ誠意ヲ必要トスルハ保險契約ニ若クモノナシ夫ノ
契約法學者ホロック氏及ヒアンソン氏等ハ保險契約又ハ保證契約ハ特別ノ契約ナ
リトス且其特別ノ契約タル所以ハ誠意ヲ要スルコト最モ大ニシテ又最モ切ナル
カ故ナリト論セリ然ラハ何カ故ニ保險契約ハ他ノ契約ニ比較シテ特別ニ誠意ヲ
必要トスルヤト釋スルニ是レ畢竟保險契約ノ性質上ヨリ自然ニ生スル結果ナラ
スハ非ス蓋シ保險契約ヲ締結スルニ付キ知了スルコトヲ必要トスル事實情況
ハ多クハ被保險者ノミ之ヲ知悉シ保險者ハ大率之ヲ知了スルノ便宜ヲ有セス從
テ保險者カ保險契約ヲ取結フニ付テハ一ニ被保險者ノ陳述ニ倚賴スルノ已ムヲ
得サルナリ若シ夫レ賣買契約ノ如キニ在テハ賣主ハ其目的物ヲ買主ニ示シ買主

モ亦自ラ之ヲ點檢シ其瑕瑾ナキヤ否ヤヲ十分ニ取調フルコトヲ得ルモ之ニ反シ
テ保險契約ニ在リテハ前ニ一言セル如ク保險者ハ殆ント實際ノ事實及ヒ情況ヲ
知ルノ機會ヲ有セス好シヤ其機會ヲ有ストスルモ一々其事實及ヒ情況ヲ調査ス
ルトキハ極メテ迅速敏活ヲ必要トスル商業社會ノ需用ニ適セサルニ至ル可シ殊
ニ海上保險ノ如キ船舶カ航海中ニ在ルトキ又ハ外國ノ港ヲ出帆スルトキニ於テ
之カ契約ヲ取結フコト往々ニシテ之アリ這般ノ場合ニ在リテハ保險者ハ到底其
瑕瑾ノ有無ヲ檢スルコト能ハス又生命保險ノ如キニ在リテモ醫士ハ唯被保險者
ノ現在ニ於ケル健康如何ヲ診スルノミニシテ既往ニ於ケル疾病ノ有無及ヒ其血
統如何ノ如キハ一ニ被保險者ノ陳述ニ憑據セサル可カラス是故ニ被保險者ノ陳
述カ詐欺タル可キ場合ハ勿論縱令其陳述カ詐欺ニ非サルモ尙モ虛妄ナル以上ハ
單ニ過失ニ出テタルニモ拘ハラス法律ハ尙ホ之ヲ以テ保險契約ヲ無効タラシム
ルノ原因ト爲スナリ知ル可シ保險契約ニハ最上ノ誠意ヲ必要トスルコトヲ然レ
トモ保險契約ハ其種類多シ從テ一律ニ論下シ去ルコト能ハス即チ其種類ニ因テ
誠意ヲ必要トスルノ程度ヲ異ニスルカ故ニ之ヲ甄別スルコトヲ要ス今夫レ保險

契約中最モ充全ノ誠意ヲ要スルモノハ海上保險契約ニシテ之ニ次クモノハ生命保險契約ナリ其他ノモノニ至リテハ其誠意ヲ要スルノ程度總テ低シ夫レ斯ノ如ク保險契約ニ最上誠意ヲ要スルハ雷ニ歐米法律ノ認ムル所ナルノミナラス我商法第六百五十三條モ亦之ヲ認メタリ即チ同條ニ曰ク保險者ハ被保險者カ契約取結ノ際重要ナル情況ニ付キ虚偽ノ陳述ヲ爲シ又ハ其情況ヲ默スルトキハ惡意アリタルト否トヲ問ハス契約ヲ解ク權利アリ(後略)ト是レ實ニ保險契約ニハ最上誠意ヲ要スルコトヲ認メタルモノナリトス

(第四) 射倖契約ナルコト

佛蘭西法律ニ於テモ亦我既成民法ニ於テモ有償契約ヲ分テ二トス曰ク交換契約曰ク射倖契約是ナリ交換契約トハ當事者ノ一方カ爲シ又ハ與フル事物ハ他ノ一方カ其代リトシテ爲シ又ハ與フル事物ト法律上全ク同一ノ價值ヲ有スルモノト看做ス契約ヲ云フ例ヘハ余カ本院ノ建物ヲ一萬圓ニテ買受クルト假定セハ此建物ト一萬圓トハ法律上同一ノ價值アルモノト看做ス加之余カ夜店ニテ價值十錢ニ相當スル道具ヲ五十錢ニテ購求シタリトスルモ法律ノ眼光ヲ以テ之ヲ見レハ

少クトモ余ト道具屋トノ間ニ在テハ其道具ト五十錢トハ同一ノ價值ヲ有セルモノト看做ス可シ故ニ斯ノ如キ契約ハ即チ交換契約タリ又射倖契約トハ交換契約ニ對スル名稱ニシテ實際上ニ於テハ勿論法律上ニ於テモ當事者雙方カ爲シ又ハ與フル事物ハ互ニ同一ノ價額ヲ有スルモノト看做サ、ル契約ヲ云フ從テ射倖契約ニ在リテハ當時者ノ一方ハ利益ヲ得他方ハ損失ヲ蒙ルノ結果ヲ來スモノナリ而シテ保險契約ハ射倖契約ノ一種ナリ例ヘハ余カ一ノ建物ヲ毎月五十圓ノ保險料ヲ以テ一箇年間一萬圓ノ保險ニ付シタリト假定セン乎若シ其建物ニシテ一箇年内ニ火災ニ罹ラサレハ余ハ一箇年間ノ保險料即チ六百圓ヲ損失シ保險者ハ之ヲ利益ス可ク又之ニ反シ一箇年ノ將サニ了ラントスルトキ其建物ニシテ火災ノ爲メ燒燼スルトキハ保險者ハ僅ニ六百圓ノ保險料ヲ得タルノミニテ一萬圓ヲ支拂フ可ク余ハ單ニ六百圓ヲ失フテ一萬圓ノ保險金ヲ得ヘシ之ヲ要スルニ火災起ラサレハ保險者ハ利益ヲ得テ被保險者タル余ハ損失ヲ蒙リ之ニ反シテ火災起レハ被保險者タル余ハ利益ヲ得テ保險者ハ損失ヲ蒙ル可シ而シテ法律上ヨリ論スルモ六百圓ノ保險料ト一萬圓ノ保險金トハ決シテ同一ノ價值ト看做サス知ル可

シ保險契約ハ射倖契約ナルコトヲ
抑モ保險契約ニ於テ保險料ノ額ヲ定ムルコトハ寔ニ至困至難ノ業ニ屬ス蓋シ保
險料ノ額ニシテ高貴ニ失セン乎決シテ保險契約ヲ取結フ所ノ被保險者勿ル可ク
又之ニ反シ保險料ノ額ニシテ低廉ニ過キン乎決シテ保險事業ノ成立ヲ見サル可
シ故ニ保險料ナルモノハ必スヤ一定ノ標準ニ基テ之ヲ定メ以テ其平衡ヲ得セシ
ムルコトヲ要ス然ラハ保險料ハ何ヲ標準トシテ之ヲ定ム可キヤト云フニ今例ヲ
火災保險ニ取レハ一箇年内ニ幾回火災起リ幾何ノ家屋燒失シ幾何ノ損失ヲ醸ス
可キヤヲ精確ニ統計シ其統計ニ基テ保險料ノ割合ヲ定メサル可カラズ其他ノ保
險ニ在リテモ亦然リ故ニ危險ノ起生ニ因テ生ス可キ損失ニ付テノ精密ナル統計
ヲ得ルニ非サレハ保險ノ制度ハ克ク社會ニ行ハル可キモノニ非ス又保險料ヲ定
ムルノ標準ハ一ニ損失ノ統計ニ在ルカ故ニ東京ノ如ク屢々火災ノ發生スル土地
ニ於ケル保險料ハ歐米ノ如ク其家屋皆煉瓦造ニシテ火災ノ厄ニ罹ルコト尠キ場
所ニ於ケル保險料ト素ヨリ同一ナル能ハス即チ前者ハ後者ニ比シ勢ヒ多額ナル
コトヲ免カレサル可シ、

保險料ヲ定ムルノ標準夫レ斯ノ如シトセハ今若シ總般ノ保險者ヲ一團體トシテ
之ヲ一方ノ當事者ト看做シ又全般ノ被保險者ヲ一團體トシテ之ヲ他ノ一方ノ當
事者ト看做シ以テ兩々當事者ノ關係ヲ觀察スルトキハ所謂保險契約ナルモノハ
全ク射倖ノ性質ヲ離レ却テ純然タル交換ノ性質ヲ帶フルモノタルコトヲ發見ス
可シ換言スレハ保險者ノ支拂フ保險金ト被保險者ノ支拂フ保險料トハ其額ヲ均
フスルヲ窺知ス可シ以是乎モルガン氏ハ謂ヘラク保險ナルモノハ其實行ノ結果
上ヨリ觀察スレハ各個人ノ財產ヲ擧ケテ社會ノ共有物ト爲スコトヲ約束セルト
同一ナリト蓋シ其趣旨タル被保險者ノ多數ハ保險料ヲ支拂ヒテ保險金ヲ得サル
モ其少數ハ少許ノ保險料ヲ支拂ヒテ多額ノ保險金ヲ得ルカ故ニ恰モ社會黨ノ主
義ニ類スト云フニ在リテ能ク保險契約ノ性質ヲ穿テ爾說ナリト謂ツ可キナリ

(第五) 物約 (Real contract) ノ性質ヲ具有スルコト
凡ソ契約ハ其目的物ト共ニ他ニ移轉スルト否ラサルトニ因テ之ヲ物約人約ノ二
種ニ區別スルコトヲ得ヘシ契約ノ目的物カ他ニ移轉スレハ其契約モ亦從テ移轉
スルモノハ是レ即チ物約ナリ例ヘハ期限ヲ定メテ家屋ヲ賃貸シタル場合ニ於テ

其期限内ニ貸借ノ目的物タル家屋ヲ他人ニ賣却シタリトセン乎當初其家屋ノ所有者ト賃借人トノ間ニ締結シタル賃借契約ハ新所有者ニ移轉シ新所有者ト賃借人トノ間ニ於ケル契約ト爲ル可シ即チ賃借契約ハ其目的物タル家屋ト共ニ他ニ移轉スルモノナレハ所謂物約ト稱ス可キモノナリ然ルニ之ニ反シテ人約ハ縱令其目的物カ他ニ移轉スルモ之ニ隨伴シテ移轉セス依然前ノ當事者間ニノミ其効力ヲ有スルモノナリ而シテ保險契約ナルモノハ果シテ物約ノ性質ヲ帶フルモノナル乎將タ人約ノ性質ヲ帶フルモノナル乎ト釋スルニ此點ニ付テハ我商法ノ規定ハ英米法ノ規定ト其揆ヲ一ニセサルヲ見ル乍去今姑ク成文ヲ離レ專ラ法理上ヨリシテ其性質ヲ論スレハ保險契約ハ人約ニシテ物約ニ非スト信ス元來保險契約ハ其目的物ニ重キヲ置キテ取結フ所ノ契約ニ非ス或ハ家屋ヲ保險スト云ヒ或ハ船舶ヲ保險スト云フモ其實家屋若クハ船舶ニ重キヲ置クノ契約ニ非ス從テ夫ノ家屋賃借ノ契約トハ其性質ニ於テ大ニ異ナル所アリ然ラハ保險契約ハ如何ナルコトヲ目的トスルヤト云フニ究竟被保險物カ不幸ニシテ危險ニ遭遇シ損失ヲ生スルトキハ保險者ニ於テ其損失ヲ賠償ス可キコトヲ約束スルニ在レ

ハ其目的ハ損失賠償ニ外ナラス然ルニ損失ヲ賠償スルコトハ全ク人ト人トノ關係ニ付テ云フモノニシテ縱令其目的物タル家屋カ他ニ移轉スルコトアルモ其保險契約ハ決シテ之ト同時ニ移轉ス可キモノニ非ス英米ノ法律カ保險契約ヲ以テ人約ト看做ス所以ノモノ一ニ此理由ニ職由セスンハ非ス然ルニ我商法第六百四十條ヲ見ルニ保險ハ被保險物ノ讓渡其他被保險利益ノ轉付ニ因リテ當然新取得者ニ移ル但讓渡人カ利益ヲ留置キタル場合又ハ第六百五十四條ノ場合又ハ保險者カ轉付ニ付キ承諾ヲ與フル權利ヲ明示シテ留保シタル場合ハ此限ニ在ラスト規定セリ此規定ノ趣旨タル要スルニ保險契約ノミハ移轉セサル旨ノ特別ノ意思明瞭ナラサル場合ニハ保險契約ハ被保險物ト共ニ新取得者ニ移轉ス可シト云フニ在リ然ラハ則チ我商法ハ保險契約ニ與フルニ物約ノ性質ヲ以テシタルモノナルコト嗽々ヲ要セスシテ明カナリ今夫レ保險契約ハ果シテ物約ト爲ス可キモノナル乎將タ又人約ト爲ス可キモノナル乎ハ立法上須ラク詳密ナル研究ヲ遂ケサル可カラサル一大問案ナレトモ事ノ立法ニ關スルモノハ姑ク之ヲ高閣ニ束子單ニ保險契約ノ性質上ヨリ法理的ノ斷案ヲ下ストキハ前ニ一言セシ如ク保險契約

ハ寧ロ人約ノ性質ヲ帶フルモノニシテ物約ノ性質ヲ具フルモノニ非スト云ハサル可カラス然ルニ我商法ハ前顯第六百四十條ノ法文ニ明カナル如ク之ニ物約ノ性質ヲ帶ハシメタリ是レ立法上果シテ其當ヲ得タルモノナルヤ否ヤ蓋シ立法上孰レノ性質ヲ帶ハシム可キヤノ問題ニ至リテハ素ト其國ノ情況及ヒ人民一般ノ思想如何ニ因テ之ヲ決定セサル可カラス若シ夫レ一般人民ニシテ保險契約ハ當然被保險物ト共ニ移轉ス可キモノナリトノ思想ヲ抱キ且其國ノ情況ニシテ之ヲ許サン乎保險契約ハ宜シク之ヲ物約ト看做ス可ク又之ニ反シ一般人民ニシテ保險契約ハ當然被保險物ト共ニ移轉ス可キモノニ非ストノ思想ヲ懷キ且其國ノ情況ニシテ爾ク解スルヲ妥當ナリトセン乎保險契約ハ宜シク之ヲ人約ト看做ス可キナリ之ヲ要スルニ這般ノ問題ハ主トシテ立法上ノ議論ニ屬スルカ故ニ茲ニ深ク之ヲ論究スルノ必要ナシ

第二章 被保險利益 (Insurable interest)

第一節 被保險利益ノ性質

保險契約ハ損失補償ノ契約ナリ故ニ苟モ危險ノ爲メニ損害ヲ蒙ル可キ利益ヲ有

被保險利益 (Insurable interest)
被保險利益ノ性質

スル者ニ非サレハ保險契約ヲ取結フコト能ハサルヤ素ヨリ論ヲ俟タス而シテ其利益ハ當ニ契約ノ當時之ヲ有セザル可カラサルノミナラヌ危險發生ノ當時ニ於テモ亦之ヲ有セザル可カラス(然レトモ此點ニ付テハ例外ナキニ非ス即チ生命保險ノ如キ是ナリ事ハ後章ニ於テ論セン)斯ノ如キ利益ヲ稱シテ被保險利益ト云フ然ラハ被保險利益トハ如何ナルモノナルヤト云フニ我商法第六百二十七條ハ之カ定義ヲ與ヘタリ即チ其條文ニ曰ク「所有權債權其他ノ權利名義又ハ利益關係ニ基因スル所ノ財産上ノ利益ニシテ之レニ關スル危險ノ起生ニ依リ被保險者ニ直接ニ損害ヲ加フ可キモノハ保險ニ付スルコトヲ得ル利益トス」ト文章解説體ニシテ且頗ル簡明ヲ缺ケルカ故ニ法律文トシテハ到底批難ヲ免ル、コト能ハス然レトモ之レカ批評ヲ試ムルカ如キハ寧ロ無益ノ業ニ屬スルヲ以テ茲ニ之ヲ述ヘスト雖モ本條ノ文意ヲ簡明ニ叙述スルトキハ蓋シ下ノ如クナラン曰ハク「適法ナル財産上ノ利益ニシテ危險ノ起生ニ依リ直接ニ損害ヲ受クルノ懼アルモノハ保險ニ付スルコトヲ得ル利益トス」ト斯ノ如ク修正スルトキハ文章頗ル簡ニシテ其事理モ亦明瞭ナル可シ而シテ此定義ヲ分析スレハ被保險利益ヲ組成スルニハ下ノ

如キ要素ヲ具備セサル可カラズ即チ第一、財産上ノ利益第二、危険ノ起生ニ依リ直接ニ損害ヲ受クルノ懼アルコト第三、適法ナルコト是ナリ左ニ各條件ニ付テ一々之ヲ分論セン

(第一) 財産上ノ利益 抑モ財産上ノ利益トハ何ソヤ之ヲ知ラントセハ豫メ財産ノ何タルヤヲ明カニセサル可カラズ然レトモ財産ノ何タルヤヲ説明スルハ頗ル困難ナルノミナラス又簡單ナル解釋ヲ與フルコト難キヲ以テ斯法ノ講義ニ於テ之ヲ縷述スルハ時間ノ許サ、ル所ナリ故ニ其詳細ハ須ラク財産法ノ研究ニ於テ知了セラレサル可カラズ然レトモ一言ニシテ之ヲ蔽ヘハ財産上ノ利益トハ金錢ヲ以テ計算シ得ヘキ利益テフコトニ外ナラス故ニ保險法ノ被保險利益ノ定義ヲ下サンニハ財産上ノ利益ト言ハンヨリハ寧ロ金錢上ノ利益トナスヲ以テ分明ナリトス獨逸ノ保險法ニ於テハ明文ヲ以テ金錢ヲ以テ計算スルコトヲ得ル利益ハ保險ニ付スルコトヲ得ル利益ナリト規定セリ英米法學者ノ學說モ亦同シク被保險利益ヲ解釋シテ金錢上ノ利益ヲ指スモノナリト説ケリ我商法ノ所謂財産上ノ利益テフコトモ畢竟獨逸及ヒ英米ノ法律ト同一ノ事實ヲ

稱スルモノナラント信ス故ニ苟クモ金錢上ノ利益ヲ有スル者ハ保險契約ヲ取結フコトヲ得ヘシ之ニ反シテ毫モ金錢上ノ利益ヲ有セサル者ハ決シテ保險契約ヲ取結フコトヲ得サルナリ例ヘハ夫ノ精神上ノ快樂或ハ愛情ノ如キハ到底金錢ヲ以テ計算ス可キモノニ非サルカ故ニ斯ノ如キ利益ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス然ルニ爰ニ一ノ問題アリ即チ將來得ヘキ利益ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルヤ否ヤ詳シク云ヘハ例ヘハ爰ニ生糸ヲ船舶ニ托シテ歐洲ノ市場ニ輸出セントスル者アリ而シテ其價額ハ現時横濱ノ市價ニシテ一萬圓ナリト雖モ若シ安全ニ航海ヲ終リテ佛國ノ市場ニ到達スルトキハ二割若シクハ三割ノ利益ヲ取得スルコトヲ得ヘシト云フ此場合ニ於テ一萬圓ノ生糸トシテ保險ニ付スルコトヲ得ルハ素ヨリ論ヲ俟タスト雖モ之ニ依テ得ヘキ二割若シクハ三割ノ利益ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルヤ否ヤハ一ノ問題タリ英米并ヒニ獨逸ノ法律ニ於テハ將來得ヘキ利益モ亦保險ニ付スルコトヲ許セリ之ニ反シテ佛國ノ法律ニ於テハ現在ノ利益ニノミ限リ保險ニ付スルコトヲ許シ將來ノ利益ハ保險ニ付スルコトヲ許サス惟フニ古代ノ法律ニ於テハ一般ニ被保險利益ヲ狹隘ニ

解釋シ現在ノ利益ノミニ之ヲ限レリ然ルニ漸次文明ノ進歩スルニ從ヒ被保險利益ノ解釋ヲ頗ル寬ニシ將來得ヘキ利益ヲモ尙ホ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルモノトナシタリ蓋シ佛國ノ法律ハ古代法ノ精神ヲ現今ニ存シタルニ過キス英國ノ判事某ハ將來得ヘキ利益ヲモ保險ニ付スルコトヲ得ヘシト主張シ其理由ヲ説明シテ曰ハク元來保險ハ商業ヲ保護センカ爲メニ發達シタルモノナリ而シテ既ニ商業ノ資本ニ付テハ保險ヲ以テ保護スルコトヲ得ル以上ハ其資本ヨリ當然生スル利益モ亦保險ヲ以テ保護シ得サルノ理由ナシ故ニ將來得ヘキ利益モ現在ノ利益ト共ニ保險ニ付スルニ於テ毫モ妨ナキノミナラス是レ保險法ノ精神ヲ得タルモノナリト蓋シ至言ト云フ可シ我新商法ニ於テハ是等ノ事項ニ付キ直接ノ明文ナシト雖モ其大體ノ精神ヨリ推考スルトキハ將來得ヘキ利益ヲ保險ニ付スルコトヲ許シタルモノタルヤ明カナリ然レトモ茲ニ留意ス可キハ將來得ヘキ利益ト將來利益ヲ得ルノ希望トハ決シテ之ヲ混同セザランコトヲ要ス單ニ希望ノミ存スルトキハ未タ以テ被保險利益ト稱スルコトヲ得ヘカラス被保險利益タル可キモノハ當然取得シ得ヘキ利益タラサル可カラサ

ルナリ例ヘハ外國ヨリ石炭酸ヲ輸入スル者アリ外國ノ市場ニ於テ其價格一萬圓ノ石炭酸ハ日本ニ輸入セラルトキハ二割若シクハ三割ノ利益ヲ取得スルコトヲ得ヘシ此利益ハ當然取得ス可キ利益ニシテ所謂被保險利益タリ然ルニ輸入者ハ今日石炭酸ヲ輸入スルモ直チニ之ヲ販賣シテ利益ヲ得ントスル者ニ非スシテ明年ノ夏期ヲ俟テテ虎疫ノ流行スルニ際シ之ヲ販賣セハ非常ノ利益ヲ得ントノ希望ヲ以テ輸入シタル者ナリト假定セヨ斯ル希望ハ未タ以テ被保險利益ヲ爲スモノニ非サルカ故ニ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス之ヲ要スルニ被保險利益タル可キモノハ次ノ如キ條件ヲ具備セサル可カラス

(一) 利益ヲ將來ニ生セシムル物上ニ現實ノ利益ヲ有セサル可カラス 例ヘハ爰ニ農産物ノ收穫ヲ保險ニ付スル者アリ或ハ水難暴風或ハ旱魃等ノ災害ノ爲メ收穫ヲ得ルコト能ハサルトキハ被保險者ハ保險者ニ對シテ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ之レ唯被保險者カ其田畑ニ現實ノ利益ヲ有スルトキニ限ル若シ何等ノ利害關係ナキトキハ即チ被保險利益ヲ有セサル者ニシテ從テ保險契約ヲ締結スルノ能力ナキモノナリ斯ノ如ク被保險利益タ

ルニハ必スヤ其利益ヲ生ス可キ物ノ上ニ現實的利益ヲ有セサル可カラス然ラサレハ將來ニ得ヘキ利益ハ全ク空想タルニ過キスシテ眞實ニ取得ス可キ利益ニ非サルナリ

(二) 危險ニシテ起生スルニ非レハ當然利益ヲ取得ス可キコトヲ要ス 前例ヲ假リテ之ヲ説明センニ農産物ノ收穫ヲ生ス可キ田畑ノ上ニ或ル者カ單ニ利害ノ關係ヲ有シタルノミニテハ未タ以テ被保險利益ヲ有シタリト云フ可カラス其田畑ニ播種シ若シクハ植苗シテ水難暴風若シクハ旱魃等ノ危險ノ發生スルコト非レハ當然利益ヲ取得ス可キ位地ヲ有シタル者ニシテ始メテ被保險利益ヲ有スル者ト云フ可シ何トナレハ斯ル場合ニ在リテハ田畑ニ播種シ若シクハ植苗シタル者ハ暴風水難及ヒ旱魃等ノ危險ナキ時ハ自然力ニ依リテ收穫ヲ取得スルニ至ルハ必然ノ結果ナレハナリ

右ノ二條件ヲ具備セサレハ唯利益ヲ得ントノ空想タルニ止マルヲ以テ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス從テ未タ種ヲ蒔カサル以前ニ保險契約ヲ結フモ其契約ハ停止條件付ノ契約ニシテ後日被保險利益ヲ有スルニ至ラハ其効力ヲ生セシ

メントノ契約タルニ過キス故ニ若シ來春ニ至リ播種セサルトキハ其契約ハ停止條件ノ成就セサル理由ヲ以テ成立セサルナリ尙ホ爰ニ付言シテ説明セサル可カラサルハ我商法第六百二十七條二項ニ博奕賭事富講又ハ其他ノ意外ノ事ニ因ル僥倖ノ利益ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得スト規定セルコト是ナリ抑モ斯ノ如キ規定ハ法律ノ明文ヲ俟テ始メテ知ル可キコトニ非スシテ法理上當然生シ得ヘキ結果ナレハ敢テ特ニ規定ヲ必要トセサルナリ而シテ歐洲諸國ニ於テモ亦斯ル僥倖ノ利益ヲ保險ニ付スルコトヲ禁セリ然ラハ何故ニ僥倖ノ利益ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得サル乎尤モ本邦ニ於テハ博奕及ヒ富講ノ如キハ刑法上制裁ヲ付スルモノニシテ全ク不法ノ行爲タリ故ニ博奕賭事及ヒ富講等ノ利益ハ不法ナルノ理由ヲ以テ保險ニ付シ得サルコトヲ説明スルコトヲ得ヘシト雖モ商法第六百二十七條ノ規定ハ單ニ不法ノ利益ノミヲ保險ニ付スルコトヲ禁シタルニ非ス民事上一般ニ有効ナル僥倖ノ利益ト雖モ尙ホ之ヲ保險ニ付スルコトヲ禁シタルモノナリ果シテ然ラハ何故ニ不法ニ非サル僥倖ノ利益ハ之ヲ保險ニ付スル能ハサル乎是レ畢竟前述セル第二ノ條件ヲ欠缺セルカ爲

メナリト云ハサル可カラス元來被保險利益トハ危險カ發生セサリシナラハ當然取得スルコトヲ得ヘキ利益ナラサル可カラス然ルニ意外ノ事ニ因ル僥倖ノ利益ハ危險ノ發生如何ハ利益ヲ取得スルヤ否ヤノ結果ヲ見ル可キ原因ニシテ從テ危險カ發生セサルトキハ當然得ヘキ利益ナルモノ決シテ存在セサルナリ乞フ例ヲ舉ケテ之レヲ説明セン例ヘハ爰ニ競馬ニ於テ金錢ヲ賭スル者アリ此場合ニ於テ甲乙兩馬ノ勝敗即チ意外ノ事故ハ賭事者ノ利益若シクハ損失ノ結果ヲ生スル原因タリ換言スレハ賭事者ノ利益スルヤ將タ損失スルヤハ甲乙何レカ其一方ノ競走ニ敗北スルテフ危險ノ發生ニ起因スルモノトス要スルニ危險ノ發生ハ損益ノ原因ヲ爲スモノタリ故ニ危險ノ發生ナキトキハ茲ニ損益ヲ生スルコトモ亦ナキヲ以テ危險ノ發生アラサレハ當然利益ヲ取得スルコトヲ得ヘシト云フ能ハス是レ即チ前述第二ノ條件ヲ缺キタルモノト謂ヒシ所以ナリ英國ノ「ロード」ブラボーン氏賭博ト保險トノ區別ヲ説明シテ曰ク保險トハ危險ノ發生ヨリ生スル損害ヲ補償スルコトヲ目的トスル契約ナリ然ルニ賭博保險ノ契約ニ在リテハ被保險物ハ未タ危險ヲ冒スニ至ラサルモノナルカ故ニ危

險ノ發生ハ決シテ被保險者ニ損害ヲ蒙ラシム可キ位地ニ至ラサルナリト此説明モ余カ前ニ與ヘタル解釋ト同一ナルニ過キス又賭博ト保險トノ區別ハ保險ノ性質上ヨリ單簡ニ之ヲ説明スルコトヲ得ヘシ即チ保險ハ單ニ損失ヲ補償スルコトヲ目的トスルモノニシテ利益ヲ取得スルコトヲ目的トスル方法ニ非ス然ルニ賭博ニ至リテハ危險ハ全ク利益取得ノ原因タルカ故ニ若シ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許ストセハ保險ヲ以テ進テ利益ヲ取得スル方法ニ供スルニ至リ全ク損失補償テフ目的ニ悖戾スルニ至ラン是レ即チ賭博ノ利益ハ保險ノ性質上ヨリ保險ニ付ス可キモノニ非ストナス所以ナリ

(第二) 危險ノ發生ニ依リ直接ニ損害ヲ受クルノ懼アルコト 保險契約ハ損失補償ヲ目的トスルモノナリトノ原則ヲ知ラハ危險ノ爲メニ損害ヲ蒙ルノ懼アルモノニ非サレハ當ニ之レヲ保險ニ付スルノ必要ナキノミナラス又之ヲ保險ニ付スルコトヲ得サルヤ明カナル可シ然レトモ地球上如何ナルモノト雖モ危險ニ遭遇シテ毫モ損害ヲ受ケサルカ如キハ殆ト絶無ナリト云フモ敢テ過言ニ非ス從テ保險ノ目的物タル可キ範圍ハ非常ニ廣濶ニシテ到底一々枚舉スルニ暇

アラサル可シ例ヘハ夫ノ英國政府ノ發シタル公債證書ノ如キ世人ハ英國政府
 カ破産ス可シトハ夢想ニタモ及ハサル所ナル可ケレハ是等ハ最モ危險ノ尠ナ
 キ部類ニ屬ス可シト雖モ人世ノ無常ナル將來如何ナル時運ニ際會シテ乎英國
 政府ノ公債モ亦損失ノ危險ニ遭遇スルヤモ測ル可カラス故ニ全ク損害ヲ受ク
 ルコトナシト斷言スルコト能ハサルナリ況ンヤ同一ノ公債ナルモ朝鮮政府ノ
 發シタル公債ノ如キハ敢テ深思熟慮スルヲ要セスシテ直チニ保險ニ付スルノ
 必要ヲ感知スルニ至ラン

(第三) 適法ナルコト 抑モ保險ハ正當ナル利益及ヒ適法ナル事業ヲ保護スルカ
 爲メニ發生シタルモノナルカ故ニ不正ナル利益又ハ不法ナル事業ヲ保護ス可
 キモノニ非サルヤ明カナリ從テ保險ノ利益タル可キモノハ法律上正當ノ利益
 ナラサル可カラス加之利益其モノハ正當ナルモ之ヲ不法ノ事業ニ於テ得タル
 モノナルトキハ亦保險法ノ保護ス可キ被保險利益タルヲ得サルナリ何トナレ
 ハ保險法カ若シ斯ル事業ヲ保護スルニ於テハ結局不適法ノ事業ヲ法律カ幫助
 シテ成功セシムルノ結果ヲ生スルニ至ル例ヘハ夫ノ奴隸賣買ノ如キハ古代ニ

於テハ正當ニシテ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得タリシカ現今ニ於テハ何レノ邦
 國モ之ヲ不法ト認識シ從テ之ニ關スル利益ハ保險ニ付スルコトヲ得サルニ至
 レリ然レトモ亦一方ヨリ觀察スレハ果シテ如何ナル事業又ハ如何ナル取引カ
 適法ナルヤ否ヤヲ定ムルハ實ニ容易ノ業ニ非ス民法上明文ヲ以テ禁シタルモ
 ノ若シクハ刑法ノ明文ニ依テ罰セラル可キモノハ素ヨリ不法タルコト論ヲ俟
 タスト雖モ果シテ如何ナル所爲カ法理上不法ナルヤ否ヤヲ定ムルハ頗ル困難
 ノ業ナリトス然レトモ之ヲ社會全般ニ通シテ廣ク解釋スルトキハ道德及ヒ社
 會ノ秩序若シクハ公益ヲ害スル所ノ所爲ハ之ヲ不法ノ所爲ト認識セサル可カ
 ラサルノミナラス法律カ德義上秩序上若シクハ公益上ヨリ其所爲ヲ厭惡シ從
 テ其所爲ノ起生スルコトヲ獎勵セサルモノ、如キハ亦保險法ノ保護ヲ與フ可
 キモノニ非ス之カ例ヲ舉クレハ夫ノ泰西諸國ニ於ケル密娼營業ノ如シ法律ハ
 明文ヲ以テ之ヲ嚴禁スルニ非ス然レトモ其發生ヲ厭惡スルモノナリ斯ノ如キ
 ハ敢テ不法ノ事業ト云フコト能ハサルモ而モ法律ハ其發生ヲ獎勵スルモノニ
 非サレハ保險法ノ保護ヲ受ク可キモノニ非ス然ラハ我邦ノ公娼ノ如キハ果シ

テ如何余ハ其判斷ニ苦シム然レトモ要スルニ法律カ其事業ヲ厭惡シ之カ起生
ヲ獎勵スルコトヲ欲セサルモノハ尙ホ有効ニ保險契約ヲ取結フコトヲ得サル
モノト信スルナリ

被保險利益ノ價格

第二節 被保險利益ノ價格

保險契約ハ損失補償ノ契約ナルカ故ニ被保險利益ヲ有セサル者ハ保險契約ヲ取
結フコトヲ得ス又被保險利益ヲ超過スル所ノ保險ハ其効ナキヲ以テ之ヲ被保險
利益ノ額ニ引直サ、ル可カラス斯ノ如ク被保險利益ノ價格ハ損失ノ賠償額ヲ定
ムル標準トナルモノナルカ故ニ茲ニ此價格ヲ算定スルノ方法ヲ攻究スル必要ア
リトス抑モ被保險利益ハ被保險物ノ普通價格ヲ以テ限度トスルモノナリ但シ當
事者間ニ於テ特ニ被保險利益ヲ約定シタル場合ハ普通價格ヲ超過スルモ毫モ妨
クル所ナシ是レ即チ我商法第六百二十九條ニ於テ規定セララル、所タリ故ニ余モ
亦便宜ノ爲メ當事者カ特約ヲ以テ價格ヲ定メタル場合ト然ラサル場合トヲ區別
シテ之ヲ講述セン

(第一) 特約ヲ以テ被保險物ノ價格ヲ定メタル場合 當事者カ特約ヲ以テ被保險

物ノ價格ヲ定メタルトキハ當事者ハ之ニ羈束セララル、モノトス縱令其價格カ
普通ノ價格ヲ超過スルトキト雖モ法律ハ敢テ之ニ干涉セサルナリ換言スレハ
當事者ノ定メタル價格ハ又之ヲ動かス可カラサルモノトス而シテ當事者カ價
格ヲ定ムルニ付テハ物品ノ原價ニ加フルニ保險ノ費用、保險料、保護費又商品ナ
ルトキハ將來ニ得ヘキ利益ヲモ見積リテ之ヲ計算スルコトヲ得而シテ荷モ當
事者ハ善意ヲ以テ價格ヲ定メタル上ハ縱令普通ノ價格十圓ノ物品ヲ二十圓若
シクハ五十圓ト約定スルモ法律上毫モ咎ムル所ナシ何トナレバ物ノ價格ハ常
ニ一定不^必同ニ非スシテ人々ノ觀想ニ依リテ各異ナレリ殊ニ美術品又ハ骨董品
ノ如キハ最モ然リトス之ヲ愛玩スル者ニ在リテハ百圓若シクハ千圓ニ換ヘン
コトヲ欲スルモノト雖モ普通人ハ十圓ニテモ尙ホ之ヲ棄ツルコトアリ故ニ尙
モ當事者カ善意ニテ定メタル價格ナランニハ法律ハ之ニ効力ヲ付スルモノト
ス我商法第六百二十九條ノ後段ニ依ルニ其被保險利益カ普通價格ヲ超過スル
トキハ特ニ之ヲ明約スルコトヲ要スト規定セリ本條ニ於テ注意ス可キ點ハ明
約テフ文字ノ意義ナリ明約テフ文字ハ二個ノ意味ニ解セララル一ハ即チ明カニ

特約スルコトノ意味ニシテ他ハ即チ特ニ明示ノ約束ヲ爲スコトノ意味是ナリ
 若シ之ヲ後段ノ意義即チ明示ノ約束ヲフコトニ解スルトキハ默示ノ約束ハ其
 効ナシト云ハサルヲ得ス我商法ノ商事契約ノ規定中ニ明示ノ契約ハ書面口頭
 若シクハ容體ニテ之ヲ取結フコトヲ得ヘク默示ノ契約ハ默示ノ承諾アリタル
 場合ニ存スト在リ由是觀之我商法ニ所謂明示ノ契約ハ必スシモ書面ノ契約ノ
 ミヲ云フニ非スシテ口頭又ハ容體ニテ取結ヒタル契約ナルモ尙モ直接ニ意思
 ヲ發表シテ取結フ契約ハ之ヲ明示契約ト稱ス可キモノタリ本條ノ法文ハ明約
 ノ意義ニ付テ少シク明瞭ヲ缺ケルカ故ニ法文上ヨリ速斷スルコトヲ得サレト
 モ法理上ヨリ論スルトキハ尙モ特約ノ存スルコト明カナレハ敢テ明示ト默示
 トノ區別ヲ問フノ必要ナシト思料ス乍去我商法ノ所謂明約ノ文字ハ或ハ明示
 ノ約束ヲ意味スルモノニ非サル乎余輩ハ他ノ法文上ヨリ推測シテ其然ルヲ懼
 ル、モノナリ

夫レ斯ノ如ク一旦當事者カ被保險物ノ價格ヲ明約シタル場合ハ其價格ハ當事
 者間ニ於テ確乎不動ノモノニシテ他日之ニ對シ何等ノ異議ヲ挾ムコトヲ得ス

唯之ヲ變動シ得ヘキ場合ハ其約束ニ付キ強暴若シクハ詐欺カ原因トナリタル
 場合カ然ラスンハ其價格ハ非常ニ低廉ニ過キテ實際詐欺ト同視スヘキ場合ニ
 限ルモノナリ斯ノ如キ場合ニ於テハ善意ノ當事者ハ其價格ヲ普通價格ニ引直
 シテ契約ヲ保持スルコトモ又ハ全ク契約ヲ銷除スルコトヲモ得ルモノトス

(第二) 特約ヲ以テ被保險物ノ價格ヲ定メサル場合 特約ヲ以テ被保險物ノ價格
 ヲ定メサル場合ハ被保險物ノ普通ノ價格ニ依ルヲ通則トス然レトモ普通ノ價
 格ハ時ト場所トニ依リテ同シカラス殊ニ商品ノ如キハ時々變動ノ甚タシキヲ
 視ルモノトス故ニ普通價格トハ如何ナル時期ノ價格ニ據ル可キモノナルヤ詳
 言スレハ保險契約締結ノ當時ノ價格ニ據ル可キモノナルカ將タ危險發生シテ
 損失ヲ生シタル時ノ價格ニ據ル可キモノナルカヲ講究セサル可カラス我商法
 ニ於テハ商品ニ付テハ特ニ之カ明文ヲ掲ケタリト雖モ商品ニ非サル物品ニ付
 テハ何等ノ規定ヲ見ス即チ動産タル商品ニ付テハ危險ヲ生シタル當時即チ損
 失ノ生シタル當時ノ價格ニ據ル可キモノタルコトヲ識認セルカ如シ然レトモ
 不動産カ被保險物ナルトキハ其價格ノ算定方法ハ如何ニ爲ス可キヤ毫モ規定

セラル、所ナシ英國ノ法律ニ於テハ一般ノ原則トシテ保險契約ヲ取結フ當時ノ價格ニ依ル可キモノト定メタリ而シテ我商法草案ノ起稿者タルロエスレル氏モ亦被保險利益ノ價格ハ保險ヲ受クル當時ノ實價ニ依リテ算定ス可キモノナリト説明セリ而シテ其結約ノ時ト危險發生ノ時トノ中間ニ於テ其價格ノ減少スルコトアルモ不問ニ付ス可キモノニシテ是レ即チ一般諸國ノ法律カ採用スル所ノ原則ナリトス然レトモ我法律ニ於テハ不動産ニ付テハ保險者ノ賠償ス可キ價格ノ標準ニ付テハ全ク規定スル所ナシ乍去一般法理上ノ原則ヨリ論スルトキハ右ノ如ク論決セサルヲ得サルナリ又動産ニ付テハ商品ト非商品トノ二種ニ區別シ商品ニ付テハ損害又ハ喪失ノ生シタル時及ヒ其地ニ於ケル市場ノ代價ニ依リテ算定ス可キモノナルコトハ我商法ノ規定スル所タリ此規定ハ實ニ能ク保險ノ精神ニ適合シ又敢テ批難ヲ加フ可キ所ナシ然レトモ我商法ハ非商品ノ動産ニ付テハ特ニ被保險利益ノ價格ヲ算定スル方法ヲ規定セス唯第六百三十條前段ノ規定ニ依レハ被保險物ノ價格ハ使用ニ供スル動産ニ在リテハ修繕又ハ新調ノ費用ニ依ルトアリ此規定ハ使用ニ供スル動産價格ノ算定

方法ヲ規定シタルカ如シト雖モ決シテ然ラス此規定ハ唯被保險物カ損害ヲ蒙リシトキニ保險人ノ負擔ス可キ賠償額ヲ算定スルノ方法ヲ規定シタルニ外ナラス何トナレハ修繕ノ費用ハ素ヨリ物件其モノ、費用ニ非ス修繕ノ費用ト物件其モノ、費用トハ其間ニ於テ大ニ區別セラレサル可カラス第六百三十條ノ規定ハ唯一部ノ破損ヲ生シタルトキハ保險者ハ其修繕ノ費用ヲ賠償セサル可カラスト規定シタルニ外ナラスシテ被保險利益ノ價格ノ算定方法ヲ規定シタルモノニ非ス然レトモ此規定ニ依リテ我法律ノ精神ヲ窺知スルコトヲ得ヘシ何トナレハ該法文ニハ被保險物カ全部滅失シタルトキハ保險者ハ爲メニ新調ノ費用ヲ辨償セサル可カラスト規定セラレタリ茲ニ所謂新調ノ意味ハ之ヲ二様ニ解釋スルコトヲ得ヘシ即チ一ハ新規ニ同一ノ物件ヲ調フルトノ意味ニシテ例ヘハ古机ヲ保險ニ付シタル場合ニ其全部カ滅失シタルトキハ之ト同一ノ机ヲ新調スルノ意味ニ解スルコトヲ得ヘシ他ノ一ハ新タニ物件ヲ調フルニ非スシテ被保險物ト同一ノ物件ヲ更ニ調製スルノ意味ニシテ即チ古机其モノト同一ノ物件ヲ調製スルノ意味ニ解スルコトヲ得ヘシ而シテ何レカ解釋ノ正鵠

ヲ得タルモノナルヤト云フニ素ヨリ第二ノ意味ニ解釋セサル可カラズ之ニ反シテ若シ第一ノ意味ニ採ルトキハ保險契約ニ依リテ被保險者ハ自己ヲ利益スルコト、ナル可シ即チ古机ヲ以テ新机ニ換フルニ至リ全ク保險ノ性質ニ背反ス故ニ第二ノ意味ニ解釋ス可キモノタルヤ勿論ナリ然ラハ其物件ハ保險契約ヲ取結ヒタル當時ノ物件ト同一ノモノナル可キ乎將タ又危險ノ發生シタル當時ノ物件ト同一ノモノナル可キ乎ハ次ニ起生ス可キ問題ナリ此點ニ付テハ我商法ニ於テ一モ明文ノ見ル可キモノナシト雖モ唯保險法ノ精神ヨリ推論スルトキハ危險ノ發生シタル當時ノ被保險物ト同一ノ物件ヲ調製スル費用ナリト解釋セサル可カラサルナリ然レトモ此點ニ付テハ我商法ハ不明瞭ナルヲ以テ修正ノ期ニ際セハ之ヲ明確ニスルコトヲ必要トス又保險法ノ草案ニ於テハ保險料其他通常ノ保護費ヲ算入シテ計算スルコトヲ得ト規定シタリト雖モ商法ニ於テハ之ヲ削除シタルカ故ニ我既成商法ニ依ルトキハ保險料及庫敷料等ハ之ヲ合算スルコトヲ許サ、ルモノト論決セサルヲ得ス

又被保險物カ債權ナルトキハ其價格ハ債務ノ金額ニ利息及ヒ取立費用ヲ合算

シタルモノナリ(商法第六百三十三條)

次ニ又債權ヲ擔保スル抵當權ヲ保險ニ付スルコトアリ斯ル場合ニ於テ被保險利益ノ價格ハ如何ニ算定スヘキヤト釋スルニ其債權額ニ利息及ヒ取立費用ヲ合算シタルモノト抵當物ノ普通價格トヲ比較シ何レニテモ其價格ノ低廉ナルモノニ依ルヘキモノトス即チ若シ抵當物ノ價格カ債權額ヨリ寡少ナルトキハ抵當物ノ價格ニ依リテ被保險額ヲ定ム若シ又債權額カ抵當物ノ價格ヨリ寡少ナルトキハ其債權額ニ依リテ被保險額ヲ定ムルモノナリ其理由ハ抵當權ハ單ニ債權ヲ擔保スルニ止マルモノナルカ故ニ如何ニ抵當物ノ價格カ多額ナルモ抵當權利者ノ利益スル所ハ唯其債權額ニ止マルモノナリ故ニ百圓ノ債務ニ對シテ假令千圓ノ價格アル抵當物ヲ供セシムルモ貸主ノ利益スル所ハ唯債權額タル百圓ト其利息及ヒ取立費用ニ止マルモノトス是レ即チ抵當物ノ價格ト債權額トヲ比較シテ何レカ寡少ナルモノニ從ヒテ算定スヘシト規定シタル所以ナリ

抑モ保險契約ハ被保險者ニ在リテハ保險料ヲ支拂フノ約束ヲナシ保險者ニ在リテハ危險ヲ負擔スルコトヲ約束シタルモノニシテ此二箇ノ約束カ相互ニ他ノ約束ノ原因トナリテ保險契約ヲ成立セシムルモノナリ左レハ若シ被保險者ニ於テ保險料ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ危險ヲ負擔スルノ義務ナク又保險者カ危險ヲ擔保セサルトキハ被保險者ハ保險料ヲ支拂フノ義務ナシ故ニ被保險者カ契約ニ背キテ保險料ヲ支拂ハサルトキハ保險者ニ於テモ素ヨリ其契約ニ羈束セラル、コトナシ加之被保險者カ保險者ヨリ正當ノ手續ヲ以テ請求ヲ受クルモ尙ホ保險料ヲ支拂ハサルトキハ保險者ハ其契約ヲ確守スルノ責任ナシ約言スレハ被保險者カ保險料ヲ支拂ハサルトキハ勿論其支拂ヲ延滞シタルトキト雖モ尙ホ保險者ハ損失賠償ノ責任ヲ免ル、モノナリ而シテ茲ニ所謂正當ノ手續ヲ以テ請求セラル、トキハ保險料支拂期日ニ受取證書ト引換ニ保險料ノ支拂ヲ請求スルコトヲ云フモノナリ此事タルヤ商法第六百五十四條ノ規定スル所ナリ

抑モ保險料ハ危險ノ負擔ニ對スル報償即チ約因ナルカ故ニ被保險者ニ於テ保險料ヲ支拂フヘキ義務ノ範圍ハ保險者カ危險ヲ負擔スル責任ノ多寡ニ應シテ定マルモノナリ故ニ保險者ノ負擔スル危險大ナルトキハ之カ報償タル保險料モ亦從テ大ナラサルヲ得ス又保險者ノ負擔スル危險小ナルトキハ保險料モ亦之ニ準シテ小ナラサルヲ得ス一言以テ之ヲ蔽ヘハ保險料ハ保險者ノ負擔スル危險ニ相應スルモノナリ此故ニ保險者ノ負擔スル危險ニシテ全ク發生セサランニハ被保險者ハ毫モ保險料ヲ支拂フノ義務ナシ若シ保險者ノ負擔スル危險ニシテ減少シタランニハ保險料モ亦之ニ應シテ減少ス可キモノタリ乞フ例ヲ假リテ之ヲ説明セシ例ヘハ海上保險ノ場合ニ於テ橫濱ヨリ上海迄ノ航海ヲ保險ニ付シタリ然ルニ其後戰爭ノ起リタルカ爲メ航海ヲ全ク停止スルニ至レリ斯ル場合ニ於テハ保險者ノ負擔ス可キ危險ハ全ク生セサルヲ以テ被保險者ハ毫モ保險料ヲ支拂フノ義務ナシ若シ既ニ支拂ヒタルモノナルトキハ之ヲ取戻スコトヲ得ヘシ又橫濱ヨリ上海迄ノ航海ヲ千圓上海ヨリ佛蘭西馬耳塞迄ノ航海ヲ二千圓ニテ保險ニ付シタルモ上海迄航海シタル後故アリテ其後ノ航海ヲ停止シタルトキハ上海馬耳塞間ノ危險ハ減少シタルモノナルカ故ニ被保險人ハ單ニ上海迄ノ保險料ヲ拂フヲ以テ足レリトス要スルニ保險料ハ保險者ノ擔保スル危險ニ相應スルモノナリ

又一箇年間家屋ヲ保險ニ付シタルモ六箇月目ニ至リ保險シタル危險以外ノ出來事ノ爲メニ家屋カ消滅シタルトキハ保險者ノ擔保スル危險ハ時間ニ於テ減少シタルモノナリ而シテ這般ノ場合ニ於テハ被保險者ハ六箇月分ノ保險料ヲ支拂ヘハ足レリトスル乎原則トシテハ危險ノ全ク發生セサルトキハ被保險者ハ全ク保險料ヲ支拂フノ義務ナキハ勿論危險ノ一部減少シタルトキハ被保險者ハ一部ノ保險料ヲ支拂フヘキモノナリト雖モ是レ唯原則トシテ然ルノミニシテ此原則ヲ適用スルニ付テハ保險料ヲ分配シ得ル場合ト之ヲ分割シ得サル場合トアリ余ハ左ニ之ヲ區別シテ講述スヘシ

(第二) 保險料ヲ分割スルコトヲ得サル場合 保險料ヲ危險ノ減少ニ應シテ分割スルヲ得サル場合ニ於テハ被保險者ハ全部ノ保險料ヲ支拂ハサルヘカラス例ヘハ一箇年間或ル家屋ヲ五百圓ノ保險料ニテ保險ニ付シタルトキハ其保險料ハ決シテ之ヲ分割スルコトヲ得ス故ニ五百圓ノ保險料ヲ十二箇月ニ分チテ其一部ヲ一ヶ月ノ保險料トナスコトヲ得ス何トナレハ火災保險ノ如キハ氣節ノ變遷ニ依リテ危險ノ程度ヲ異ニスルモノニシテ例ヘハ冬季ヨリ春季ニ至ルノ

間ハ火災ノ危險最モ多キ季節ナルヲ以テ從テ保險料モ亦高額ナラサルヲ得ス之ニ反シテ夏季ヨリ秋季ニ至ルノ間ハ火災ノ難概シテ少ナキ季節ナルヲ以テ從テ保險料モ亦低廉ナラサルヲ得ス而シテ一箇年ノ保險料ハ即チ各季節ヲ通シテ之ヲ定メタルモノナルカ故ニ其十二分ノ一ヲ以テ九月ノ保險料若シクハ十月ノ保險料ト稱スルコトヲ得サルナリ故ニ前例ノ如ク保險ニ付シタル家屋カ六箇月ノ後他ノ事故ニ因リテ滅失スルコトアリテ六箇月後ハ全ク危險ヲ冒ス可キ目的物ナキトキト雖モ尙ホ五百圓ノ保險料ヲ支拂ハサル可カラス又之ト同シク横濱ヨリ上海迄ノ航海ヲ三千圓ニテ保險ニ付シ長崎迄廻航シタル後故アリテ航海ヲ中止シタルトキト雖モ尙ホ被保險者ハ保險料ノ全額即チ三千圓ヲ支拂ハサル可カラス何トナレハ長崎迄ヲ區分シテ保險料ヲ定メタルモノニ非ス上海迄ヲ一ノ航海トシテ保險料ヲ定メタルモノナレハナリ是レ即チ英米其他諸國ノ法律ニ於テ悉ク認識スル所ナリ英米ノ如キ慣習ヲ尊フ邦國ニ在リテハ縱令契約上ニ於テ分割スルコトヲ得サル場合ニテモ商慣習上分割ス可キモノナルトキハ尙ホ之ヲ分割シテ減少スルコトヲ許容セリ

(第二) 保險料ヲ分割シ得ル場合 保險料ヲ分割シ得ル場合ハ前述シタル保險料ヲ分割シ得サル場合ト異ナリ素ヨリ危險減少ノ程度ニ從ヒ保險料ヲ減少シテ支拂フコトヲ得ヘシ例ハ一箇年ノ保險料ヲ五十圓ト定メ三箇年間火災保險ノ契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テハ該保險料ハ一箇年毎ニ之ヲ分割スルコトヲ得ヘシ從テ第一年目ニ其危險消滅セル時ハ被保險者ハ單ニ一箇年分ノ保險料ヲ支拂ヘハ可ナルモノニシテ毫モ三箇年分ノ保險料全部ヲ支拂フノ義務ナシ然レトモ此場合ニ於テハ唯一箇年毎ニ之ヲ分割スルコトヲ得ルノミニテ一箇月毎ニ之ヲ分割スルコトヲ得ルニ非ス從テ五十圓ノ保險料ヲ十二箇月ニ分割シ之ヲ以テ其一箇月ノ保險料ナリト云フコトヲ得ス蓋シ右ノ場合ニ於テハ單ニ一箇年間ノ保險料ヲ五十圓ト定メタルニ過キスシテ決シテ一箇月毎ノ保險料ヲ五十圓ノ十二分一ト定メタルニ非ス且又當事者ノ意思ヲ推蔽スルモ冬時ニ至レハ火災ノ危險多ク之ニ反シテ夏時ニ在リテハ其危險少キカ故ニ決シテ五十圓ノ十二分一ヲ以テ毎月ノ保險料ト爲スノ契約ヲ締結シタルモノニ非サルヤ明々白々タリ知ル可シ該保險料ヲ一箇月毎ニ分割ス可カラサルコトヲ然

ルニ此點ニ關シ我商法ノ規定上特ニ研究ヲ要スルモノアリ第六百五十五條第一項末段及ヒ第二項即チ是ナリ其規定ニ曰ク危險ノ減少又ハ其期間ノ短縮ノ爲メ保險料ヲ分割スルコトヲ得ルハ保險料支拂期間二回以上ノ保險料ヲ前拂シタルトキニ限リ保險料支拂期間ハ一箇年タルヲ通例トスト此規定ハ其法意シタルトキニ限リ保險料支拂期間ハ一箇年タルヲ通例トスト此規定ハ其法意精神ノ存スル所太甚明瞭ナラス今夫レ正面上ヨリ之ヲ解釋セン乎危險ノ減少又ハ期間ノ短縮ノ爲メ保險料ヲ分割スルコトヲ得ルハ既ニ保險料支拂期間二回以上ノ保險料ヲ前拂シタルトキノミニ限リ尙モ之ヲ前拂セサル以上ハ其分割ヲ許サ、ルモノト論定セサル可カラス而シテ此規定ハ性質上保險料ヲ分割シ得ル場合ト否ラサル場合トヲ問ハス均シク適用ス可キモノナル乎又此規定ヲ設ケタルノ理由ハ那邊ニ在ル乎將タ又斯ル規定ヲ設クルハ允當ナルヤ否ヤノ點ニ付テハ大ニ疑問ナクンハ非ス以下少シク卑見ヲ陳センニ抑モ何故ニ保險料ヲ分割スルニハ支拂期間二回以上ノ保險料ヲ前拂セサル可カラサルヤ余輩其理由ヲ發見スルニ苦ム今假リニ法文ノ字句通リニ解ストセン乎例ヘハ一箇年間五十圓ノ保險料ニテ四期拂ノ約束ヲ以テ保險契約ヲ取結ヒタリトシ而

シテ二回以上即チ春夏二期ノ保険料ヲ前拂シタリトスレハ右ノ明文ニ依リ保險料ヲ分割スルコトヲ得ヘシ即チ若シ第一期(春期)ニ於テ其危險全ク消滅シタリトスルトキハ被保險者ハ既ニ前拂セル第二期(夏期)ノ保險料ヲ取戻シ且第三期及ヒ第四期即チ秋冬二期ノ保險料支拂ノ義務ヲ免カル、コトヲ得ヘシ然レトモ之ニ反シテ尠シモ保險料ヲ前拂セストセン乎素ヨリ前顯法文ニ依リ保險料ヲ分割スルヲ得サルモノナレハ縱令第一期ニ於テ危險全ク消滅スルモ被保險者ハ保險料ノ全額即チ五十圓ヲ支拂ハサル可カラサル結果ト爲ル何カ故ニ前拂ノ有無ハ保險料ノ分割ニ關係ヲ有スル乎何カ故ニ支拂期間(一)ノ保險料ノ分割ニ關係ヲ有スル乎余輩其理由ノ根據スル所ナキヲ痛惜セサルヲ得ス元來保險料ノ支拂期間ナルモノハ單ニ當事者カ支拂ノ便宜ヲ慮リテ定メタルモノニ過キス焉ソノ危險ノ多寡ニ關係ヲ有センヤ乃チ知ル一箇年ノ保險料ヲ五十圓ト定メ而シテ其支拂期間ヲ定メス又ハ之ヲ定ムルモ其支拂期間二回以上ノ保險料ヲ前拂スルニ非サレハ保險料ヲ分割スルヲ得スト云フカ如キハ毫モ理由ノ見ル可キモノナキヲ試ミニ草案ヲ閱スルニ大ニ既成法典ト異ナレリ即チ草

案ニ於テハ保險期間ニ依テ保險料ヲ分割シ得ヘキヤ否ヤヲ定メタリ余輩ノ管見ニ依レハ既ニ前ニ述ヘタルコトアルカ如ク支拂期間トハ當事者カ便宜上定メタル保險料ノ支拂期間ヲ指稱スルニ非スシテ實ニ保險期間ヲ指稱スルモノト解釋セサル可カラスト信ス即チ毎年五十圓宛ノ保險料ヲ以テ三箇年間ノ保險契約ヲ取結ヒタリトスレハ其毎年ハ取リモ直サス五十圓ノ保險料ニ對スル保險期間タリ夫ノ法文ニ所謂支拂期間トハ是レ之ヲ云フモノニシテ單ニ保險料ヲ支拂フ所ノ期限ヲ云フモノニ非ス而シテ此保險期間ナルモノハ通常特別ノ約束ナキ以上ハ一箇年ト爲スモノナリ從テ一箇年五十圓ニテ保險契約ヲ取結フト云フトキハ其保險期間ハ一箇年タリ然ルニ前例三箇年間ノ保險契約ヲ取結フ場合ニ於テ漫然之ヲ見ルトキハ恰モ三箇年ハ即チ保險期間ナルノ概アルヲ以テ立法者ハ其獨特ノ老婆心ニ襲ハレ特ニ支拂期間ナル言辭ヲ設ケ以テ一箇年ノ保險期間ヲ意味センコトヲ計圖セリ然レトモ奈何セム支拂期間ト保險期間トハ非常ナル差異アルコトヲ夫ノ一箇年五十圓ノ保險料ニテ三箇年間ノ保險契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テハ其一箇年ハ必スシモ支拂期間ニ非ス即

テ保險料ヲ支拂フノ期間ハ或ハ四期ト爲シ或ハ月毎ト定ムルコトアル可シ論
シテ茲ニ至ラハ立法者ノ老婆心ハ偶々以テ人民ノ誤リヲ湧起スルモノナルヲ
知ルニ足ル之ヲ要スルニ法文ニ所謂支拂期間ナルモノハ之ヲ保險期間ト解釋
セサル可カラサルモノトス

當事者及
代理人
當事者

第四章 當事者及ヒ代理人

第一節 當事者

保險契約モ亦一種ノ契約ナレハ之カ當事者タルモノハ必スヤ普通ノ契約ヲ締結
シ得ヘキ能力ヲ有セサル可カラサルヤ敢テ論ヲ俟タス而シテ此點ニ關シテハ一
般ノ能力ニ關スル規則ノ外別ニ保險法ニ特別ナル法規アルコトナシ唯保險契約
ナルモノハ補償ノ性質ヲ具有スルモノナレハ被保險者ハ必スヤ其被保險物上ニ
被保險利益ヲ握有セサル可カラサル而已今ヤ眼ヲ轉シテ古來歐米諸國ニ於ケル
保險事業ヲ按スルニ曠昔ニ在リテハ該事業ハ全ク一個人ノ手裡ニ屬セリ然ルニ
社會漸ク進歩スルニ迨ンテヤ一私人ノ手裡ヲ離レテ會社ノ掌中ニ歸スルニ至レ
リ現ニ米國ニ於テハ保險事業ハ渾然會社ノ手裡ニ屬スルモノト斷言スルモ敢テ

過言ニ非ス加之歐洲諸國ニ於テモ亦同一ノ傾向ヲ來タセリ蓋シ保險ノ事業ハ其
區域ヲ擴張シ極メテ數多ノ保險契約ヲ締結スルニ非スンハ以テ克ク自他ヲ利ス
ルコト能ハス且其營業ノ性質ハ永久ヲ期スルモノナレハ一個人カ此營業ヲ行ハ
ンヨリモ寧ロ數多ノ資本ヲ有シ永久繼續ス可キ性質ヲ有スル會社事業ニ屬セシ
ムルヲ以テ最モ適當ナリトスルカ故ニ斯ル趨向ヲ呈スルモノナラム本邦ニ於テ
モ亦陸續保險營業ニ從事スルモノアレトモ悉ク會社組織ニ依ルモノニシテ未タ
一個人的事業ト爲スモノアルヲ聞カサルナリ

尙ホ茲ニ説明ス可キハ英國ニ於テ「ロイド」ノ保險營業ト稱スルモノ是ナリ今ヤ古
代ニ溯テ其沿革ヲ閱スルニウイリアム第三世及ヒ女王アンノ時代ニ於テハ倫敦
ノ「コッフィー、ハウス」(茶店)ハ衆人ノ遊樂場ナリシ而シテ甲ノ「コッフィー、ハウス」ハ文學者ノ
遊樂場ニシテ乙ノ「コッフィー、ハウス」ハ音樂者ノ遊樂場ナリト云フカ如ク各類ヲ以テ
集リ種々ノ會談ヲ試ミテ歡ヲ取リタリシカ偶々倫敦ノロンバード、ストリートニ
在ル「ロイド」ト稱スル「コッフィー、ハウス」ハ遠洋航海ニ從事スル者ノ遊樂場ナリシ而シ
テ該「コッフィー、ハウス」ノ所在ハ屢々移轉シタルモ依然「ロイド」ト稱シ且數多ノ變遷ヲ

經タル末途ニ倫敦ノ保險營業者ノ集會スル場所ト爲リ是等保險營業者ハ皆該場所ニ於テ保險事業ニ從事スルニ至レリ斯克ノ如クニシテ「ロイド」ノ保險事業ハ今日ニ於テハ英國ハ勿論殆ント歐洲ニ於ケル保險ノ中心ト稱スルモ敢テ誣言ニ非サルノ現象ヲ呈シ此保險營業所ヨリ各國ノ漢港ニ役員ヲ派出シ其役員ヨリ船舶ノ發着及ヒ事變ノ有無其他保險ニ關スル總テノ必要ナル事項ヲ報告セシムル方策ヲ採リ其報告常ニ絡繹旁午シ時々刻々絶ヘサルコト恰モ縷ノ如キ盛況ナリト云フ故ニ「ロイド」ノ保險營業者ハ居乍ラニシテ各地ニ於ケル船舶ノ發着及ヒ其危難ニ遭遇セルヤ否ヲ知了スルコトヲ得ヘシ夫レ斯克ノ如ク「ロイド」ノ保險事業ハ非常ノ旺盛ヲ極ムルモノナリト雖モ而モ其營業者ハ相集合シテ會社若クハ組合ヲ組織シ以テ其營業ニ從事スルモノニ非ス實ニ各別ニ保險契約ヲ締結スルモノニシテ全然一個人ノ營業ナリ既ニ一個人ノ營業タリ然ルニ其盛大ヲ極ムルコトスルノ如シ寧ロ怪訝ニ堪ヘサルノ感ナクハ非ス然リト雖モ熟々其實況ヲ審案スルニ其組織タルヤ殆ント會社のニシテ徹頭徹尾獨立ノ營業ヲ爲スモノニ非ス即チ共同ノ利益ニ關スルコトハ總テ共同シテ之ヲ爲スカ故ニ能ク斯克ノ如キ盛大ヲ極ムルコトヲ得タルモノニシテ復タ他アルニ非サルナリ

代理人

第二節 代理人

保險法上代理人ニ關シテハ普通代理法ノ規則ヲ適用スルモノナリ即チ保險契約ハ代理人ヲ以テ之ヲ取結フコトヲ得ヘシ又代理人ヲ任命スル方法ノ如キモ尙ホ普通ノ場合ニ於ケルト同シク或ハ之ヲ明任スルコトヲ得ヘク或ハ之ヲ默任スルコトヲ得ヘシ加之追認ノ方法ニ依テモ亦他人ノ取結ヒタル保險契約ヲ有効ナラシムルコトヲ得ヘキモトス今夫レ代理人ヲ明任セル場合ニハ其代理人ノ權限ハ總テ委任者ニ因テ明示セラル、モノナレハ毫末モ困難ナル問題ヲ惹起スルコトナシト雖モ之ニ反シテ默任ノ場合ニ於テハ代理人ノ權限ヲ定ムルコト太甚困難ナリ然ラハ如何ナル場合ニ於テ默任存在スルモノナルヤト云フニ素ヨリ各場合ニ依リ異ナル可キモノナレハ一概ニ之ヲ論下スルコト能ハスト雖モ今一般ニ之ヲ謂ヘハ代理人ト本人若クハ被保險物トノ關係ヨリシテ委任アリタルモノト認定スルコトヲ得ヘキ場合ニ於テ默任存在スルモノナリ

組合員ノ一人ハ他ノ共同組合員ヨリ特別ノ委任ヲ受ケサルモ其組合ノ財産ヲ一

般ノ利益ノ爲メニ保險ニ付スルノ權限ヲ有ス何トナレハ組合員間ニハ法律上相互ニ本人タリ若クハ代人タルノ關係アルモノト看做セハナリ此他連帶ノ責任ヲ負荷スル者ノ間ニモ亦相互ニ本人若クハ代人タルノ關係アルモノト推定スルカ故ニ其中ノ一人ハ他人ノ爲メニ保險契約ヲ締結スルコトヲ得ヘシ然レトモ共有者ノ一人ハ他ノ共有者ノ爲メニ共有物ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス何トナレハ共有者ノ間ニハ法律上相互ニ本人タリ若クハ代人タルノ關係ナキモノト看做セハナリ從テ共有者ノ一人ハ苟モ他ノ共有者ヨリ特別ノ委任ヲ受クルニ非スンハ其他ノ爲メニ共有物ニ付テ保險契約ヲ締結スルヲ得ス之ト同一理ニ因リ船舶ナルモノハ諸君ノ熟知セラル、カ如ク數多ノ人カ之ヲ共有スルヲ以テ通例トスレトモ其各共有者ハ單ニ自己ノ持分ニ付テ保險契約ヲ締結スルコトヲ得ルニ止マリ他ノ共有者ノ爲メ當然保險契約ヲ締結スルノ權限ヲ有セサルモノトス

借又追認トハ如何ナルコトヲ云フヤト釋スルニ畢竟實際委任ヲ受ケサル者カ自カラ代理人ナリト稱シテ保險契約ヲ締結シタル場合ニ於テ其本人ナリト假稱セラレタル者カ其契約ノ事實及ヒ情況ヲ明知シタル後之ヲ認諾スルヲ云フニ外ナ

ラス而シテ一タヒ追認ヲ爲ストキハ其結果最初ヨリ代理權ヲ委任シテ保險契約ヲ締結セシメタルト同一ノ効力ヲ生スルモノナリ換言セハ追認ハ契約締結ノ當時ニ溯テ其効力ヲ生セシムルモノトス

翻テ代理及ヒ追認ニ關スル我商法ノ規定如何ト願ミルニ第六百二十八條第一項ニ曰ク保險ハ自己ノ計算ヲ以テスルト他人ノ計算ヲ以テスルトヲ問ハス又被保險者ノ委託ヲ受ケタルト否ト被保險者ノ豫知スルト否ト被保險者ヲ明示スルト否トヲ問ハス之ヲ受クルコトヲ得ト此規定ハ之ヲ其文字通りニ解釋スルトキハ大ナル誤謬ヲ惹起スルカ故ニ特ニ注意ヲ施サ、ル可カラス今試ミニ此規定ヲ文字通りニ解釋セン乎被保險者ノ委任ヲ受ケス且被保險者ノ氏名ヲ被保險者ニ知ラシメサルモ尙ホ其保險契約ハ有効ニシテ被保險者及ヒ被保險者ヲ羈束スルモノナリト斷言セサル可カラスシテ爲メニ被保險者ハ自カラ委任セス又毫モ自カラ豫知セサル第三者ノ締結シタル契約ニ因テ羈束セラル、ノ結果ヲ呈ス可シ然レトモ法理上ヨリ論スルトキハ自カラ委任セス又自己ノ知ラサル第三者ノ締結シタル契約ノ爲メニ自カラ羈束セラル、ト云フカ如キハ決シテ有リ得ヘカラサル事

ナリト爲サ、ル可カラス然ルニ右ノ法文ヲ正面上ヨリ解釋スルトキハ斯ル不條理ノ結果ヲ惹起スルヲ奈何セム蓋シ是法文不備ノ致ス所ニ非サルナカラン乎今ヤ更ニ進ンテ商法草案起稿者ロエスレル氏ノ説明ヲ見ルニ是亦茫漠トシテ其眞意ヲ捕捉ス可カラサルノ憾アリ乍去其所論ノ要旨ヲ撮言スレハ畧ホ下ノ如シ曰ク商法第六百二十八條ノ規定ハ契約ニ因リ債權者以外ノ他人ニ對シ其債務ヲ盡スコトヲ得ルトセル商法草案第三百五十條ニ胚胎セルモノニ外ナラス元來契約ヲ締結セル當事者其人カ真正ノ債權者ニ非スシテ其以外ニ別ニ之カ利益ヲ受ク可キ權利ヲ有スル者アルコトハ實際上稀有ノ事跡ニ非ス例ヘハ余カ甲ト約スルニ此書籍ヲ丙ニ渡サンコトヲ以テシタリトセン乎其約束タル畢竟丙ノ利益ノ爲メニ爲シタルモノニシテ之カ利益ヲ受クルモノハ取りモ直サス丙ナル第三者ナルカ如シ又或ル場合ニハ他人カ現ニ實權ヲ有スル債權者ト爲リ當事者ハ全ク請求權ヲ有セサルコトアリ例ヘハ白地ノ手形ヲ振出シタル場合ノ如シ蓋シ此場合ニ於テハ手形面ニ當事者ノ氏名ヲ記載セサルカ故ニ何人ニテモ其手形ヲ讓受ケタル者ハ自己ノ氏名ヲ記入シ之ヲ持參シテ支拂ヲ受クルコトヲ得ヘシ即チ當事

者ハ何等ノ權利ヲ有セスシテ却テ他人カ其實權ヲ有スルモノナリト然レトモ此點ニ關スルロエスレル氏ノ所論ハ謬妄ノ太甚シキモノト信ス何トナレハ他人カ手形上ノ實權ヲ有スルハ自己ノ固有ノ權利ニ出ツルニ非スシテ一ニ當事者其人ノ權利ヲ讓受ケタルニ基因スルモノナレハナリ之ヲ要スルニロエスレル氏ハ商法第六百二十八條ノ規定ヲ以テ商法草案第三百五十條ノ規定ニ胚胎スルモノナリト爲スニ在レトモ奈何セム既成法典ニ於テハロエスレル氏カ所謂商法第六百二十八條ノ母ナリトセル草案第三百五十條ノ規定ヲ刪除シ去リタルコトヲ既ニ其柯幹タル可キ規定ヲ刪除シタリトセン乎之カ枝葉タル商法第六百二十八條ノ規定モ亦刪除シ去ル可キモノニハ非サル乎然ルニ事茲ニ出テス柯幹ナキニ特リ其枝葉ヲ存セル以上ハ吾人法學者ノ任務トシテ夫ノ一般ノ法理上確定不動ナル原則ヲ斟酌シテ解釋ヲ下シ以テ十中八九枯死ニ瀕スル此枝葉ヲシテ一縷ノ命脈ヲ保タシメサル可カラス然ラハ第六百二十八條ノ法文ハ如何ナル意味ニ之ヲ解釋スレハ可ナルヤト云フニ被保險者ハ自カラ委任セス又自カラ知ラサル者ノ締結シタル契約ニ因テ羈束セラル可キノ謂ハレ秋毫モ之ナキカ故ニ被保險者ハ之

ヲ追認スルモ將タ之ヲ追認セサルモ素ヨリ其自由權内ニ在ル可キモノナレハ本條ハ被保險者ヲ羈束スルコトヲ規定シタルモノニ非スシテ單ニ保險者ニ對シテハ其契約有効ナリ從テ保險者ハ其契約ニ羈束セラル可ク決シテ自カラ其契約ヲ批難スルヲ得ストノ法意ナリト解スレハ蓋シ正鵠ヲ得ルニ庶幾カラシム歟例ヘハ甲カ乙ノ承諾ヲ得ス又委任ヲモ受ケスシテ丙ナル保險者ト保險契約ヲ締結シタリトセンニ此場合ニ於テハ縱令甲カ丙ナル保險者ニ對シテ乙ナル被保險者ノ氏名ヲモ明示セサリシトスルモ其保險契約ハ丙者ニ對シテ効力アルカ故ニ丙者ハ自カラ其契約ヲ批難スルコトヲ得ス從テ又後日乙者カ其契約ヲ追認シタルトキハ丙者ハ乙者ニ對シテ契約上ノ義務ヲ負擔セサル可カラサルナリ之ヲ要スルニ第六百二十八條ハ保險者ヲ羈束スル規定ニシテ被保險者ヲ羈束スルノ規定ニ非サルコトハ諸子ノ最モ注意ヲ要スル點ナリトス

右ハ專ラ第六百二十八條第一項ニ付テ論シタルモノナルカ又同條第二項ハ規定シテ曰ク契約ニ依リテ他人ノ利益カ知レサルトキハ保險申込人ハ保險者ニ對シテ被保險者ト看做サルト既ニ第一項ニ付テ論スルノ際述ヘタルカ如ク第三者カ

代テ保險契約ヲ締結スル場合ニ於テモ必スシモ被保險者ヲ明示スルノ要ナシ從テ被保險者ハ果シテ何人ナリヤ明瞭ナラサルコトアル可ク又縱令被保險者ノ何人ナルヤハ明瞭ナルモ果シテ被保險利益ヲ有スルヤ否ヤ不分明ナルコトアル可シ斯ノ如キ場合ニ於テハ其保險契約ハ無効ニ歸ス可キヤト云フニ決シテ然ラス即チ此場合ニ於テハ保險申込人ヲ以テ被保險者ト看做ストハ第六百二十八條第二項ノ明定スル所ナリ由是觀之本項モ亦保險者ニ對シテ設置シタル規則ニシテ敢テ被保險者ヲ羈束スルモノニ非サルヤ明カナル可シ夫レ斯ノ如ク被保險者ノ明カナラサルトキハ保險申込人ヲ以テ被保險者ト看做スモノナレハ若シ此場合ニ於テ該保險申込人カ何等ノ被保險利益ヲモ有セサルトキハ其保險契約ハ保險法ノ精神上當然無効タル可キハ敢テ余輩ノ喋々ヲ俟タサル所ナリ從テ又此場合ニ於テ保險申込人カ保險者ニ對シテ賠償ヲ求ムルコトヲ得ル額ハ自己ノ有スル被保險利益ヲ超過スルコトヲ得サルモノトス

又商法第六百四十四條ニ曰ク保險契約ハ各當事者ニ於テ仲買人ヲ以テモ之ヲ取結フコトヲ得ト茲ニ仲買人トハ自己ノ名ヲ用井他人ノ計算ヲ以テ契約ヲ締結ス

ルコトヲ營業トセルモノヲ云フ抑モ保險ナルモノハ場合ニ依リテハ極メテ急速ヲ要スルコトアリ又場合ニ依リテハ其保險金額非常ノ巨額ニ上リ一二保險會社ニ之カ保險ヲ託スルモ果シテ能ク賠償ヲ爲スノ力アルヤ否ヤ疑ハシキコトアリ故ニ歐米各國ニ於テハ保險仲買人ナルモノアリテ他人ノ爲メニ保險契約ヲ取結フコトヲ以テ自己ノ本業トシ専ラ急速圓滑安全ニ保險取引ヲ行フノ媒介ヲ爲セリ乍去我商法ニ於テハ特ニ保險仲買人ニ關スル規定ヲ設置セサルカ故ニ勢ヒ普通ノ仲買人ニ關スル規定ヲ適用セサルヲ得ス而シテ普通ノ仲買人ニ關スル規定ハ逐一茲ニ説明スルノ違ナク又其必要ナシト雖モ今其保險ニ關スル重モナル原則ノミヲ一言センニ元來仲買人ハ自己ノ名義ヲ以テ契約ヲ締結スルモノニシテ其相手方ニ對シテハ本人ト看做サル、モノナリ從テ若シ仲買人カ被保險者ノ爲メニ保險契約ヲ締結シタルトキハ其仲買人ハ自カラ被保險者本人トシテ保險者ニ對シ保險料ヲ支拂フ可ク又之ト同一理ニ因リ損害アレハ自カラ本人トシテ保險者ニ對シ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ヘシ且又仲買人ハ辯護士カ訴訟當事者ノ依頼ヲ受ケテ訴訟行爲ヲ爲スト均シク他人ノ依頼ニ依リ保險契約ヲ締結スルヲ

常業トスル者ナレハ保險契約ヲ有効ナラシムル條件ノ如キハ能ク之ヲ熟知セルモノト看做スコトヲ得ヘシ是故ニ他人ヨリ保險契約締結ノ依頼ヲ受クルニ方リ縦令詳細ノ指圖ナシトスルモ其保險契約ヲ有効ナラシムル總テノ條件ヲ具備スル完全ナル契約ヲ締結スルノ責任ヲ有ス從テ若シ此責任ヲ盡サ、ルトキハ依頼者ニ對シテ損害賠償ヲ爲サ、ル可カラサルモノトス
最後ニ商法第六百四十五條ハ規定シテ曰ク保險營業者ノ其取引場ヨリ他ノ地ニ置キタル代辦人又ハ外國保險營業者ノ内國ニ置キタル代辦人ハ被保險者ニ對シ契約ノ取結陳述ノ承諾、保險料ノ受取被保險額ノ支拂其他總テ保險者ノ代理ヲ爲ス權アリト看做ス但其代辦人カ被保險者ニ反對ヲ述ヘタルトキハ此限ニ在ラスト本條ハ讀下一番其意味ヲ理解スルコトヲ得ヘキカ故ニ敢テ説明ヲ試ムルノ要ナシ畢竟スルニ斯ル規定ヲ設ケサルトキハ當事者間ニ在リテ困難ナル問題ヲ惹起スルコト屢次ナル可キヲ以テ前記ノ如キ事項ハ代辦人代リテ之ヲ爲スノ權アルモノトシ以テ爭案ヲ未然ニ防キタルモノナリ

危險

第五章 危險(Risk)

保險法 總則 危險

第一節 危險ノ性質

我商法第六百二十六條ハ保險スルコトヲ得ヘキ危險ニ付テ規定セルモノナリ同條ニ曰ク保險スルコトヲ得ヘキ危險ハ主トシテ火災、地震、暴風雨其他ノ天災、陸海運送ノ危險、死亡及ヒ身體上ノ災害ナリ然レトモ其他ノ危險ニ對スル保險ハ之カ爲メニ妨ケラル、コトナシト蓋シ火災及ヒ地震ハ多クハ建物貨物其他ノ諸道具ニ對スル危險ニシテ暴風雨ハ專ラ農産物及ヒ建物等ニ對スル危險ナリ又其他ノ天災トハ非常ニ汎博ナル意味ヲ有シ旱魃、雹害其他凡テ人爲ヨリ生セサル災害即チ英法ニ所謂天帝ノ所爲ヨリ生スル災害ヲ云ヒ又陸海運送ノ危險トハ運送中ノ物品ニ對シテ生スルコトアルヘキ總テノ災害ヲ云フ例ヘハ火災、盜難、暴風雨等ノ如シ且陸上運送ノ中ニハ陸内ノ水上即チ河川、堀割其他湖水等ノ運送ヲ包含ス又死亡及ヒ身體上ノ災害トハ死亡其他凡テ疾病及ヒ創傷ヲ意味スルモノトス而シテ此等ノ危險タル法文上既ニ明カナルカ如ク單ニ普通人ノ保險ニ付ス可キ危險ノ重モノナルモノヲ掲ケタルニ過キサレハ其他ノ危險ト雖モ之ヲ保險ニ付スルニ於テ毫モ妨ナカル可キナリ

保險ニ付スルコトヲ得ル危險ハ其數極メテ多キカ故ニ一々之ヲ枚舉スルヲ得スト雖モ要スルニ左ノ條件ヲ具備スル危險ナランニハ必ス之ヲ保險ニ付シ得ヘシトス

(第一) 被保險者ノ財産ニ對シテ損害ヲ及ホス可キモノタルコト

生命保險ノ場合ニ於テハ單ニ生命ヲ保險ニ付スルニ止マリ財産上ノ損害如何ハ之ヲ問ハサルカ如キ觀ナキニ在ラスト雖モ生命ノ損失ハ財産上ニ巨大ナル影響ヲ及ホス可キモノナルカ故ニ生命ヲ失フトキハ保險法ハ之ヲ財産上ノ損害アルモノト見做ス特ニ他人ノ生命ヲ保險ニ付スル場合ニハ金錢上ノ關係ヲ有セサル可カラサルヲ以テ生命保險ト雖モ之ヲ原則ノ例外ト見做スコトヲ得サルナリ元來保險ハ損失ヲ補償スル契約ナルノ主旨ヨリ考ヘ來レハ財産ニ何等ノ損害ヲ及ホサ、ルモノハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得サルハ多言ヲ須タスシテ明カナリ

(第二) 危險ハ發生ノ確定セサルカ若クハ豫知シ得ヘカラサルモノタルコト

何年何月何日ニ必ス發生ス可キコト明カナル危險ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ

得サルナリ何トナレハ保險ハ一ノ射倖契約ナレハナリ例ヘハ一ノ航海ニ於テ果シテ船舶貨物カ危險ノ爲メニ消滅ス可キヤ否ヤハ全ク不確定ナルモ天候ノ異變其他ノ事情ニ因リテ或ハ船舶貨物ニ損害ヲ及ホス可キ危險ノ發生スルコトアルヤモ知ル可カラサルトキハ此航海ニ於ケル危險ハ法文ノ所謂不測ナルモノニシテ保險ニ付スルコトヲ得ヘキモノトス又人ハ生アレハ必ス死アリトハ争フ可カラサル事實ナレトモ何年何月何日ニ死亡ス可キヤハ決シテ豫知ス可カラス法文ノ所謂不確定ノ事故ナリトス故ニ生命ハ保險ニ付スルコトヲ得ルモノナリ然レトモ危險發生ノ豫知ス可カラサルハ人智ノ未タ發達セサルカ爲メニシテ後來之ヲ豫知スルコトヲ得ルニ至レハ保險ニ付スルヲ得ヘキ危險ハ大ニ減少スルニ至ル可キナリ

(第三) 危險カ被保險者ノ故意ノ所爲ニ基カサルモノタルコト

故意ニ出テタル所爲ニ基ク危險ハ決シテ保險ニ付スルコトヲ得ス例ヘハ火災保險ニ付シタル者カ自ラ其家屋ニ放火スルトキハ保險者ハ其損失ヲ賠償スルノ責任ナシ抑モ故意ニ出ツル所爲ニ付テハ縱令當事者間ノ契約ヲ以テスルモ

其責任ヲ免ル、ヲ得サルモノナリ保險者カ被保險者ノ故意ノ所爲ニ基因スル損失ヲ辨償スルノ義務ナキハ此原則ノ適用ニ外ナラサルナリ

(第四) 危險發生ノ概數ハ統計上ノ調査ヲ經タルモノナルコト

本條件ハ絶對的ニ必要欠ク可カラサルノ條件ニハ非サレトモ統計上ノ調査ヲ經サルノ危險ハ事實上之ヲ保險ニ付スルコトヲ得サル可シ何トナレハ保險ナルモノハ本來偶然ノ事故ニヨリテ補償セシムルモノニシテ所謂射倖契約ノ一種ナレトモ被保險利益ト保險料トハ必ス一定ノ割合ヲ有セサル可カラス即チ社會ノ危險タル可キモノヲ一括スルトキハ保險者及ヒ被保險者ノ利害ハ必ス平均セサル可カラス而シテ其平均如何ハ實ニ危險ノ統計上ノ調査ヲ經ルニ非サレハ之ヲ知ル可カラス現時東京ニ於テ火災保險ノ盛ニ行ハレサルハ火災ノ統計ノ明確ナラサルコト其主タル原因タラスンハ在ラサルナリ

第二節 危險ノ範圍

危險ノ繼續時期ハ保險者ノ義務ト被保險者ノ權利トヲ定ムルニ於テ最モ必要ナリ何トナレハ繼續時期中ニ起生シタル危險ハ保險者ニ於テ之ヲ負擔セサル可カ

ラス被保険者ハ之ヲ請求スルノ権利アリ一言以テ之ヲ蔽ヘハ危険ノ繼續時間中ニ發生シタルヤ否ヤハ保險者被保險者ノ權利義務ノ因テ岐ル、所ナレハナリ危険繼續ノ時期ハ當事者ニ於テ之カ取極メヲ爲サ、ル可カラス當事者カ明約ヲ以テ之ヲ定メタルトキハ敢テ疑問ヲ生セサレトモ若シ明約ナカリシトキハ一般ノ事情ヨリ當事者ノ意思ヲ推測シ以テ危険繼續時期ノ範圍ヲ定メサル可カラス而シテ特別ノ情況存セサルトキハ保險契約ヲ取結ヒタル時ヲ以テ危険ハ開始スルヲ通例トス若シ當事者カ明約ヲ取結フトキハ危険ヲ結約以前ニ溯ラシムルコトヲ得例ヘハ今日保險契約ヲ取結ヒ以テ一月以前横濱ヲ出帆シ外國ニ航行シタル船舶ニ保險ヲ付スルコトヲ得此場合ニ於テ船舶カ海上ニ於テ難破沈没等ニヨリ損害ヲ蒙ルコトアレハ保險者ハ之カ賠償ノ責ニ任セサル可カラサルカ如シ斯ル場合ニ於テハ當事者ノ双方ハ結約ノ當時既ニ危険ノ發生セシヤ否ヤヲ毫モ知了セサルコトヲ要シ且契約ノ効果ヲ既往ニ溯ラシムルコトヲ明示スルコトヲ要ス法理上ヨリ論スレハ危険繼續時間ヲ推測スルコトハ極メテ簡單ナリ一言以テ蔽之當事者ノ意思ニ基テ之ヲ決定スルニ在リ然レトモ此原則ヲ實際ノ場合ニ適用スルニ當リテハ甚タ容易ノ業ニ非サルナリ例ヘハ火災保險ノ場合ニ於テ危険ノ繼續時間中ニ火ヲ失シ其火勢次第ニ猛烈ヲ極メ其期間經過後ニ至リ家屋ノ全部燒燼シタリトセン乎保險人ノ責任如何ノ問題ヲ決スルハ甚タ困難ナリ之ヲ英國ノ判決例ニ徵スルニ斯ル場合ニ於テハ火災ノ發生シタル時ヲ以テ既ニ損害ヲ生シタルモノト見做スカ故ニ保險者ハ損害ヲ賠償スルノ責ニ任セサル可カラストセリ惟フニ火災ノ起リタルハ期間内ニシテ其家屋ノ燒失セルハ火災自然ノ結果ナルヲ以テ法律上其損害ハ危険繼續時間中ニ起リタルモノト見做スコトヲ得ト云フニ在ラン然レトモ此議論ハ直チニ萬般ノ場合ニ適用スルコトヲ得サルカ如シ例ヘハ生命ヲ十年間保險ニ付シタルニ其期間ノ經過セントスル數日前ニ被保險者カ意外ニ重傷ヲ蒙リ遂ニ數月後其傷痕ノ爲メニ死亡シタリトセン乎保險者ハ保險金支拂ノ責アリヤト云フニ直チニ然リト答フルコトヲ得サル可シ此點ニ關シテハ生命保險ノ部ニ於テ詳説ス可シト雖モ要スルニ此場合ニ於テ保險者ニ賠償ノ責任アリヤ否ヤハ其損害ハ果シテ保險期間中ニ起生シタルモノト見做スコトヲ得ルヤ否ヤノ點ヲ決スルニヨリテ定マル可キナリ

又危險ノ範圍ヲ定ムルニハ場所ハ大ナル關係ヲ有スルモノトス例ヘハ一定ノ家
 屋内ニ存スル所ノモノヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ其場所ニ於テ生シタル危
 險ニ非サレハ保險者ハ賠償ノ責任ナシ一時蟲干等ノ爲メニ家屋外ニ出タシタル
 カ爲メニ火災起リ燒失シタルトキハ保險者ハ素ヨリ之ヲ賠償スルノ責任ナシト
 ス何トナレハ保險者ハ單ニ一定ノ場所ニ於ケル危險ヲ擔保セルニ過キサレハナ
 リ故ニ一般ニ之ヲ論スルトキハ保險契約ニヨリテ擔保セラル、モノハ其保險契
 約締結ノ當時被保險物ノ現存セル場所ニ於ケル危險ノミニ止マルモノト云フヲ
 得ヘシ然レトモ這ハ一般ノ原則タルノミ若シ契約締結當時ノ狀況ヨリ考察シ其
 物ヲ移轉シタル場所ニ於ケル危險モ亦保險者之ヲ擔保スルノ趣旨ナリト看做ス
 コトヲ得ル場合ハ此原則ノ例外タリトス例ヘハ運送物ヲ保險ニ付シタル場合ニ
 ハ縱令其物件カ他ノ場所ニ移轉スルモ保險者ハ擔保ノ責ヲ免ル、コトヲ得サル
 可ク又貸本ヲ營業トセル者カ其書冊ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テモ亦保險者ハ
 必スシモ其被保險物カ一定ノ場所ニ存在スルコトヲ條件ト爲サ、リシモノト見
 做シ得ルヲ以テ此場合ニ於テモ危險ノ擔保ハ場所ノ如何ヲ問ハサル可シ要之危
 險ノ範圍ハ保險契約ノ性質及ヒ該契約締結當時ノ狀況ヨリ當事者ノ意思ヲ推測
 シテ之ヲ定ム可キモノトス

保險證券

第六章 保險證券

保險契約ヲ記載スル證書ヲ保險證券ト云フボリシ「ナル語ハ伊太利語ニシテ英
 國ニ於テ初メテ保險契約ヲ取結ヒタル者伊太利人ボリシト云ヘル人ナリシヲ
 以テ遂ニ今日ニ至ルマテ保險證券ヲボリシト名ツク英佛ニ於テハ海上保險ハ
 必ス證書ノ作成ヲ必要トシ證書ノ作成ナキトキハ保險契約ハ決シテ成立スルコ
 トナシ保險契約ハ唯證書ヲ以テノミ其成立ヲ證明スルコトヲ許スナリ我法典ハ
 普通ノ保險ハ勿論海上保險ト雖モ必スシモ保險證券ノ作成ヲ要セス從テ保險證
 券ヲ作成セサルモ契約ノ成立ニハ何等ノ妨ケアルコトナシ只保險契約ヲ取結ヒ
 タル凡テノ場合ニ於テ保險者ハ即時ニ保險證券ヲ作り被保險者ニ交付セサル可
 カラス若シ此手續ヲ爲サ、ルカ若クハ怠リタルトキハ爲メニ生シタル損害ヲ保
 險者ニ於テ負擔セサル可カラストセリ蓋シ我法典カ斯ル規定ヲ設ケタルハ一ハ
 保險證券ヲ作成セス單ニ口頭ノ契約ノミニテ充分ナリトスルトキハ後日ニ至リ

當事者間ノ權利關係ヲ定ムルニ當リ非常ノ困難ヲ感スルカ爲メニ之ヲ避ケントスル主意ニ出テタルモノナラン一ハ保險契約ハ被保險物ト共ニ移轉スルヲ以テ當初ニ於ケル當事者間ノ契約ハ第三者ニモ其關係ヲ及ホスキ場合アルカ故ニ疾クヨリ契約上ノ關係ヲ明カニスルノ必要アルニ由ルナラン保險證券ノ作成ハ保險者カ特ニ負フ所ノ義務ニシテ保險者カ之ヲ盡クサ、ルモ之ヲ怠ルコトアルモ保險契約ノ成立ニハ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシトス

保險證券ノ種類

第一節 保險證券ノ種類

第一、利益保險證券及ヒ賭博保險證券

利益保險證券トハ證券面ニ於テ被保險者ハ被保險利益ヲ有スルコトヲ記載スル證券ニシテ賭博保險證券トハ被保險利益ナキコトヲ記載スル證券ヲ云フ單ニ被保險利益ヲ有スルコトヲ記載セサル證券ハ一應利益保險證券ト見做ス可キモノトス

第二、記價保險證券及ヒ不記價保險證券

記價保險證券トハ當事者ノ合意ヲ以テ被保險物ノ價額ヲ定メ之ヲ證券面ニ記載スルモノヲ云ヒ不記價保險證券トハ被保險物ノ價額ヲ記載セサルモノヲ云フ記價保險證券ヲ作成シタル場合ニ於テ被保險物カ危険ニ遭遇シ損失ヲ蒙リタルトキハ被保險者ハ證券面記載ノ價額ヲ標準トシテ損害ノ賠償ヲ請求セサル可カラス後日ニ至リ異議ヲ呈出スルヲ得サルモノトス從テ後日被保險物ノ價額ヲ定ムルノ累ナク又之ヲ證明スルヲ要セサルナリ不記價保險證券ヲ作成シタル場合ニ在テハ權利ヲ主張スル者ハ被保險物ノ價額如何ヲ證明セサル可カラス其證明ハ凡テ適法ナル證據方法ヲ以テ之ヲ爲スコトヲ得法律上證據方法ニ何等ノ制限アルコトナシ若シ當事者ニ於テ損害額ニ付キ協議調ハサルトキハ裁判所ハ評價人ヲシテ之ヲ評價セシメ以テ損害額ヲ定メサル可カラス是商法第六百五十條ノ規定スル所ナリ

第三、航期保險證券及ヒ時期保險證券

此區別ハ海上保險ニノミ適用セラル、モノナリ航期保險證券トハ證券面ニ航海ノ開始スル場所ト其終了スル場所トヲ明記シ以テ其危険ニ制限ヲ付スルモノヲ云ヒ時期保險證券トハ時日ヲ以テ危険ヲ制限スルモノヲ云フ例ハ本年十二月

一日ヨリ三十一日マテノ海上危険ヲ保險ニ付スル旨ヲ記載スル證券ノ如シ而シテ別ニ此二證券ノ性質ヲ併有スル一種ノ證券アリ即チ場所ト時間トヲ以テ同時ニ危険ニ制限ヲ付スル證券ナリ例ヘハ本年十二月一日ヨリ三十一日マテ横濱ヨリ倫敦ニ至ル航海ヲ保險ニ付シタルカ如シ此證券ヲ名ツケテ混同保險證券ト云フ此證券ヲ以テ保險セラレタル時ハ其期限經過スルモ又ハ其航海終了スルモ保險者ハ俱ニ其責任ヲ免ル、モノトス即チ前例ニ於テ倫敦ヘ航行ノ中途佛國馬耳塞ニ於テ其期限經過スルトキハ其以後ノ危険ニ付テハ責任ヲ負フコトナカル可ク又既ニ倫敦ニ到着シタルトキハ未タ其期限ヲ經過セサルモ其以後ノ海上危険ニ付テハ其責ヲ負フコトナシ是レ混同保險證券ノ特質ナリ

第四、終身保險證券及ヒ年期保險證券
此區別ハ單ニ生命病傷保險及ヒ年金保險ニノミ適用セララル、モノニシテ終身保險證券トハ被保險者ノ終生ヲ期限トスル保險ヲ記スル證券ヲ云ヒ年期保險證券トハ或年限ヲ以テ期限トスル保險ヲ記スル證券ヲ云フ

第五、指圖式保險證券及ヒ無記名式保險證券

指圖式保險證券トハ保險者カ被保險人并ニ證券面ノ名宛人ニ對シテ契約上ノ義務ヲ履行スヘキコトヲ記載シタル證券ヲ云ヒ無記名保險證券トハ裏書ナクシテ他人ノ間ニ轉帳スルコトヲ得ヘク且既ニ其證券ヲ所有スル者ニ於テ契約上ノ權利ヲ實行セシムルコトヲ得ル證券ヲ云フ但白地ニテ之ヲ發行スルコトヲ得サルモノトス何トナレハ白地ノ發行ヲ許ストキハ保險契約ハ果シテ補償ノ性質ヲ有スヘキヤ否ヤヲ知ルコトヲ得サレハナリ

第二節 保險證券ニ記載スヘキ條件

商法第六百四十六條ニヨレハ保險證券ニ記載スヘキ條件ハ左ノ如シ

- 第一、 契約取結ノ年月日
- 第二、 保險者若クハ其代人ノ署名捺印
- 第三、 危険ノ始時及ヒ其期間
- 第四、 被保險物ノ充分精密ナル記載
- 第五、 被保險額トハ被保險物ノ全部滅失シタル場合ニ於テ保險者ノ賠償スヘキ金額ヲ云フ

保險證券ニ記載スヘキ條件

第六、 保険料ノ額

第七、 保険シタル危険

第八、 保険申込人ノ氏名及ヒ被保険者ノ指示

第九、 保険ノ旨趣ニ重要ナル影響ヲ及ホスヘキ事情及ヒ特別ナル約款アルト

キハ其約款、 保険ノ旨趣ニ重要ナル影響ヲ及ホスヘキ事情トハ例ヘハ特ニ

保険シタル危険ヲ増加スヘキ事情又ハ其被保険物ノ性質ヨリ特ニ危険ヲ増

加スヘキ事情ノ如キモノヲ云フ例ヘハ湯屋鍛冶屋カ其家屋ヲ保険ニ付シタ

ルトキハ自己ノ職業ヲ明記スヘキコトヲ云フモノナリ

以上九箇ノ條件ハ保険証券ニ記載スヘキモノトス是レ蓋シ後日當事者間ノ權利

關係ニ付テ爭ナカラシメンカ爲メナラスンハアラス

保險証券ノ解釋

第三節 保險証券ノ解釋

契約ノ主旨ハ商法第二百七十五條ノ規定ノ如ク當事者ノ眞實ニシテ且確定ナル
共通ノ意思ニヨリテ之ヲ定ムヘキモノナリ共通ナラサル意思若クハ確定ナラサ
ル意思ハ契約ノ解釋上些少ノ關係ヲ有セサルモノトス從テ保險契約モ亦此原則

ニヨリテ解釋セサルヘカラサルハ論ヲ俟タサル所ナリ尙ホ之ヲ詳説スヘシ

第一、 商人タル者ノ當然ノ思考ニヨリテ解釋セサルヘカラス 元來保險事業ナ

ルモノハ商事ナルヲ以テ商人タル者ノ當然ノ思考ニヨリテ之ヲ解釋セサルヘカ

ラサルハ第二百七十五條後段ノ規定ニヨリ明白ナル所ナリ

第二、 契約ノ主意ハ保險証券又ハ其附屬書類ノミニヨリテ解釋セサルヘカラス

然レトモ最初ヨリ保險証券ヲ作成セサル場合又ハ一旦作成シタルモ之ヲ紛失

シタル場合ニハ一般ノ立證方法ニヨリ契約ノ主旨ヲ證明スルヲ得ヘシ 蓋シ

保險証券ナルモノハ保險契約ノ主旨ヲ明カニスル爲メニ作成スルモノナレハ

此証券ニシテ存在セン乎他ノ間接ノ證據方法ヲ以テ證明スルヲ許サス此証券

ノ存在セサル場合ニ於テノミ他ノ立證方法ヲ許スヘキノミ英國證據法カ一等

證據存在スルトキハ二等證據ヲ以テ證明スルヲ許サ、ルト同一ノ旨意ナリ

第三、 商慣習モ契約ノ主旨ヲ解釋スルニ付テ關係アリ、 第二百七十五條後段ノ

規定ニ當事者ノ意思ハ商慣習ト當事者ノ意思ニヨリ解釋スヘシトアリ此慣習

ナルモノハ一般ニ認了セラレ且明白ナルモノナラサルヘカラス故ニ未タ疑ハ

シキモノ又ハ僅々二三ノ人ノミカ之ヲ認ムルモ慣習トハ云フ能ハサルナリ然レトモ總テノ人カ之ヲ認了スルコトヲ要セス唯多數ノ人カ一般ニ認ムルヲ以テ足レリトス而シテ一般ノ商人カ明白ニ認ムル所ノ商慣習ハ探テ以テ保險契約ノ解釋ニ資スルコトヲ得ルモノトス然レトモ商慣習ハ保險證券及ヒ其附屬書類ノ意味ヲ説明補充スル爲メニ援用スルヲ得ルニ止マリ保險證券及其附屬書類ノ意味ヲ變更スル爲メニハ援用スルヲ得サルナリ詳言スレハ保險證券ノ不明ナル意味ヲ補充シ説明スル爲メニハ之ヲ援用スルコトヲ得レトモ之ヲ變更スル爲メニハ援用スルコトヲ得サルナリ第二百七十五條後段ノ規定モ實ニ此意ナリトス然ルニ疑フヘキハ第六百四十七條ノ規定ナリ同條ハ規定シテ曰ク「保險證券ノ趣旨ハ商慣習又ハ附屬書類其他ノ證據ヲ以テ之ヲ更正シ説明シ變更シ補充スルコトヲ得」ト此規定ニ從フトキハ商慣習ハ保險證券ノ趣旨ヲ變更シ又ハ更正スル爲メニモ援用スルコトヲ得ト云ハサルヘカラスト雖モ斯ノ如キハ證據法ノ一大原則ニ反スルノミナラス契約ハ自由ニ取結フコトヲ得又契約ハ當事者ノ自由意思ナルコトヲ要ストノ原則ニモ反スルモノナリ豈不條

理ナル規定ニアラスヤ抑モ保險證券ハ特ニ當事者ノ權利關係ヲ明カナラシムル爲メニ作成セラル、モノナリ然ルニ保險證券ニ記載シアル事項ヲ商慣習ヲ以テ之ヲ變更シ若クハ更正スルコトヲ得ルトセハ證券ノ作成ヲ要スルノ主旨ハ果シテ那邊ニ存スヘキ乎甚タ了解ニ苦シマスンハアラヌ加之此規定ニヨレハ商慣習ニ反スル契約ハ常ニ之ヲ取結フコトヲ得サルコト、爲ルヘシ何トナレハ契約ニシテ商慣習ニ反スルコトアラシカ常ニ更正又ハ變更セラルヘケレハナリ契約ハ當事者ノ自由ニ一任シ苟モ道德ニ背キ公益ヲ害シ法律ニ反セサル限リハ十分効力ヲ有ストセサルヘカラス商慣習ニ反スルノ故ヲ以テ之ヲ不法ノ契約ト云フヲ得サルナリ而シテ同條ノ規定ハ商慣習ヲ以テ契約ヲ更正シ若クハ變更シ得ルト明言ス不條理ニアラスシテ何ソヤ然レトモ余ハ惟フ同條規定ノ精神ハ決シテ斯クノ如キモノニアラサルモ法文ノ不當ナル爲メ爾カ解釋セラル、ニ至リタルモノナルヘシト此解釋ニシテ誤ラスンハ同條ヲ適用スルニ當リテハ契約ノ主旨不明瞭ナルカ又ハ二様ニ解釋セラル、カ等ノ場合ニ於テ慣習ヲ以テ之ヲ補充シ又ハ説明スルヲ得ルニ止マリ商慣習ヲ以テ契約ヲ

變更シ更正スルヲ得ルモノニアラスト解釋スヘキナリ然レトモ證券ト商慣習トヲ比較シ證券ノ記載事項ニシテ全然誤謬ニ屬スル場合ニハ商慣習ヲ以テ之ヲ更正シ得ヘキハ勿論ナリ惟フニ同條規定ノ精神モ亦茲ニ存スヘシ

第四、手署シタル條項ハ印刷シタル條項ニ優ルモノナリ 盛大ニ取引ヲ爲ス場合ニハ契約ノ文言ヲ豫シメ印刷シ置クコトアリ例ヘハ地主カ地所賃貸契約書ヲ印刷ニ付スルカ如シ保險證券ノ如キモ普通ノ文言ヲ印刷ニ付シ置キ重要ナル事項ハ各場合ニ臨ミ記入スルコトアリ又ハ特ニ手書スルコトアリ此場合ニ於テ手書シタル契約ノ主旨ト印刷シタル契約ノ主旨トカ互ニ抵觸シタルトキハ手書シタル條項ハ印刷シタル條項ニ優ルモノトス換言スレハ手書シタル條項ヲ以テ正當ノモノト爲ス何トナレハ手書シタル條項ハ當事者カ特ニ注意ヲ加ヘタルモノナルヘキモ反之印刷シタル條項ハ一々手書スルノ煩雜ヲ避クル爲メニ豫シメ作り置クモノナレハ當事者ノ注意ヲ加フルコト尠少ナリト見做シ得レハナリ

第五、保險者ノ利益ノ爲ニ特ニ記入セル約款ノ意義カ二様ニ解釋セラル、トキハ被保險者ノ利益ニ解釋スルヨリハ寧ロ保險者ノ利益ニ解釋セサルヘカラス約言スレハ約款ノ利益ヲ受クル者ノ爲メニ解釋セサルヘカラスト云フニアリ此點ハ正サシク民法ノ原則ト反對ス即チ民法ノ原則ハ合意カ二様ニ解釋セラ、トキハ義務者ノ利益ノ爲メニ解釋スト爲スモ此場合ハ特別ノ場合トシテ約款カ保險者ノ利益ノ爲メニ記入セラレタルトキハ保險者ノ利益ノ爲メニ解釋スヘシト爲セリ然ラハ如何ナル場合ニ於テ保險者ノ利益ノ爲メニ約款カ特ニ記入セラレヘキヤ例ヘハ玻璃陶器等ノ運送ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ二割若クハ三割以下ノ損害ニ付テハ保險者ハ賠償ノ責ニ任セスト記載スルトキハ暴風雨等ノ爲メニ危險發生スルコトアルモ其損害ニシテ約款ノ割合以下ニ止マランカ保險者ハ損害ヲ賠償スルノ義務ナカルヘシ此場合ニ於ケル約款ハ保險者ノ利益ノ爲メニ特ニ記載セラレタルモノニ外ナラサルナリ

重複保險
及ヒ超過
不足保險
及ヒ超過
重複保險

第七章 重複保險、不足保險及ヒ超過保險

第一節 重複保險

重複保險トハ同一ナル被保險利益ニ付テ二人以上ノ保險者ト各別ニ取結フ所ノ

保險法 總則 重複保險、不足保險及ヒ超過保險 重複保險

保險契約ヲ云フ此保險ハ同時ニ取結フコトヲ得又時ヲ異ニシテ之ヲ取結フコトヲモ得而シテ此重複保險ノ結果ハ恰モ保險者ノ辨濟能力ヲ保險ニ付スルニ同シトス被保險額非常ニ多額ニシテ一人ノ保險者ニ於テ果シテ之ヲ賠償スルヲ得ルヤ否ヤノ甚タ疑ハシキ場合ニ於テハ全ク同一ノ被保險物ニ付テ數人ノ保險者ト各別ニ保險契約ヲ結フコトノ策ノ得タルモノタルハ最モ親易キ所ナリ重複保險ノ必要ナルコト多言ヲ須タサルヘシ

重複保險ヲ締結センニハ必ス二ヶノ條件ヲ具備セサルヘカラス若シ此條件ノ一ヲ欠クコトアランカ其契約ハ無効ニ歸スヘシ其條件ハ即チ左ノ如シ

第一、重複保險ナルコトヲ各保險者ニ通知スルコト

第二、各保險者ハ之ヲ承諾スルコト

之ヲ要スルニ重複保險ナルコトヲ各保險者ニ通知シテ各其承諾ヲ得サルヘカラスト云フニアリ茲ニ所謂承諾ハ必スシモ明示ナルコトヲ要セス默示ニテモ充分ニ其効力アリトス例ヘハ甲者ノ保險ヲ得之ヲ乙者ニ告ケ同一ノ目的物ニ付テ保險契約ヲ取結ヒタルトキハ乙者ハ重複保險ナルコトヲ知リツ、保險契約ヲ取結

ヒタル者ナレハ暗黙ノ承諾アリト云ヒ得ヘキヲ以テ乙者ハ保險契約ノ解除ヲ求ムルノ權利ナシト雖モ甲者ハ其重複保險ナルコトヲ知ラサルカ故ニ後日ニ至リ乙者トノ保險契約ヲ知リタルトキハ直チニ保險契約ノ解除ヲ求ムルコトヲ得ルカ如シ次キニ何故ニ重複保險ニハ前掲ノ二條件ヲ具備スルコトヲ要スルヤト云フニ此二條件ヲ具備セサル重複保險ハ保險契約ノ最大原則タル補償ノ性質ヲ欠缺スルヲ以テナリ請フ之ヲ例解セン假リニ東京法學院ノ建物ヲ一萬圓ニテ甲火災保險會社ト保險契約ヲ取結ヒ更ニ乙火災保險會社ニ同シク一萬圓ニテ保險ニ付シタルニ甲乙ノ火災保險會社ハ共ニ他ノ保險アルコトヲ知ラサリシトセンニ後日火災ノ爲メニ其建物燒失スルコトアラハ甲會社モ一萬圓ノ賠償ヲ爲サルヘカラス乙會社モ亦一萬圓ノ賠償ヲ爲サルヘカラスルヘシ果シテ然ラハ東京法學院ノ所有者ハ實際一萬圓ノ財産ヲ保險ニ付シタル爲メニ二萬圓ノ賠償ヲ得ルニ至ルヘシ是レ豈ニ補償ノ性質ヲ具有スルモノナランヤ被保險者ノ得ル所ハ必スヤ一萬圓ヲ超過スルヲ得サルナリ故ニ前例ニ於テ甲ナル保險會社カ一萬圓ヲ辨償シタルトキハ乙ナル保險會社ニ對シテ被保險額ノ割合ヲ請求スルヲ得ヘ

シ若シ此條件ヲ必要ト爲サ、ルトキハ甲會社ハ乙會社ニ對シ割合ヲ請求スル機會ヲ失フコトアルヘシ是法律カ前掲二ケノ條件ヲ必要トスル所以ナリ
 重複保險ハ各獨立シタル契約ナリト雖モ其結果ヨリ論スルトキハ保險者ノ各自カ共同シテ保險シタルト同一ニ歸ス換言スレハ各保險者カ連帶ヲ以テ各別ニ保險契約ヲ取結ヒタルト同シ斯ノ如ク重複保險ノ結果ハ保險者ノ各自カ共同シテ保險シタルト同一ナリト雖モ本來ハ各獨立セル契約ナルカ故ニ被保險者ハ各保險者ニ對シ相當ノ保險料ヲ支拂ハサルヘカラス若シ之ヲ支拂ハサルトキハ危險ノ發生スルニ及ヒ保險者ニ對シテ賠償ヲ請求スルコトヲ得サルナリ事ハ第六百三十七條及ヒ第六百三十八條ニ於テ規定セラル而シテ一ノ保險者ニシテ目的物ノ危險發生シタル時ニ損害ヲ賠償シタルトキハ保險ノ割合ニ應シテ賠償額ノ幾分ヲ更ニ他ノ保險者ニ對シテ請求スルコトヲ得ヘシ以上ノ説明ヲ例解セハ丁者ヨリ甲乙丙ノ三保險會社ト各別ニ保險契約ヲ取結ヒ甲保險會社ニハ一萬圓ノ保險ニ對シ乙丙保險會社ニハ各五千圓ツ、ノ保險ニ付シタル目的物タル家屋一朝火災ニ罹リ燒失シタル爲メ甲保險會社ヨリ丁者ニ對シ一萬圓ヲ賠償シタルトセ

ハ甲保險會社ハ乙丙保險會社ニ對シテ其賠償金ノ幾分ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス此場合ニ於テ甲保險會社カ賠償ヲ請求シ得ヘキ割合如何ト云フニ甲保險會社ハ一萬圓乙丙保險會社ハ各五千圓ツ、保險シタルモノナレハ甲保險會社ハ乙丙保險會社ニ對シテ二千五百圓ツ、ノ賠償ヲ請求シ得ヘシ而シテ乙丙保險會社カ既ニ賠償シタルトキハ亦同一ノ割合ヲ以テ他ノ保險會社ニ賠償ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス之ヲ約言スレハ各保險者ハ共同シテ賠償額ヲ定メタルト同一ニ歸着スルモノナリ而シテ此場合ニ於テ被保險人ハ一萬圓ノ被保險額ニ對シ二萬圓ノ保險料ヲ支拂ヒ來リタルヲ以テ其割合ヲ以テ各保險會社ニ對シ保險料ノ取戻ヲ爲スコトヲ得事ハ第六百五十七條ノ規定スル所ナリ

第一節 不足保險

不足保險ハ被保險額ニ滿タサル額ヲ以テ保險ニ付スル契約ヲ云フ商法ニハ明文ノ規定ナキモ第六百三十九條ニ保險スルコトヲ得ル利益ノ額ニ滿タサル保險ノ場合ニ在テハ其殘餘ノ額ニ付キ被保險者ヲ自己ノ保險者ト見做シ被保險者ハ其額ノ割合ニ應シテ損害ヲ負擔スルト規定セルハ則チ不足保險ヲ云フモノナリ例ヘ

不足保險

ハ一萬圓ノ被保險額ヲ有スル建物ヲ五千圓ノ保險ニ付シタル場合ノ如シ此保險ハ補償ノ性質ヲ欠ク所ナキヲ以テ契約ノ効力ハ充分ナリトス然ラハ其効力ノ範圍如何ト云フニ之ニ關シテハ學說三ニ分ル

第一說ハ曰ク不足保險ノ金額ハ保險者ノ賠償スヘキ金額ノ最高額ヲ示シタルモノナリト故ニ此說ニヨルトキハ一萬圓ノ被保險額ヲ有スル建物ヲ五千圓ノ保險ニ付シタル場合ニ其建物ノ全部燒失シタルトキハ五千圓ノ賠償ヲ爲スヲ以テ足レリトシ若シ又建物ノ一部ノミ燒失シテ實際ノ損害額カ五千圓未滿ナルトキハ實際ノ損害額ヲ賠償セサルヘカラサルコト、爲ルヘシ換言スレハ保險者ハ被保險物一部ノ損失アリタルトキハ實際ノ損害ヲ賠償セサルヘカラスト雖モ如何ナル損失アルトモ常ニ五千圓ヲ超過シテ賠償スルコトナシトス此說實ニ有力ナル學說ナリ然レトモ此說ニヨルトキハ一部損失ノ場合ト全部損失ノ場合ニ於テ同一ノ賠償ヲ爲サルヘカラサル結果ヲ生スルニ至ル例ヘハ一萬圓ノ建物ヲ五千圓ニテ保險ニ付シタルニ其全部燒失シタル場合ト其一部燒失シテ損害額五千圓ナル場合ニ於テ保險者ハ同シク五千圓ヲ賠償スルコト、爲ルヘシ是レ豈權衡ヲ

得タルモノナランヤ

第二說ハ曰ク不足保險ノ金額ハ保險者ノ責任ヲ有セサル額ヲ示シタルモノナリト其說ク所第一說ト正反對ニシテ歸スル所ハ一萬圓ノ建物ヲ五千圓ニテ保險ニ付シタルニ建物燒失シテ損害額カ五千圓ヲ超過シタル場合ニノミ保險者ハ損害ヲ賠償スルノ責アリト云ニアリ故ニ此說ニ從フトキハ建物ノ損害額六千圓ナリシトキハ保險者ハ千圓ヲ賠償スルノ責アレトモ若シ損害ニシテ五千圓以下ナルトキハ保險者ハ全ク賠償ノ責ヲ免ルコト、爲ル其不當ノ說タル多言ヲ須タサルヘシ

第三說ハ曰ク不足保險ノ賠償ハ被保險物ノ價額ト保險者ノ賠償金額トノ比例ヲ示シタルモノナリト是レ正サシク前二說ヲ折衷シタルモノナリ此說ニヨルトキハ一萬圓ノ建物ヲ五千圓ニテ保險ニ付シ全部燒失シタルトキハ保險者ハ五千圓ヲ賠償セサルヘカラスト若シ一部ノ損失ニシテ其損害額五千圓ナルトキハ保險者ハ二千五百圓ヲ賠償スヘキコト、爲ルヘシ故ニ此說ハ第一說ノ如ク全部損失ノ場合ト一部損失ノ場合トニ於テ聊カ不權衡ヲ生スルノ不都合ナク又第二說ノ如

ク現ニ損害アルニ拘ハラス少シモ賠償ノ責ナシト云フノ不都合ヲモ生スルコトナキナリ

以上ノ三說中我商法ハ第三說ヲ採用セルコト明カナリ是レ第六百三十九條ノ規定ニ徴シテ知り得ヘキ所ナリ同條ハ其殘餘ノ額ニ付キ被保險者ヲ自己ノ保險者ト看做シ云々ト規定シ所謂立法上ノ擬制ニ出テタルモ其意ハ第三說ト異ナルコトナシトス之ヲ例解センニ一萬圓ノ建物ヲ五千圓ニテ保險ニ付シタルトキハ其殘額五千圓ニ付テハ被保險者ヲ以テ保險者ト看做スカ故ニ保險者ハ此割合ヲ以テ損害ヲ賠償セサルヘカラサルナリ若シ建物ノ全部損失アルトキハ被保險者ハ保險者ヨリ五千圓ノ賠償ヲ得殘額五千圓ハ被保險者自ラ保險シタルモノナレハ其損失ハ自ラ之ヲ負擔セサルヘカラス若シ五千圓ノ損害アリタルトキハ保險者ハ二千五百圓ヲ賠償シ被保險者ハ殘リ二千五百圓ヲ負擔セサルヘカラサルナリ斯ノ如ク解釋スルトキハ同條ノ規定ハ甚タ至當ナリト云フヘシ然レトモ余カ此法文ニ付テ疑ヲ抱クハ立法者ハ何等ノ理由ニヨリ何等ノ必要ニヨリ擬制法ヲ用キタル乎ノコト是ナリ抑モ立法上擬制法ヲ採ルハ極メテ必要ナル場合ナリ然ル

ニ同條ニ於テ擬制法ヲ用ユルハ甚タ當テ得タルモノニアラスト信スルナリ而シテ同條ノ規定ハ別段ノ契約存セサル場合ニ適用スヘキモノナレハ特ニ賠償ノ割合ヲ定ムルカ又ハ特別ナル意思アルトキハ同條ヲ適用スル能ハサルハ勿論ナリトス

超過保險

第三節 超過保險

超過保險ハ實價一萬圓ノ建物ヲ一萬五千圓ノ保險ニ付スルカ如キヲ云フ此保險ハ補償ノ性質ニ反スルカ故ニ法律ハ充分ノ効力ヲ付與セサルモノトス然レトモ保險契約ノ全部ヲ無効ト爲スニアラスシテ唯其超過シタル部分ヲ無効ト爲スモノナリ故ニ一萬圓ノ建物ヲ一萬五千圓ニテ保險ニ付シタルハ當初ヨリ一萬圓ノ保險ニ付シタルト異ナルナキナリ是猶ホ今日ノ利息制限法ニ反シ高歩ノ利息ヲ拂フヘキ契約ヲ結フモ其全部ノ不法ナルニアラスシテ唯其超過シタル部分ノミカ不法タルカ如シ

超過保險ヲ取結ヒタル場合ニ於テハ詐欺ノ問題ヲ生スルコトアルヘシ保險契約ハ最上ノ誠意ヲ要スルモノナレハ此場合ニ於テハ契約ノ全部ハ全ク無効タルヘ

キモノトス又超過保險ニ於テハ其保險料モ亦減少セサルヘカラス故ニ前例ニ於テ被保險者ヨリ既ニ一萬五千圓ニ對スル保險料ヲ支拂ヒタルトキハ被保險者ハ保險者ニ對シテ超過部分ニ對スル保險料ノ返還ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス

損失ノ賠償

第八章 損失ノ賠償

商法第六百三十四條第一項ハ規定シテ曰ク辨濟ス可キ賠償額ハ人ノ保險ニ在テハ被保險額トシ物ノ保險ニ在テハ被保險者カ危險ノ發生ニ因リテ直接又ハ間接ニ被フリタル損害ヲ以テ限トスト此規定ニ依レハ人ノ保險即チ生命及病傷ノ保險ノ場合ト物ノ保險ノ場合トノ間ニハ損害ノ賠償額ヲ定ムルノ點ニ於テ多少ノ差異アルコトヲ知ルヘキナリ蓋シ生命保險ノ場合ニ於テハ別ニ普通一定セル生命ノ價額ナルモノナキカ故ニ被保險者ハ自由ニ其被保險利益ヲ定ムルコトヲ得例ヘハ余カ生命保險契約ヲ締結スルニ方リテハ余ノ生命ハ敢テ一千圓若クハ五千圓ト定マリタルモノニアラサルカ故ニ余ハ自由ニ其價額ヲ一萬圓若クハ五萬圓ト定ムルコトヲ得ヘシ唯斯ノ如ク多額ノ價額ヲ付シタルトキハ之ニ對シテ又多額ノ保險料ヲ支拂ハサルヘカラサルノミ從テ生命保險ノ場合ニ在テハ當事者

カ定メタル所ノ被保險額ヲ以テ賠償ノ標準トセサルヘカラス之ニ反シテ物ノ保險ノ場合ニ於テハ被保險物ハ本來普通ノ價額ヲ有スルモノナルカ故ニ被保險利益モ亦自ラ其價額ニ由リテ定マリ被保險者カ自由ニ其價額ヲ定ムルコトヲ得ス若シ實價ニ超過セル價額ヲ以テ保險ニ付シタルトキ例ヘハ一千圓ノ價額ヲ有スル物ヲ一萬圓ノ價額ヲ以テ保險ニ付シタルトキハ之ヲ實價即チ一千圓ノ被保險價額マテニ減少セサルヘカラス然レトモ當事者カ誠意ヲ以テ被保險物ノ價額ヲ約定シタルトキハ縱令多少普通ノ價額ヲ超過スルモ法律上其効力アリ裁判所ト雖モ之ヲ非難スルコトヲ得ス從テ其約定價額ヲ以テ賠償額ノ標準ト爲スヘキモノトス是ヲ以テ生命保險ノ場合ニ於テハ必ス豫メ被保險額ヲ約定スルコトヲ要ス之ニ反シテ物ノ保險ノ場合ニ於テハ特ニ豫メ被保險額ヲ約定スルコトヲ要セス而シテ此場合ニハ實際被保險者カ危險發生ノ爲メニ直接又ハ間接ニ被フリタル所ノ損害ヲ標準トシテ賠償額ヲ定ムヘキモノトス且生命保險ノ場合ニ在リテハ被保險額ヲ定メサルトキハ其契約無効ナリト雖モ物ノ保險ノ場合ニ在リテハ縱令被保險額ヲ定メサルモ其契約ハ有効ナリ

物ノ保險ニ付キ危險ノ發生シタル場合ニ於テ保險者カ其直接ノ損害ヲ賠償スルニ付テハ論ナシト雖モ其間接ノ損害ニ付テハ如何ナル損害マテヲ負擔スヘキヤノ點ハ大ニ研究ノ必要アルモノトス廣汎ニ間接ノ損害ヲ解釋スルトキハ或ハ總テノ損害ハ悉ク保險者ニ於テ之ヲ負擔セサルヘカラスナルニ至ルヤモ知ルヘカラス蓋シ宇宙間ノ事物ハ一トシテ直接又ハ間接ニ其關係ヲ有セサルモノナシ一ノ原因アリテ一ノ結果ヲ生シ其結果ハ又一ノ原因トナリテ他ノ結果ヲ生シ斯ノ如クニシテ遂ニ底止スル所ヲ知ラサルモノナルカ故ニ總テノ損害ハ皆間接ニ生シタルモノニシテ保險者ハ悉ク之ヲ負擔セサルヘカラスト謂フヘキヲ以テナリ然レトモ商法ニ所謂間接ノ損害トハ斯ノ如ク廣義ニ解釋スヘキモノニアラス單ニ第一ノ間接ノ損害ノミヲ指スモノト解釋セサルヘカラス例ヘハ火災保險ノ場合ニ於テハ火災ノ爲メニ現ニ生シタル損害ハ直接ノ損害ナリ而シテ火災ヲ避ケンカ爲メニ被保險物ヲ往來ニ持出シ爲メニ破損ヲ生シタルカ如キハ間接ノ損害ナリ即チ火災カ原因トナリテ破損ノ結果ヲ生シタルモノナリ又一例ヲ舉ケレハ火災ヲ避クルカ爲メニ被保險物ヲ往來ニ持出シタルニ偶ニ盜難ニ罹リタルトキノ如

キ其損害ハ間接ノ損害ナリヤ否ト云フニ是レ火災ノ爲メニ被保險物ヲ往來ニ持出スノ結果ヲ生シ往來ニ持出シタルカ爲メニ盜難ニ罹ルノ結果ヲ生シタルモノナリ故ニ之ヲ嚴格ニ解釋スルトキハ此損害ハ第二ノ間接損害ナリト謂ハサルヘカラス故ニ一般ノ原則ヨリ之ヲ論スレハ斯ノ如キ損害ハ保險者ノ負擔スヘキモノニアラスナルナリ唯火災保險ノ場合ニ於テハ後ニ論述スヘキカ如ク特別ノ規定アルカ故ニ保險者之ヲ負擔セサルヘカラスモノナルノミ要スルニ一般ノ原則トシテハ保險者ハ單ニ第一ノ間接ノ損害ヲ負擔スルモノタルニ過キサルナリ又商法第六百三十四條第二項ニハ間接ノ損害中ニハ現ニ生シ又ハ將ニ生セントスル危險ノ已ムヲ得サル防止ニ因リテ生シタル別段ノ費用及ヒ損害ヲモ包含スルモノトストノ規定アリ故ニ斯ル費用及ヒ損害モ亦保險者ノ賠償セサルヘカラスルモノナリ而シテ我商法ハ斯ル費用及ヒ損害ハ間接ノ損害ナルヲ以テ保險者之ヲ賠償セサルヘカラスト爲スモノナレトモ英米ノ法律ニ於テハ間接ノ損害ハ保險者之ヲ賠償スルノ責ナシトスルニモ拘ハラズ現ニ生シ又ハ將ニ生セントスル危險ノ已ムヲ得サル防止ニ因リテ生シタル別段ノ費用及ヒ損害ハ保險者ノ負

擔スヘキモノトセリ今其理由トスル所ヲ見ルニ斯ル防止ノ所爲ハ保險者ニ利益
 ナリ要スルモノナリ蓋シ此所爲ナカリセハ被保險物ハ損失ヲ免レサルモノタレハ
 損害ハ保險者ニ於テ之ヲ辨償セサルヘカラスト云フニ在リ元來性質上ヨリ論ス
 ルトキハ斯ル損害ノ果シテ間接ノ損害ナルヘキヤ否ハ一ノ疑問ナリト謂ハサル
 ヘカラスト何トナレハ火災ノ危險カ未タ發生セサル時ニ於テ生シタル損害ヲモ尙
 ホ之ヲ火災ノ間接ノ損害ナリト言フハ其當ヲ得タルモノニアラサレハナリ斯ノ
 如ク我商法ト英米法トハ其理由ヲ相異ニスト雖モ斯ル費用及ヒ損害ハ保險者之
 ナ負擔セサルヘカラスト云フノ結果ニ至リテハ全ク其揆ヲ一ニスルモノト謂フ
 ヘシ

上述セルカ如ク物ノ保險ノ場合ニ於テハ實際被保險者カ危險發生ノ爲メニ直接
 又ハ間接ニ被フリタル損害ハ保險者之ヲ賠償スヘキナリ例ヘハ此學校ヲ保險ニ
 付シタル場合ニ不幸ニシテ學校ハ火災ニ罹リタリトセンカ之カ爲メニ實際幾何
 ノ損害ヲ直接間接ニ生シタルヤヲ査定シテ其賠償額ヲ支拂フヘキモノトス即チ

全部焼失シテ灰燼ヲ殘スニ止マリ毫モ價額ヲ有セサルニ至リタルトキハ全價額
 ナ賠償セサルヘカラスト又若シ一分殘存シテ尙ホ若干ノ價額ヲ有スルトキハ此價
 額ヲ被保險價額ヨリ控除シテ其餘ヲ賠償スヘキモノト爲スナリ而シテ被保險物
 カ使用ニ供スヘキ動産ニシテ其一分ノ毀損ニ係ルトキハ保險者ハ其修繕費用ヲ
 標準トシテ損害ノ賠償額ヲ定ムヘシ若シ其全部ノ毀損ニ係ルトキハ新調ノ費用
 ナ標準トシテ賠償額ヲ定ムヘキモノナリ又商品ニ付テハ損害ノ生シタル時及場
 所ニ於ケル市價ヲ標準トシテ賠償額ヲ定ムヘキモノトス(商法第六百三十條)
 是ヨリ更ニ方面ヲ換ヘ如何ナル損害ハ保險者ニ於テ賠償ノ責ヲ有セサルヤノ問
 題ニ付キテ聊カ講述スル所アラント欲ス蓋シ此問題ヲ明晰ナラシムルトキハ自
 然ニ保險者ノ賠償スヘキ損害ノ何タルコト明白ナルニ至レハナリ依テ其責ヲ有
 セサル場合ヲ左ニ列擧スヘシ

(第一) 被保險者カ已ムチ得サルニアラスシテ任意ニ加ヘ若クハ加ヘシメタル損
 失(商法第六百三十五條)

被保險者カ將ニ生セントスル危險ノ已ムチ得スシテ任意ニ加ヘ若クハ加ヘシ

メタル損失ハ保險者之ヲ負擔セサルヘカラス然レトモ已ムヲ得サルニアラス
 シテ任意ニ加ヘ若クハ加ヘシメタル損失ハ保險者ノ賠償スヘキ限ニ在ラサル
 ナリ蓋シ保險者ノ賠償スヘキ損害ハ必ス不測ノ危險ニ因リテ生スルカ若クハ
 之ヲ防止スルカ爲メニ已ムヲ得スシテ生シタルモノナラサルヘカラス防止ノ
 必要ナキニ拘ハラズ任意ニ費用若クハ損害ヲ加ヘタルモノナルトキハ保險
 者ニ於テ之ヲ賠償スルノ義務ヲ有セサレハナリ例ヘハ遠方ニ火災アルニ驚怖
 シ被保險物ヲ他所ニ運搬シテ費用ヲ要シタルモ保險者之ヲ賠償スル義務ナシ
 何トナレハ是レ已ムヲ得サルニアラサル費用ナレハナリ

〔第二〕被保險物ノ性質上直接ニ生シタル損失(同上)

例ヘハ玻璃又ハ陶器類ノ如キ性質上破碎シ易キ物品ヲ運搬スルニ當リテハ其
 途中ニ於テ多少ノ損失アルハ免ルヘカラサル所ナリ而シテ斯ノ如キ物ノ性質
 ヨリ直接ニ生シタル損失ハ保險者ノ負擔スヘキ限ニ在ラス蓋シ保險ハ不測ノ
 損害ヲ賠償スルノ契約ニシテ到底免ルヘカラサル損失ヲ賠償スルノ契約ニア
 ラサレハナリ

〔第三〕被保險物固有ノ瑕疵ヨリ直接ニ生シタル損失(同上)

例ヘハ粗造ノ火藥ノ如キハ往々不時ニ火ヲ發シテ損失ヲ生スルモノナリ又動
 物ノ如キハ固有ノ疾病ニ因リテ斃ル、コトアリ斯ノ如キ被保險物固有ノ瑕疵
 ヨリ生シタル損失ハ保險者之ヲ賠償スルノ責任ヲ有セサルモノトス

〔第四〕被保險物當然ノ使用ニ因リテ生シタル損失(同上)

總テ物ハ之ヲ使用スルニ因リテ多少ノ磨損ヲ來スハ免ルヘカラサル所ナリ即
 チ人類又ハ畜類ノ如キハ縱令勞働スルモ常ニ之ヲ補充スルモノアルカ故ニ別
 段損失ヲ生スルコトナキモ船舶其他ノ無機物ハ之ヲ使用スルトキハ多少ノ磨
 滅損耗ヲ生シ從テ損失ハ到底免ルヘカラサル所ナリ故ニ斯ノ如キ損失ハ保險
 者ニ於テ之ヲ賠償スル義務ナシ何トナレハ此等ノ損失ハ到底免ルコトヲ得サ
 ルモノニシテ且各人ノ豫想スヘキモノナルカ故ニ保險法ヲ以テ之ヲ保護スヘ
 キモノニアラサレハナリ

〔第五〕戰爭又ハ暴動ニ因リテ生シタル損失(同第六百五十二條)

此種ノ損失ニ付テハ保險者常ニ賠償ノ責任ヲ有セサルニアラス唯特ニ明約ナ

キ場合ニ於テ賠償ノ責任ヲ有セサルノミ蓋シ戦争又ハ暴動ノ如キハ多クハ或場所ヲ限リテ起生スルモノニシテ其起生シタル場所ニ於テハ危險實ニ甚シク時トシテハ身體財産ヲ擧ケテ喪失スルコトナキニアラス斯ノ如ク非常ナル危險ヲ保險スルニ方リテハ保險者ハ特ニ多額ノ保險料ヲ受クヘキモノタリ故ニ法律ハ苟モ明約ヲ以テ引受ケサル以上ハ保險者ニ於テ此等ノ損失ヲ賠償スルノ責任ナシト規定セルナリ而シテ通常一般ノ保險證券ニ於テ縱令廣義ノ文字ヲ用非其文字ノ解釋ニ依レハ自ラ戦争暴動ヲ包含スルモノト看做スコトヲ得ル場合ト雖モ未タ保險者ヲシテ此等ノ損失ヲ負擔セシメス此等ノ損失ヲ負擔セシムルニハ必ス特別ノ明約アルコトヲ要スルモノトス

第九章 保險契約ノ移轉

保險契約ハ補償ノ性質ヲ帶フヘキモノナルカ故ニ被保險利益ヲ有セサル者ノ取結ヘル保險ハ全ク無効ナリ且被保險者カ保險契約ノ保護ヲ受クルニハ雷ニ契約ノ當時被保險利益ヲ有スルノミナラス危險發生ノ當時ニ於テモ被保險利益ヲ有セサルヘカラス蓋シ契約ノ當時被保險利益ヲ有セサレハ其保險契約ハ賭博ニ相

保險契約ノ移轉

異ナル所ナク又危險發生ノ當時被保險利益ヲ有セサレハ被保險者ハ自ラ損失ヲ被フルノ理由ナク從テ補償ノ性質ヲ有セサレハナリ是故ニ被保險者カ保險契約ヲ取結ヒタル後其被保險物ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ被保險者ハ危險發生ノ當時被保險利益ヲ有セス又讓受人ハ保險契約締結ノ當時被保險利益ヲ有セサルヲ以テ二者共ニ保險契約ノ利益ヲ享有スル能ハスト謂ハサルヘカラス然レトモ我商法ニ於テハ保險契約ニ物約ノ性質ヲ帶ハシメ從テ被保險物ヲ讓受ケタル者ハ當然保險契約ヲモ併セテ讓受ケタルモノト看做シ而シテ此讓受人ハ保險者ニ對シテ賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ルモノト規定セリ是レ被保險物ヲ他人ニ移轉スルトキハ之ト共ニ其保險契約ヲモ亦移轉スルコト當事者及ヒ保險者ノ承諾ニ出ツルモノト看做シタルナリ故ニ嚴格ニ解釋スルトキハ保險契約ノ移轉ト稱スルヨリモ寧ロ保險者ト新取得者ノ間ニ新ナル保險契約ヲ取結ヒタルモノト謂フコトヲ得ヘシ

以上ハ是レ我商法ノ規定スル所ナルカ之ニ反シテ英米ノ法律ニ於テハ保險契約ニ物約ノ性質ヲ帶ハシムルコトナク從ヒテ被保險物ヲ轉輾スルモ當然併セテ保

險契約ヲモ移轉スルコトナシ蓋シ性質上ヨリ言フトキハ保險契約ハ決シテ物約ノ性質ヲ帶フルモノニアラサレハナリ是故ニ英米法ニ依レハ被保險物ヲ轉讓スルモ保險契約ヲモ移轉シタルモノト看做サ、ルヲ以テ原則トス唯特ニ合意上被保險物ノ轉讓ニ因リテ保險契約ヲモ移轉シタルモノト看做スヘキ場合ハ例外タルナリ

前段ニ於テ說明セルカ如ク我商法ニ於テハ被保險物ノ轉讓ト共ニ保險契約ヲモ併セテ移轉スルモノナリト云フヲ以テ原則トス然レトモ當事者ノ意思ヲ推測シ左ノ四個ノ場合ニ於テハ例外トシテ被保險物ノ轉讓ト共ニ保險契約ヲ移轉セシメサルモノトス(商法第六百四十條)

(第一) 讓渡人カ特ニ利益ヲ留置キタル場合

例ヘハ被保險物ヲ讓渡セルモ代金ノ擔保トシテ之ヲ自己ノ手許ニ留置スルカ如キ場合ニ於テハ保險契約ヲ移轉シタルモノト看做サス故ニ斯ノ如キ場合ニ於テ若シ被保險物カ危險ニ罹リタルトキハ讓渡人ニ於テ保險ノ利益ヲ主張スルコトヲ得ルモノトス何トナレハ讓渡人ハ尙ホ被保險物上ニ利害ノ關係ヲ有

(第二) 商法第六百五十四條ノ場合

スルカ故ニ保險契約マテモ併セテ讓渡シタルモノト見做サテ得サレハナリ
商法第六百五十四條ノ場合トハ結約ノ後狀況ニ變更ヲ生シ之カ爲メニ危險ヲ増加シ若シハ變更シタル場合又ハ相當ノ期間内ニ於テ保險者カ保險料ノ支拂ヲ請求スルモ被保險物ノ讓受人カ其支拂ヲ爲サ、ル場合ヲ云フ而シテ此前段ノ場合ニハ何カ故ニ其保險契約ハ被保險物ト共ニ移轉セサルヤト云フニ所有者變更ノ爲メニ大ニ危險ノ増加スルカ如キ場合ニ於テハ保險者ハ其移轉ニ承諾ヲ表スルモノニアラストノ一應ノ推測ヲ下スコトヲ得ルニ山ル例ヘハ今學校ヲ保險ニ付シタル場合ニ其學校ヲ第三者ニ讓渡シ而シテ第三者ハ其建物ノ使用ヲ變シテ鍛冶職ヲ營マントスルトキハ其危險ノ程度ハ前ト大ニ相異ナリ即チ所有者ノ變更ノ爲メニ危險ヲ増加スルモノナルカ故ニ斯ノ如キ場合ニ於テハ保險者ハ保險契約ノ移轉ニ付キ承諾セサルモノト看做スヘシ何トナレハ危險ニシテ増加スルトキハ從テ保險料ノ増加ヲ要スルモノナレハナリ又後段ノ場合ニ於テモ讓受人カ保險料ノ支拂ヲ爲サ、ルカ如キコトアラハ始ヨリ保

險契約ヲ讓受シルノ意思ナキコトヲ推測スルヲ得ヘキナリ

(第三) 保險者カ轉付ニ付キ承諾ヲ與フル權利ヲ明示シテ留保セル場合

例ハ、保險契約ヲ移轉スルニ方リテハ保險者ノ承諾ヲ經由スヘキコトヲ明約セル場合ノ如シ此場合ニ於テハ反對ノ意思アルコト最モ明瞭ニシテ毫末疑團ヲ存スヘキニアラサルナリ

(第四) 被保險物ヲ轉帳スルノ當事者カ特ニ保險契約ノ轉付ナキコトヲ明示セル場合

例ハ、被保險物ノ讓渡人カ保險契約ヲ轉付セサルコトヲ明言シ又ハ其讓受人カ保險契約ノ轉付ヲ受ケサルコトヲ明言セル場合ノ如シ此場合モ亦當事者ニ反對ノ意思アルコト明瞭ナリトス

保險營業

第十章 保險營業

保險營業ハ社會ノ利害ニ關スルコト頗ル大ナルノミナラス其營業ハ永遠ヲ期スルモノニシテ夫ノ生命保險ノ如キハ人ノ終身ヲ契約ノ期トス且ツ保險營業ハ性質上詐欺ノ極メテ行ハレ易キモノナルカ故ニ是等ノ營業ハ他ノ營業ト異ナリ嚴格ニ監督セサルヘカラス若シ之ヲ自由ノ營業ニ委ネン乎其弊害蓋シ測ルヘカラスルモノアラシ故ニ何レノ邦國ニ於テモ保險營業ハ特殊ノモノト爲シ頗ル嚴格ナル監督ノ下ニ置カサルモノナシ我立法者モ第六節保險營業ノ公行ト題シテ六百八十九條ヨリ六百九十八條ニ至ル十個條ノ規定ヲ設ク弊害ヲ豫防センコトヲ期セリ而シテ此規定ハ一個人ノ營業會社ノ營業ハ勿論組合ノ營業ニ至ル迄苟モ保險營業ニ從事セルモノハ總テ之ニ從ハサルヘカラス左ニ其細目ヲ擧ケテ詳ニ之ヲ説明セン

(第一) 保險營業ハ官許ヲ得サレハ之ヲ爲スコトヲ得ス蓋シ監督ノ便宜ヲ得セシメンカ爲メニ此規定ヲ設ケタルナリ(商法第六百八十九條)

(第二) 保險營業ヲ爲ス者ハ年々支拂フヘキ被保險額ノ少クトモ平均二倍ノ準備金ヲ設ケサルヘカラス此準備金ハ充分安全ナル方法ニ依リ之ヲ利用スルコトヲ得ルモ其證券ハ裁判所ニ寄託スルヲ要ス但シ其之ヨリ生スル收入ハ營業者ニ歸ス(商法第六百九十條)此規定ニ付テハ聊カ疑問アリ即チ營業開始ノ年ヨリ之ニ從ハサルヘカラサルヤ否ノ問題是ナリ今ヤ右ノ規定ニ依レハ保險料其他

ノ收入ヲ以テ年々積立ヲ爲スヘシトアリ然ルニ今日ヨリ保險營業ヲ開始スル會社アラソニ直ニ保險料ノ收入アルヘキ筈ナシ既ニ其積立ヲ爲スヘキ淵源タル保險料ナキ以上ハ事實上此規定ニ從フコト能ハス是ニ於テ乎準備金ノ淵源ナキモノト雖モ之ヲ設ケサルヲ得サルヤノ問題ヲ生ス然レトモ是レ皮相ノ見ニシテ苟モ營業ヲ始ムル以上ハ何時保險額ヲ支拂ハサルヘカラサルヤハ豫メ期セサルヘカラス蓋シ此規定ノ精神タル被保險額ノ支拂ニ差支ナカラシメンコトヲ目的トスルモノナルカ故ニ此積立金ハ開業ノ初年ト雖モ之ヲ爲スコトヲ要スルヤ明ナリ從テ營業ノ最初ヨリ此規定ヲ守ルヘキモノニシテ第二年目ヨリ之ヲ守ルヘシトノ理由ナシ然ラハ此被保險額ヲ年々支拂フニ付テハ如何ナル手續ニ依ルヤト云フニ先ツ其年ニ支拂フヘキ被保險額ノ豫算ヲ爲シ之ニ從ヒテ此準備金ヲ定ムヘキモノニシテ決シテ保險料其他ノ收入金ナキ以上ハ此準備金ヲ備ヘサルモ可ナリトノ規定ニアラス果シテ然ラハ該條文ハ少シク穩當ナク少クモト云フモ誣言ニアラサルナリ

(第三) 保險營業者ハ少クトモ毎年一回其年ノ收支一覽表及ヒ貸借對照表ヲ作り

テ之ヲ公告シ且ツ各社員及ヒ各被保險者ニ之ヲ送達スルノ義務アリ(商法第六百九十一條)此規定タル要スルニ營業ノ現狀ヲ明ニセシメ一ハ取引入ノ注意ヲ惹起シ一ハ監督ノ便ニ供スルニ在リ從テ此規定ハ極メテ肝要ナルモノナレトモ各被保險者ニ對シテ之ヲ送達セサルヘカラサルモノト爲シタルハ聊カ過當ノ義務ヲ營業者ニ負擔セシメタルニアラサルヤノ疑アリ抑モ被保險者ナル者ハ全國ニ涉リ或ハ全世界ニ散シ其數非常ニ多ク或ハ旅行シ或ハ住居ヲ變スルコト屢々ニシテ其住所ヲ確ムルコトハ實ニ至難ノ事業ニ屬ス然ルニ此等ノ者ニ一々收支一覽表及ヒ貸借對照表ヲ送達セサルヘカラストセハ其困難實ニ名狀スヘカラサルモノアラソ如キハ保險ノ營業ヲ妨害シ其發達ヲ阻害スルモノニアラスシテ何ソヤ且夫レ第六百九十四條ニ依ルニ此等ノ義務ヲ盡サ、ルトキハ輕カラサル制裁ヲ受ケサルヲ得ス故ニ保險營業者ハ之ヲ送達スルニ當リ書留郵便等ノ方法ニ依リ以テ後日ノ證據ニ供セサルヘカラス多數ノ被保險者ニ對シテ一々此方法ヲ採ルトキハ其費用蓋シ莫大ニシテ且ツ煩勞ニ堪ヘサルモノアルヘシ是レ余カ此規定ヲ以テ保險營業者ニ過當ノ責任ヲ負ハシム

ルノ嫌アリト爲ス所以ナリ余ハ寧ロ被保險者ノ請求アルトキハ之ヲ送達スルノ義務アリト改正セラレシコトヲ切望スル者ナリ

(第四) 裁判所ハ何時ニテモ被保險者ノ申立ニ因リ保險營業ノ現況、取引ノ實況及ヒ貸借ノ關係ヲ検査スルコトヲ得此場合ニ於テ裁判所ハ一人若クハ二人以上ノ鑑定人ヲ命ジテ検査セシメ其結果ヲ被保險者ニ通知シ且ツ之ヲ公告スルノ權アリ而シテ其検査及ヒ公告ノ費用ハ保險營業者自ラ之ヲ負擔セサルヘカラス然レトモ又被保險者ハ必要ナキニモ拘ハラズ検査ノ申立ヲ爲シ又ハ惡意ヲ以テ検査ノ申込ヲ爲スコトアルヤモ知ルヘカラス此場合ニハ裁判所ハ素ヨリ其申立ヲ却下スルヲ得ルノミナラス若シ誤ツテ検査ヲ行ヒタルトキハ其費用ヲ申立人ノ負擔ニ屬セシムルコトヲ得ヘシ斯ノ如ク裁判所ハ保險營業ヲ検査スルノ權利ヲ有スル所以ノモノハ要スルニ監督ヲ嚴格ニシ弊害ヲ未萌ニ防遏スルノ趣旨ニ外ナラス而シテ此検査權ハ審クニ裁判所之ヲ有スルノミナラス行政官廳ニモ亦此權利アリ唯タ裁判所ト行政官廳ノ間ニ存スル區別ハ裁判所ハ被保險者ノ申立ニ依ラサレハ之ヲ検査スルコトヲ得サルモ行政官廳ハ申立

ノ有無ニ拘ハラズ職權ニ依リ進メテ之ヲ検査ヲ行フコトヲ得ルノ點ニ在ルノミ又茲ニ行政官廳ト稱スルハ保險營業ヲ監督スル官廳即チ農商務省及ヒ其委任ヲ受ケタル官廳ヲ指スモノトス(商法第六百九十二條)

(第五) 保險營業者カ一種類ノ營業ヲ爲スニ止マラス尙ホ他種類ノ保險營業ヲモ爲スカ又ハ全ク別種ノ營業ニ從事スル場合ニハ其各營業ヨリ生スル收入ハ之ヲ各營業ニ區別シテ積立テ及ヒ使用セサルヘカラス蓋シ此規定ヲ設ケタル所以ハ斯ク數種ノ營業ヲ兼スル場合ニ於テ若シ其收入ヲ混同スルトキハ一ノ營業ヨリ生スル失敗ハ自カラ他種ノ營業ニ其影響ヲ及ホシ爲メニ被保險者ヲ害スルノ結果ヲ來タスカ故ニ此弊害ヲ豫防セントスルニ在リ而シテ此規定ハ保險營業者ノ破産セル場合ニモ亦之ヲ適用スヘキモノナレハ其結果一ノ保險營業ニ付テ破産スルモ他ノ營業ニハ毫モ影響ヲ及ホサ、ルモノトス(商法第六百九十三條)

(第六) 保險者カ以上述ヘタル第二乃至第五ノ規定ニ背反シ又ハ被保險者總員ノ承諾ヲ得スシテ他ノ營業者ト合併シ又ハ豫メ被保險者ニ告知シ置キタル保險

營業ノ規則ヲ變更シ又ハ事實上其規則ヲ犯シタルトキハ各被保險者ハ豫告ヲ爲サスシテ何時ニテモ保險契約ヲ解除シ且ツ其拂込ミタル現支拂期間ノ保險料總額ノ償還及ヒ其拂込ミタル日ヨリ法律上ノ利息ヲ請求スル權利アリ(商法第六百九十四條)本條ニモ亦現支拂期間ナル言辭アレトモ屢々説明シタルカ如ク甚タ穩當ヲ得サルモノト信スロエレル氏ノ起草セル獨逸文草案ヲ見ルニ現支拂期間ノ文字ヲ用ヰスシテ現保險期間トアリ惟フニ是レ翻譯ノ際其意ヲ誤リテ現保險期間ヲ現支拂期間トセシモノナラン然ラハ何カ故ニ現支拂期間ト云フトキハ其當ヲ失スルヤト問フニ結局左ノ場合ノ如キ不都合ヲ惹起スレハナリ例ヘハ今生命保險ノ場合ニ十個年間二千圓ノ保險ニ付シ且ツ保險料ハ毎年二百圓ヲ支拂フヘキノ契約ヲ取結ヒタル者アリト假定セン乎十個年間ハ所謂保險期間ニシテ毎年ハ保險料ノ支拂期間ナリ然ルニ保險者カ第六年目ニ至リ其規則ニ違背シタルニ依リ被保險者契約ノ解除ヲ申込ミタリトセン乎保險者ハ被保險者ニ對シテ現支拂期間ノ保險料總額即チ第六年目ノ保險料二百圓ト法律上ノ利息トヲ支拂ヘハ全ク義務ヲ免ルヘシ果シテ然ラハ保險者ハ自

ラ規則ニ違背シタルカ爲メニ却テ大ナル利益ヲ取得スルノ結果ヲ生セントス天下豈ニ此理アラシヤ之ヲ要スルニ現支拂期間ナル言辭ハ現保險期間ナル意味ニ解釋セサルヘカラサルモノトス

(第七) 破産法ノ通則ニ依レハ債務者カ支拂ヲ停止セル場合ニアラサレハ債權者ハ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス然レトモ保險營業ノ場合ニ於テハ縱令保險者ハ未ダ支拂ヲ停止セサルモ既ニ將來義務ヲ履行シ得サルコトヲ豫知シ得ル實況ニ至リタルトキハ被保險者ハ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ヘシ是レ普通破産法ト相異ナレル點ナリ即チ普通破産法ニ依レハ債務者カ現實支拂ヲ爲シ得サルコト明カナラサルヘカラスト雖モ保險法ニ於テハ良シヤ現時ハ支拂ヲ爲シ得ルモ將來義務ヲ履行スルヲ得サルコトヲ豫知シ得ヘキトキハ被保險者ハ直チニ破産宣告ノ申立ヲ爲スコトヲ得ルモノトス(商法第六百九十五條)

(第八) 保險營業者ハ其營業地ヲ支配スル裁判所ノ裁判權ニ服從セサルヘカラスト若シ本店ノ所在地以外ニ於テ代辦人ヲ以テ保險契約ヲ取結フ者アルトキハ其代辦人ニ與ヘタル權限ノ如何ニ拘ハラス該契約ニ付テハ代辦人ノ營業地ヲ管

轄スル裁判所ノ裁判權ニ服從セサルヘカラス且ツ別ニ其裁判所ニ差出スヘキ
裁判上ノ代人ヲ定メサルヘカラサルノ義務アリ若シ之ヲ定メサルトキハ其代
辨人ヲ以テ裁判上ノ代人ト看做スヘシ(商法第六百九十六條)此規定タル蓋シ一
ニハ監督ノ便宜ヲ計リ且ツ被保險者ヲ保護セントスルニ在リ

(第九) 内國ニ在ル外國保險營業者ノ代辨店ハ之ヲ支店ト看做シ支店ニ關スル一
般ノ規定及ヒ本章ノ規則ヲ適用ス(商法第六百九十七條)是レ亦監督上便宜ヲ得
ントスルニ在リ

(第十) 社員相互ノ保險ヲ目的トシテ設立シタル會社ニ在テハ社員ノ權利及ヒ義
務殊ニ保險料ノ支拂、追拂、會社負債ノ支拂其他會社利益ノ分配、計算書ノ提出ニ
關スルモノハ其會社ノ契約若クハ定額ニ從ヒテ之ヲ定メ其不充分ナル場合ニ
在テハ保險法ノ規定ニ依リテ之ヲ定ムルモノトス(商法第六百五十九條)蓋シ此
場合ハ廣ク被保險者ヲ募集シテ保險契約ヲ締結スルニアラスシテ唯々社員間
ニ該契約ヲ締結スルニ過キス從テ普通ノ場合ト異ナリ會社ノ利益ハ各被保險
者其分配ヲ受ケルコト、ナリ各社員ハ被保險者ト同時ニ保險者ノ地位ニ立ツ

ノ有様ナルカ故ニ此等ノ營業ハ一ニ其會社契約ニ依リテ權義關係ヲ定メ唯々
其契約ニ不充分ノ點アルトキニ限り保險法ノ規定ヲ適用スルモノナリ

第二編 各論

第一章 海上保險

第一節 海上保險ノ目的物

抑モ海上保險ハ海上一切ノ危險ヲ擔保スルモノナレハ苟モ航海中危險ニ罹ルノ
恐アル財産上ノ利益ハ凡テ此保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ今其最モ重モナ
ルモノヲ舉ケレハ即チ左ノ如シ(商法第九百五十三條)

(第一) 船舶 海上保險ノ目的物中最モ重要ニシテ又最モ普通ナルモノヲ船舶ト
爲ス海上保險法ニ於テ謂フ所ノ船舶ハ雷ヲニ船體ヲ指スノミナラズ其附屬品
即チ帆檣、端艇其他武器及ヒ海員ニ供給スル食糧并ニ一切ノ船具ヲ包含スルモ
ノナリ元來普通ノ海商法ニ依レハ運賃モ亦船舶中ニ包含セラル、カ故ニ從テ
又船舶ノ負擔スヘキ責任ハ其運賃ニモ及フモノトス是ニ於テ乎海上保險法ニ
於テモ亦船舶ニハ運賃ヲモ包含スルモノナルヤ否ノ疑問ヲ惹起スヘシ而シテ

各論
海上保險
ノ目的物

草案起稿者ロエスレル氏ハ其草案ニ於テ運賃モ亦船舶中ニ包含セラルヘシト説明セリ然レトモ何レノ邦國ノ保險法ニ於テモ運賃ト船舶トハ劃然之ヲ區別セルノミナラス我商法海商編ニ於テモ貨物運送賃及ヒ旅客運送賃ハ特ニ船舶ト區別シテ之ヲ掲ケタリ然ラハ則チ船舶中ニハ運賃ヲ包含セサルモノナルコト明瞭ナリト云フヘシ故ニ運賃ニ付テモ亦保險契約ヲ締結セント欲セハ必ス特ニ運賃ナル標目ヲ掲ケテ其契約ヲ爲サ、ルヘカラサルモノトス

(第二) 運送貨物 保險法ノ歴史ニ徵スルニ海上保險ノ目的物中最モ古キモノハ即チ運送貨物ナリ元來保險法ノ商業社會ニ發達シタル原因ハ船舶ヲ保險スルカ爲メニ非スシテ實ニ運送貨物ヲ保險スルニ在リシナリ然ラハ保險法上運送貨物トハ如何ナルモノヲ指稱スル乎ト云フニ船舶ヲ以テ特ニ運送スル貨物ヲ意味スルニ外ナラス故ニ船客ノ携帶品海員ノ所持品其他此等ノ者ノ衣服指環腕環ノ如キハ其人ト共ニ運送セラル、ニハ相違ナシト雖モ保險法ニ於テハ之ヲ運送貨物ト認メサルカ故ニ若シ此等ノ物ニ就テ保險契約ヲ取結ハント欲セハ特ニ之カ契約ヲ爲サ、ル可カラス當事者ノ間單ニ運送貨物ノ保險契約ヲ取

結シタルニ過キサル場合ニハ此等ノ物品ハ決シテ其契約ニ包含スルコトナシ而シテ通常運送貨物ニ付テ保險契約ヲ取結シタル場合ニ於テハ損失ノ起リタル當時船舶内ニ存在スル總テノ運送貨物ニ就キ該契約ヲ取結セリト推測スルモノナリ現ニ佛蘭西學者ノ說ニ依ルモ通常航海中或ル港ニ寄泊シ其貨物ノ一部分ヲ陸揚シ他ノ貨物ヲ積載シタルトキハ保險者ニ於テハ新タニ積載シタル物ヲモ保險スヘキ義務アリトセリ英國判決例ニ依ルモ亦同シ然レトモ甲板上ニ積載セル貨物ハ危險ヲ冒スコト最モ大ナルヲ以テ特別ノ契約ヲ取結フニアラサレハ保險者ハ此等ノ貨物ヲ保險スルノ責任ナシ唯タ其責任ヲ負擔スルハ特別ノ契約ヲ爲シタルカ又ハ甲板上ニ積載運送スル一般ノ慣習アル場合ニ止マル而已

(第三) 貨物運送賃及ヒ旅客運送賃 我商法第九百二條及ヒ第九百十三條ノ規定ニ依レハ貨物運送賃ハ貨物ヲ到達港ニ送致シタルトキニアラサレハ之ヲ請求スルコトヲ得ス故ニ若シ不幸ニシテ運送中其貨物ヲ喪失シタルトキハ船長ハ運送賃ヲ請求スルノ權利ナシ乃チ知ル運送賃ノ債權ハ貨物ヲ到達港ニ安着セ

シムルノ條件ニ繫ルモノナルコトヲ故ニ船長ハ貨物運賃ヲ保險ニ付シテ之ヲ保護スルノ要アリ是レ我邦ノ商法ニ於テモ又歐米諸國ノ法律ニ於テモ共ニ貨物運送賃ヲ保險ニ付スルコトヲ許ス所以ナリ然レトモ佛蘭西法律ニ於テハ貨物運送賃ハ保險ニ付スルコトヲ許サズ是レ蓋シ同國保險法ニ於テハ將來取得スヘキ利益ハ之ヲ保險ノ目的物ト爲スコトヲ許サ、ルヲ以テナリ

旅客運送賃モ其性質ニ於テハ別ニ貨物運送賃ト異ナルコトナシ唯タ旅客運送賃ハ通常前拂ナルモ貨物運送賃ハ後拂ナルノ差異アルノミ

英米保險法ニ依レハ運送賃ナル言詞ヲ極メテ廣義ニ解釋シ當ニ貨物運送賃ノミヲ指スニ止メスシテ船舶ノ賃貸料其他船主カ自己ノ貨物ヲ運送シ因テ收取スル所ノ利益ヲモ尙ホ之ニ包含セシム然レトモ我商法ニ於テハ何等ノ規定ナキヲ以テ船舶ノ賃貸料等ハ之ヲ運送賃ト稱スルコト能ハス

(第四) 貨物賣却ノ利益并ニ仲買人仲立人ノ手数料 貨物ヲ賣却シテ得ヘキ利益并ニ之ヲ賣却シテ得ヘキ手数料ハ共ニ海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ是レ我商法其他獨逸、英吉利、北米合衆國、和蘭、瑞西、葡萄牙、伊太利等ノ商法ノ均シ

ク認識スル所ナリ然ルニ佛蘭西商法ハ前ニ述ヘタルト同一ノ理由ニ依リ此等ノモノハ保險ノ目的物ト爲スコトヲ許サズ英吉利ノ判事ローレンス氏ハバークレー對クローシンスノ事件ニ於テ此點ヲ論シテ曰ク抑モ保險ハ補償ノ契約タルハ敢テ論ヲ俟タサル所ニシテ此精神ハ寸時モ忘却スヘカラス夫ノ佛商法カ將來ノ利益ヲ保險ニ付スルコトヲ許サ、ルモ畢竟此補償ノ意味ヲ固執シタルモノナリ然レトモ海上事業ニ於テ直接ニ危險ヲ受クヘキモノハ單ニ運送貨物ノミナラス其貨物ノ到達港ニ達シタル後之ヲ處分シテ當然得ヘキ利益モ亦併セテ喪失スルノ恐レアリ換言セハ商人カ海上ニテ貨物ヲ喪失シタルトキハ其現實ノ貨物ト其貨物ヨリ當然生スル利益ヲモ併セテ之ヲ失フモノナリ而シテ保險法カ商業資本ヲ保護スル以上ハ其資本ヨリ生スル利息ヲ保護セサルノ理由ナシ故ニ將來得ヘキ利益ハ保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ルモノナリト

(第五) 冒險貸借債權 冒險貸借債權ノ何タルヤハ商法第九百四十六條第一項ノ規定スル所ナリ曰ク冒險貸借ハ船長カ船籍港外ニ在テ船舶又ハ積荷ノ已ムヲ得サル需用ノ爲メ債權者ニ冒險料ヲ支拂フ約束ニテ航海中冒險抵當物ニ付テ

ノ海上危険ヲ引受ケシムル條件ヲ以テ取結ブ貸借契約アリ云々ト冒險貸借債權カ普通ノ債權ト異ナル所ノ重ナル點ハ冒險貸借債權ニ於テハ其抵當ノ目的タル冒險物カ危険ノ爲メニ消滅スルトキハ債權者ハ全ク其債權ヲ喪失スト雖モ普通ノ抵當貸借ニ於テハ唯タ從タル抵當權消滅スルニ過キスシテ主タル債權ハ毫モ消滅スルコトナシ是故ニ冒險貸借債權ハ自ラ保險ニ付シ得ヘキ性質ヲ具備スルヲ以テ海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ而シテ佛蘭西學者ノ所說并ニ同國商法ニ依レハ元金ハ之ヲ保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ルモ利息即チ冒險料ハ目的物ト爲スコトヲ得ストセリ然レトモ本邦其他諸國ノ法律ニ於テハ此利息モ亦保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ

(第六) 海損債權其他ノ船舶債權 海損債權ニ共同海損債權ト單獨海損債權トノ二種アリ(商法第九百三十條及ヒ第九百四十條)先ツ共同海損ヨリ説明セン共同海損トハ船舶貨物及ヒ運送貨即チ冒險物全體ノ安全ヲ保護センカ爲メ其一部分ヲ犧牲ニ供シ故意ニ之ヲ投棄スルノ所爲ヨリ生スル損害ヲ云フ元來船長ハ航海ノ安全ヲ計ルコトニ付テハ至重ノ責任ヲ有スルモノナリ故ニ危急存亡ノ

場合ニ於テハ貨物ノ一部ハ勿論全部又ハ船舶ノ一部ヲ自由ニ投棄シテ其全體ノ安全ヲ計ルノ權利義務アリ共同海損ハ即チ斯ル所爲ヨリ生シタル損害ノ謂ニシテ此名稱アルハ積荷ノ全額ト船舶及ヒ運送貨ノ半額トヲ以テ此損失ヲ負擔セサルヘカラサルニ因ルナリ換言スレハ冒險物ヲ所有セル者ハ共同シテ其海損ヲ負擔セサルヘカラス然レトモ一度安全ヲ得タルモ再ヒ同様ノ危険ニ遭遭シ更ニ犧牲ニ供セラレタルトキハ其所有者ハ賠償ノ義務ナシトス
 次ニ單獨海損トハ商法第九百四十條ニ規定セルカ如ク任意ニアラスシテ生シ又ハ船舶若クハ積荷ノミニ生シタル海損及ヒ費用ヲ云フ而シテ此海損ハ各所有者格別ニ之ヲ負擔スヘキモノナルヲ以テ則チ單獨海損ノ名アリ故ニ縱令冒險物全體ノ安全ヲ保護スルノ結果ヲ來タスモ故意ニ生セシメタル損害ニアラサレハ之ヲ共同海損ト稱スルコトナク猶ホ單獨海損ト謂フ而シテ此損害ハ之ヲ受ケタル者自ラ之ヲ負擔スヘキモノニシテ他ノ一般冒險者ニ對シ賠償ヲ請求スルコトヲ得ス然レトモ船長又ハ船主等ノ過失ニ出ツルトキハ之ニ對シテ賠償ヲ請求シ得ヘキコト勿論ナリ

單獨海損及ヒ共同海損ノ性質ハ以上述フル所ノ如シ從テ海上保險ノ目的物ト爲シ得ヘキモノナルコトハ別ニ説明ヲ要セス其他船舶債權ニ至リテモ亦船舶ノ消滅ハ其債權ニ直接ナル利害ノ影響ヲ及ホスモノナルカ故ニ船舶ト同シク海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ

(第七) 保險者自身ノ利益 保險者カ保險契約ヲ締結スルトキハ被保險物ニ付キ損失生シタル場合ニ於テ被保險者ニ對シ之ヲ賠償セサルヘカラス故ニ保險者ハ此責任ニ付テ更ニ保險契約ヲ取結フコトヲ得ヘシ通常之ヲ稱シテ再保險ト云フ詳言スレハ保險者カ被保險者ニ對シテ負擔スル危險ニ付キ更ニ自ラ被保險者ト爲リテ保險契約ヲ取結フモノナルカ故ニ即チ之ヲ再保險ト稱ス我商法ニ於テ保險者自身ノ利益ヲ保險ニ付スルコトヲ得トアルハ即チ此意ナリ而シテ再保險ハ原保險契約トハ全ク別物ニシテ毫末モ關係ヲ有セサルモノナリ從テ原被保險者ハ再保險者ニ對シテ賠償ヲ請求スルコトヲ得サルモノトス抑モ保險者ハ自己ノ危險ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルモノナルコト各國法律ノ一般ニ認ムル所ナリ而シテ佛蘭西法律ヲ除クノ外諸國ノ法律ニ於テハ再保險

ノ契約ニ依リ原保險金全額ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得ヘシ決シテ原保險金中ヨリ其保險料ヲ控除スルヲ要セス例ヘハ原保險額ハ一萬圓保險料ハ二千圓ナル場合ニ於テ保險者カ其利益ヲ再保險ニ付シタルトセンニ若シ危險發生スルトキハ原保險者ハ再保險者ニ對シ一萬圓ヲ請求スルコトヲ得ヘシテ原被保險者ヨリ受取リタル保險料二千圓ハ之ヲ控除スルヲ要セサルナリ佛蘭西ニ於テモエメリゴン氏ハ右諸國法律ト同一ノ意見ヲ有セリ然レトモボナエーワーラ等ノ諸氏ハ反對說ヲ主張シタリ其理由ニ曰ク原保險契約ノ保險料ハ既ニ受取リタルモノナルカ故ニ海上危險ヲ冒スモノニアラス苟モ海上危險ヲ冒サル以上ハ之ヲ保護スルノ必要ナシト此說タル敢テ一理ナキニアラス然レトモ現今一般ノ法律ニ於テハ保險料ヲ控除スルコトヲ必要トセサルナリ英國ニ於テハ十八世紀ノ半保險料ハ相場ノ昂低ヲ目的トシテ賭博ヲ爲スノ風習行ハレタルヲ以テジョーシ第二世第十九年ノ條例ニ依リ再保險ヲ禁止シ唯ク保險者カ無資力ナルカ或ハ破産又ハ死亡シタルトキノミ其再保險ヲ以テ有効ト爲セリ然レトモ此條例ハビクトリア第二十七年及ヒ第二十八年ノ條例ニ依リ廢止

セラレ現今再保險ニ付テハ何等ノ條例モ存セサルカ故ニ當事者ハ自由ニ再保險契約ヲ取結フコトヲ得ヘシ且ツ保險料ハ原保險額ヨリ控除スルヲ要セサルモノトス

以上ハ保險ノ目的物中最モ普通ニシテ又最モ主要ナルモノヲ掲ケタルニ過キサレハ此他荷モ海上ノ危險ヲ冒ス所ノモノハ總テ海上保險ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシ然レトモ茲ニ一ノ例外アリ即チ商法第九百五十三條第三項ニ規定セルモノ是レナリ同項ニ曰ク船舶乗組員ノ給料及ヒ報酬ノ保險ハ無効トスト船舶乗組員トハ船長ヲ始メ水夫其他ノ海員ヲ總稱シ給料トハ各自固有ノ職務ニ對スル報償ヲ云ヒ報酬トハ當然ノ職務以外ニ別段ノ勞働ヲ爲シ之ニ因リテ得ル所ノ報酬ヲ云フ而シテ法律ハ何カ故ニ船舶乗組員ノ給料及ヒ報酬ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ禁シタルヤト云フニ是レ畢竟公益上ノ理由ニ基キタルモノニ外ナラスシテ商法第八百八十條及ヒ第八百八十五條ノ規定ト全ク精神ヲ同ウスルモノナリ第八百八十八條第一項ニ曰ク船舶カ航海ヲ終ラサル前ニ沈没シタルトキハ海員ハ給料ノ請求權ヲ失フト蓋シ船舶カ航海ノ終ラサル前ニ沈没スルモ尙ホ給料ヲ附

與セサルヘカラストセハ則チ船舶ノ沈没スルト否トハ乗組員ノ利害ニ何等ノ影響ヲモ及ホサルカ故ニ自然船舶ノ沈没ヲ避ケル爲メ全力ヲ盡サ、ルカ如キ悞アレハナリ既ニ法律カスノ如キ規定ヲ設ケタル以上ハ乗組員ノ給料請求權ハ素ヨリ之ヲ保險ニ付スルコトヲ許サス若シ之ヲ許ストキハ公益上ノ理由ニ依リテ定メタル前項第八百八十條ノ條規ハ全然徒法ニ屬スル結果ヲ生センノミ英國ニ於テモ嘗テ運賃ハ給料ノ母ナリトノ原則アリテ存セリ而シテ運賃ハ貨物ヲ到達港ニ安全ニ運送セサレハ之ヲ收取スルコトヲ得ス若シ不幸ニシテ船舶沈没スルトキハ運賃ハ全ク之ヲ取得スルコト能ハス從テ其子タル給料モ亦之ヲ收取シ得サルノ結果ヲ生スヘシ然ルニ英國ニ於テハ現今此原則ヲ廢止セルカ故ニ海員ノ給料ハ果シテ保險ニ付スルコトヲ得ルヤ否ヤハ未ダ疑問ノ中ニ在リテ之ニ關スル判決例ノ徵スヘキモノナシ然レトモ既ニ運賃ハ給料ノ母ナリトノ根柢タル原則ノ廢滅シタル以上ハ論理上海員ノ給料ハ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルモノト斷定セサルヘカラス

被保險物ノ價格

第二節 被保險物ノ價格

保險法 各論 海上保險 被保險物ノ價格

抑々保險ハ實際生シタル損失ノ補償ヲ目的トスルモノナリ故ニ保險法ノ精神ヨリ論スレハ被保險物ノ價格ハ被保險者ヲシテ損失ノ生セザリシ場合ト同一ノ地位ニ復セシムルノ方法ヲ以テ之ヲ算定セサルヘカラス今試ニ此原則ヲ船舶貨物及ヒ運賃ノ各場合ニ適用スレハ左ノ結果ヲ生スヘシ

(第一) 船舶 船舶ハ現今ト昔日トノ間大ニ其用法ヲ異ニスル所アリ即チ昔時ニ在リテハ船舶ハ專ラ船主カ自己ノ荷物ヲ運送スルノ用ニ供シタルモノナリ然ルニ今日ニ於テハ重ニ他人ノ貨物ヲ運送シテ運賃ヲ取得スルノ機關ト爲レリ而シテ航海ヲ安全ニ終了セル後船主ハ其船舶上ニ如何ナル利益ヲ有スルヤト云フニ其船舶カ出帆當時ノ價額ヨリ航海上自然ニ生スル所ノ磨滅ノ損失ヲ控除シタル殘額ナラサルヘカラス之ヲ要スルニ船舶カ安全ニ到達港ニ到達シタルトキノ價額ヲ標準トシテ被保險利益ヲ計算セサルヘカラス換言スレハ到達港ニ於ケル價額ヲ標準トシテ被保險物ノ價額ヲ計算スヘキモノトス

(第二) 運賃 運賃上ノ被保險利益ハ船主カ船舶ヲ以テ貨物ヲ運送シテ得ヘキ純益ヲ標準ト爲シ之ヲ計算セサルヘカラス換言スレハ其總運賃ヨリ海員ノ給料

其他航海ノ諸費用ヲ控除シタル殘額ニ依リテ運賃上ノ被保險利益ヲ定ムヘキモノトス從テ運賃ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テハ被保險者ハ純運賃ノ賠償ヲ請求スルコ止マルヘキナリ

(第三) 運送貨物 運送貨物ノ價額ハ到達港ニ到着シタルトキノ價額ニ依テ之ヲ算定セサルヘカラス何トナレハ其貨物ニシテ幸ニ到達港ニ到着シタラシハ貨物主ハ同港ニ於ケル價額才ノ利益ヲ貨物上ニ有スレハナリ若シ到達港ニ到着シタルトキノ價額明瞭ナラサルトキハ積込當時ノ元價ニ運賃關稅其他積込費用ヲ合算シタルモノヲ標準トシテ之ヲ算定セサルヘカラス

以上ハ最モ嚴正ニ保險ノ性質ヨリ推論シタル計算方法ナリ然ルニ歐米各國ノ法律ハ此方法ヲ排斥セリ我海上保險法ニ於テモ亦之ヲ採用セズ然ラハ此等歐米諸國ノ法律ハ如何ナル方法ヲ採用セルヤト云フニ前顯原則ノ如ク被保險者ヲシテ毫モ損失ノ起ラザリシ當時ト同一ノ地位ニ置カシムルノ主義ニ依ラスシテ實際危險ノ開始セル當時ノ現狀ニ回復セシムルノ主義ヲ採用セリ換言スレハ被保險利益ノ價格ハ出帆港ニ於ケル價額ヲ標準トシテ之ヲ算定スヘキモノト爲セリ故

ニ此實際上ノ計算方法ト理論上ノ計算方法トチ比較セハ船舶并ニ運賃ノ保險ニ於テハ實際上ノ計算法ニ據ルヲ以テ被保險者ノ利益トシ運送貨物ノ保險ニ於テハ理論上ノ計算法ニ從フヲ以テ被保險者ノ利益トス我保險法モ亦之ト同一ノ規定ヲ設ケタリ左ニ其被保險價格算定ノ方法ヲ說述スヘシ

(一) 運送貨物ノ價額 我海上保險法ニ於テハ運送貨物ノ價額ヲ算定スヘキ方法ヲ規定セス故ニ陸上運送保險ノ規定即チ商法第六百七十五條ヲ適用シテ其價格ヲ定メサルヘカラス同條ニ依レハ價額ヲ保險證書ニ記載セサル場合ニ於テ損害ノ價額ヲ評定スルニハ最初ノ代價及ヒ附帶ノ費用ヲ標準トシテ定メ若シ之ヲ知ル能ハサルトキハ積込ノ地及ヒ時ニ於ケル普通價額若クハ市場價額ニ諸稅、保險費用、積込費用及ヒ被保險者ノ負擔ニ歸スル運送費用ヲ合算シタルモノヲ標準トス該條ニ所謂最初ノ代價トハ原價ヲ云ヒ附帶費用トハ運送費用、手數料、保險料並ニ諸稅等ヲ包含スルモノナリ又普通價額ト市場價額ノ間ニハ別ニ確然タル區別ナク畢竟商品ナレハ市場價額ニ依リ非商品ハ普通價額ニ依リ評價スヘキモノトス次ニ保險費用トハ當タニ保險契約ヲ締結スル費用ヲ指ス

ノミナラス尚ホ其契約ニ牽連セル附屬ノ費用ハ總テ之ヲ包含スルモノナリ故ニ證券印紙ハ勿論仲買人ノ手數料ヲモ合算セリ次ニ積込費用トハ實際貨物積込ノ爲メニ要スル費用ハ勿論積込準備ニ關スル費用例ヘハ荷造費ノ如キモ亦包含スルモノナリ英國法律ニ依レハ運送貨物ノ原價ニ積込費用並ニ保險費用ヲ算入シタルモノヲ以テ其價額ト爲セリ獨逸商法第八百三條及ヒ佛蘭西商法第三百三十九條ニ依レハ運送貨物カ積込ノ時日并ニ場所ニ於テ有セル價額ニ積込及ヒ保險費用ヲ合算シタルモノヲ以テ其貨物ノ價額ヲ定ムヘキモノトセリ之ヲ要スルニ現今諸國ノ法律ニ於テハ貨物上ノ被保險利益ハ貨物カ始メテ危險ヲ冒ス時ノ價額ヲ標準トシテ之ヲ算定スヘキモノトス

(二) 船舶ノ價額 此價額ヲ算定スル方法ハ商法第九百五十四條ニ規定セリ曰ク船舶ノ被保險價額ハ危險ノ始マル時及ヒ地ニ於テ船舶ノ有スル價額トスト是ニ由リテ觀レハ我法律ハ船舶ノ價額ヲ算定スルニ付テモ出帆港ノ價額ニ依ルノ主義ヲ採用セルコト明カナリ而シテ此價額中ニハ艤裝ノ入費、食料、貯蓄品其他航海準備費用并ニ前拂ヲ爲シタル水夫ノ給料等ヲ包含シ且ツ保險手數料及

ヒ保險結約費用ヲモ之ニ算入スヘキモノナリ英國獨逸及ヒ佛國法律ニ於テモ亦之ト同一ノ規定アリ

(三) 運賃ノ價額 運賃ノ價額ニ就テハ商法中何等ノ規定ナシ然レトモ歐米諸國ノ法律ニ依レハ總運賃ニ保險料、保險手数料及ヒ保險取結費用ヲ合算シタルモノナリ以テ運賃ノ價額ト爲セリ我法律ニ於テモ亦同一ノ精神ナラント信ス獨逸商法第八百四條ニ依レハ當事者ニ於テ總運賃トモ又純運賃トモ明定セサルトキハ總運賃ヲ保險ニ付シタルモノト看做ストノ規定アリ英米法律モ亦之ト同一ナリ

(四) 冒險貸借及ヒ海損債權ノ價額 商法第九百五十六條ニ依レハ此等債權ノ價額ハ冒險抵當物又ハ共擔義務ヲ負フ物ノ價額ヲ限度トシテ之ヲ算定セサルヘカラスト爲セリ而シテ債權ノ價額カ若シ冒險抵當物若クハ共擔義務ヲ負フモノ、價額ニ充タサルトキハ即チ其債權額ニ依ルヘキモノトス要スルニ債權ト擔保物トチ比較シテ其低廉ナル價額ニ依リ被保險利益ノ價額ヲ計算セサルヘカラス

海上ノ危險

第三節 海上ノ危險

海上危險トハ甚々漠然タル語辭ナレトモ一言以蔽之航海中海面ニ於テ發生スヘキ危險ヲ總稱スルモノナリ但シ總則ニ於テ述ヘタル條件ヲ具備セサルヘカラスルハ論ヲ俟タズ而シテ海上危險ハ保險法上之チ二種ニ大別スルコトヲ得其第一種ハ海上ニアラスンハ決シテ發生セサル所ノ危險ヲ云フ例ヘハ海難、衝突、坐礁、沈沒又ハ膠沙ノ如シ第二種ハ單ニ海上ニ止マラスシテ陸上ニ於テモ尙ホ起生シ得ヘキ危險ヲ云フ例ヘハ火災、盜難ノ如シ又海上ノ危險ハ之チ通常ノ危險ト特別ノ危險トニ區別スルコトヲ得而シテ特別ノ危險ハ特約ヲ結フニアラサレハ保險者ニ於テ之チ擔保スルノ義務ナシ

斯ノ如ク海上ノ危險ハ甚々汎博ニシテ逐一之チ列舉スルノ遑ナシ然レトモ其重要ナルモノチ擧クレハ商法第九百五十九條第一項ノ明示セルカ如ク暴風雨、破船、坐礁、膠沙、流水、衝突、投荷、火災、破裂、盜難及ヒ劫掠等是ナリ而シテ此等ノ危險ハ保險法上通常ノ危險ト云フ從テ海上保險ヲ取結ヒタルトキハ保險者ニ於テ此等ノ危險ヨリ生スル損失ハ當然之チ擔保セサルヘカラス又同條第二項ノ規定セル危險

即チ戰爭其他總テ國ノ處分ニ出ツル危險殊ニ掠奪、宣戰、報復、封港、鎖港、差押及ヒ之ニ類スル危險ハ保險法上非常ノ危險ト稱シ特約ヲ締結シタルトキニアラサレハ保險者ハ此等ノ危險ヲ擔保スル義務ナキモノトス

次ニ海上危險ハ如何ナル時ニ起始シ如何ナル時ニ終了スルヤノ問題ニ就キ講述セントス此問題タル保險者ノ責任ニ重大ノ關係ヲ及ホスモノナルカ故ニ此點ハ最モ明晰ナラシメテコトヲ要ス以下船舶ニ關スル危險ノ期間ヲ述ヘ次ニ運送貨物ニ於ケル危險ノ期間ニ及フヘシ

(第一) 船舶ニ關スル危險ノ期間 船舶上ノ危險ハ當事者間ニ特約アルトキハ勿論之ニ從フヘキモ若シ之ナキ時ハ航海ヲ爲スカ爲メ積荷又ハ底荷ノ積入ヲ始メタルトキニ始マリ積荷ノ船卸ヲ終了シタルトキ又ハ不當ノ遲延ナク當然遂ケ得タルトキニ終ルモノナリ是レ商法第九百五十五條ノ規定スル所タリ然ラハ所謂積入ノ始マル時トハ如何ナル時ヲ指サヤト云フニ荷物又ハ底荷ヲ船舶ニ積載センカ爲メ其陸地ヲ離レタル時ヲ云フ故ニ荷物カ未ダ本船ニ到着セサルモ荷モ其船舶ニ積載スル目的ヲ以テ端艇ニ積入レ陸地ヲ離ル、トキハ直チ

ニ危險發生スルモノナリ又所謂船卸ノ終リタル時トハ全ク陸揚ヲ遂ケタル時ヲ云フ是故ニ本船ヨリ端艇ニ轉載スルモ未ダ陸揚ヲ終ラサル以上ハ危險ハ終了シタルモノト云フヲ得ス

以上述ヘタル所ハ特約ノ存在セサル場合ニ於テ適用スヘキ一般ノ原則タルニ過キス故ニ若シ特約アルトキハ其例外タルヘキコト勿論ナリ加之實際此荷受人若シハ被保險者ニ荷物ヲ引渡スカ又ハ荷受人若シハ被保險者カ自ラ監督ヲ爲シ其荷物ヲ端艇ニ引取ルトキハ縱令陸揚ヲ終ラサル以前ト雖モ尙ホ船舶上ノ危險ハ直チニ消滅ニ歸スルモノナリ從テ其以後ニ於テハ如何ナル損失ノ生スルコトアルモ保險者ハ毫モ之ヲ補償スルノ責任ナキモノトス佛蘭西商法第三百二十八條ニ依レハ契約證書ニ於テ危險ノ期間ヲ定メサルトキハ出帆ノ時ヨリ到達港ニ到着シタル時迄ヲ其期間トスト規定セリ故ニ船舶上ノ危險ハ保險ニ付シタル船舶ノ出帆ノ時ヲ以テ始マリ到達港ニ到着シタル時ヲ以テ終ルヘシシテ我商法ノ規定トハ大ニ差異アリトス次ニ英國法律ヲ見ルニ特別ノ契約存セサルトキハ船舶上ノ危險ハ安全ニ其到達港ニ到着スル時マテ繼續シ該

港内ニ於テ無事ニ投錨シタル時ヲ以テ終了スルモノトセリ故ニ此規定ハ寧ロ佛國商法ニ類似スルモノナリ而シテ西班牙及ヒ葡萄牙ノ法律モ亦此英國法ト同一ノ原則ヲ採用シ獨逸和蘭等ノ法律ハ我商法ト同一ノ規定ヲ爲セリ

(第二) 運送貨物ニ於ケル危險ノ期間 我海上保險法ニ於テハ此事ニ就キ何等ノ規定ナシ惟フニ是一大缺點ナラン斯ク云フトキハ論者或ハ曰ハン我商法中陸上運送保險ノ規定即チ第六百七十二條第二項ハ當然海上保險ニ適用シテ此期間ヲ定ムヘキモノナリト然レトモ同條ノ規定ニ依レハ特別ノ契約アラサル時ニ於テハ運送人ニ物ノ交付ヲ始ムル時ヨリ荷受人ニ其運送物ノ引渡ヲ終了スル迄危險ハ繼續スト爲セリ而シテ此規定ハ直チニ海上保險ノ場合ニ適用スルヲ得ス何トナレハ運送人ニ貨物ヲ交付スルモ未ダ積込ヲ始メスシテ運送人ノ倉庫内ニ存在スルトキハ保險人ハ決シテ其危險ヲ負擔スルノ理由ナシ詳言セハ保險人ハ海上ノ危險ヲ擔保スルモノニシテ陸上ノ危險即チ右ニ述ヘタル運送人ノ倉庫中ニ發生シタル危險ヲモ擔保スルモノニアラサレハナリ歐米諸國ノ法律ニ依レハ運送貨物上ノ危險ハ貨物ヲ船舶ニ積載センカ爲メ海岸ヲ離ル

ルトキ直チニ發生スルモノトス獨逸商法第八百二十八條ノ規定モ亦此主義ニ基クモノニシテ貨物上ノ危險ハ貨物カ船舶ニ積込マル、ノ目的ヲ以テ海岸ヲ離レタルトキ發生シ其貨物カ到達港ノ海岸ニ到着シタルトキ終了スルモノトセリ而シテ英國法律ニ於テハ特ニ此點ニ付キ敢テ一定ノ法規ヲ設ケス從テ各場合ニ於ケル契約當事者ノ意思ヲ推測シテ此危險ノ期間ヲ認定スヘキモノトス而シテ其判決例ニ依レハ契約ニ於テ積荷ヲ爲シタルトキヨリ危險始マルコトヲ約定シタルトキハ其積荷上ノ危險ハ實際貨物ヲ船舶ニ積込ミタル時ヨリ始マルモノニシテ單ニ積込ノ爲メ貨物ヲ端艇ニ移スモ未ダ危險ヲ冒シタルモノト云フヲ得スト爲セリ又佛國法律ニ於テハ運送貨物上ノ危險ハ猶ホ船舶ト同シク其出帆ノ時ヨリ始マリ到達港ニ到着シタル時ヲ以テ終了スルモノト規定シタリ我法律ニ於テハ前ニ述フル如ク何等ノ特別ノ規定ナシト雖モ尙ホ船舶ノ危險ニ關スル主義ヲ推究シ運送貨物上ノ危險ノ終始ノ時期ヲ定ムヘキモノナリトス換言セハ運送貨物上ノ危險ハ積荷ヲ始メタル時ニ發生シ荷卸ヲ終リタル時ニ終了スヘキモノナリ此點ハ宜シク法律上明文ヲ以テ之ヲ規定スル

保險契約
ノ解除

チ可トス

第四節 保險契約ノ解除

保險契約ハ前ニ述ヘタルカ如ク最上ノ誠意ヲ必要トスル特種ノ契約ナルヲ以テ之カ解除ニ付テモ亦普通ノ契約ト其方法ヲ同クセス抑モ被保險者カ保險契約ヲ取結フニ方リテハ其契約ニ重要ノ關係ヲ有スル總テノ事實及ヒ情況ニ付キ詳細且ツ眞實ニ之カ陳述ヲ爲スノ義務アリ從テ若シ被保險者カ事實ヲ默秘シ又ハ虛偽ノ陳述ヲ爲ストキハ其善意タルト惡意タルト論セス保險者ハ其契約ヲ解除スルノ權アリトス故ニ縱令被保險者ニ於テ自ラ重要ナル事實ナリト思慮シタル情況ヲ詳述シ又ハ保險者ノ質問ニ對シ充分ニ自己ノ知ル所ヲ盡スモ尙ホ其契約ニ重要ナル情況ニ付キ虛妄若クハ不充分ノ點アルトキハ之カ解除ヲ免レサルモノトス茲ニ所謂重要ナル情況トハ其事實カ保險契約ニ至重ノ關係ヲ有シ之カ爲メニ被保險物ノ危險又ハ時期等ニ關シテ保險契約ノ締結ニ影響ヲ及ホスヘキ事情ヲ云フ又契約取結ノ後被保險物ニ付キ情況變更シ爲メニ保險者ノ引受ケタル危險ノ増加シ若クハ變更スル場合又ハ保險料ノ支拂ニ付キ明示若クハ默示ノ延

期ナキトキ契約上又ハ慣習上ノ期間ニ受取證書ト引換ニテ其支拂ヲ求ムルモ尙ホ之ヲ得サル場合ニ於テハ保險者ハ其契約ヲ解除スルヲ得ヘシ是レ保險法總則第六百五十三條及ヒ第六百五十四條ノ規定スル所ニシテ海上保險ニモ亦適用シ得ヘキモノナリ而シテ我海上保險法ニ於テハ此他ニ尙ホ特別ノ解約方法ヲ設ケタリ即チ商法第九百五十八條ノ規定是レナリ同條ニ曰ク被保險者ハ危險ノ始マル前ニ航海ヲ止メタルトキハ被保險額ノ二百分一ノ損害賠償ヲ支拂ヒテ契約ヲ解除スルコトヲ得ト法律ニ於テ斯ク契約ノ解除ヲ許シタル理由ヲ釋スルニ凡ソ海上ノ貿易ハ其損益ノ變動特ニ甚ダシク昨ハ是ニシテ今ハ非ナルコト屢々見ル所ノ現象ナリ故ニ斯ル場合ニ於テハ被保險者ハ一時其貿易品ノ發送ヲ停止スルノ必要アリ然ルニ若シ保險契約ヲ締結シタルカ爲メ隨意ニ其貿易ヲ廢止スルヲ得ストセン乎其貿易商ハ豫知シ得ヘキ莫大ノ損失ヲ袖手シテ看過セサルヘカラサルニ至リ海上ノ危險ヲ保護シテ貿易ノ發達ヲ計ラントスル海上保險ハ却テ之ヲ妨害スルノ結果ヲ來スヘシ是レ被保險者ニ契約解除ノ權ヲ與ヘタル所以ナリ

損失ノ補償

第五節 損失ノ補償

保險法 各論 海上保險 保險契約ノ解除 損失ノ補償

海上危険ノ爲メニ被保險者カ損害ヲ蒙リタルトキハ保險者ハ其損害ヲ賠償セサルヘカラス而シテ此義務ハ縱令被保險者カ船長其他ノ人ニ對シテ賠償ヲ請求シ得ヘキ權ヲ有スルトキニ於テモ決シテ消滅スルコトナシ(商法第九百六十一條)例ヘハ荷主カ貨物ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ其貨物ノ運送中船長カ故意ニ之ヲ損害スルノ行爲ヲ爲シタルトキハ荷主ハ船長ニ對シテ其損害ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得レトモ保險者ハ之ヲ口實トシテ其賠償ノ責任ヲ免ル、コトヲ得サルナリ斯ノ論スルトキハ被保險者ハ恰モ其損失ニ付テハ保險者及ヒ船長ノ雙方ニ對シテ求償權ヲ有シ法律上其一方ノ賠償ニ付テハ不當ノ利得ヲ許シタルモノニ似タリ然レトモ深ク之ヲ考究スルトキハ其謬見タルヲ知得スヘシ何トナレハ保險者カ既ニ其損害ノ全部ヲ賠償シタルトキハ被保險者カ船長其他ノ人ニ對シテ有スル求償權ハ全ク保險者ニ移轉スルカ故ニ保險者ハ此等ノ人ニ對シ被保險者ニ代リテ賠償ヲ請求シ得ヘケレハナリ若シ斯ル場合ニ於テ被保險者カ自ラ進ンテ第三者ニ對シ求償權ヲ行フカ又ハ權利ヲ拋棄シタルトキハ保險者ニ對シテ其責ヲ免ル、コトヲ得ス

抑モ如何ナル損失ハ保險者之ヲ負擔セサルヘカラスヤト云フニ不慮ノ海上危険ニ因リ生シタル損失ハ總テ之ヲ賠償セサルヘカラス尙ホ其詳細ヲ知悉セシニハ保險者ハ如何ナル損失ヲ負擔スヘキヤヲ説明スルヨリハ寧ロ其反對ノ方面ヨリ保險者カ負擔スルヲ要セサル損失ノ説明ヲ爲スヲ以テ捷徑トス而シテ我商法ノ規定モ亦此方法ヲ採用シタルカ故ニ以下保險人カ負擔セサル損失ニ就キ講述スヘシ

(第一) 水先案内料、挽船料、船舶又ハ積荷ニ付キ支拂フヘキ手数料、關稅及ヒ其他ノ諸稅 此等ノ費用ハ航海上普通ニ生スルモノニシテ決シテ不慮ノ損失ト稱スルコトヲ得ス從テ又保險者ノ負擔スヘキ限ニ在ラサルナリ

(第二) 年數、腐朽及ヒ蝨蝕ニ因リ生スル損害 此等ノ損害ハ物品ノ性質上到底免レサル所ノモノニシテ毫モ不慮ノ危険ニ因テ生シタルモノニアラス從テ保險者ノ負擔スヘキ限ニ在ラサルナリ又之ト同一ノ理由ニ依リ動物ヲ保險ニ付シタルニ自然ノ原因ノ爲メ死亡シタルトキハ縱令其死亡ノ原因ノ一部ハ船中ニ閉鎖シ以テ空氣ノ流通ヲ不完全ナラシメタルニ基因スト雖モ保險者ニ賠償ノ

責任ナカルヘシ何トナレハ海上動物ヲ運送スルニハ之ヲ船中ニ閉鎖スルハ普通ノ事ニシテ決シテ不慮ノ危険ニアラサレハナリ又酒油或ハ陶器ノ如キハ性質上多少ノ漏洩或ハ破損ヲ免レサルモノナレハ此等ノ損害モ亦保險者ノ負擔スヘキモノニアラス歐洲大陸ノ法律ハ斯ル性質ノ物品ニ付キ法律ヲ以テ保險者ノ負擔セサル損失ノ割合ヲ定ムルモ我商法ニ於テハ何等ノ規定ナキヲ以テ各場合ニ就キ事實上ノ問題トシテ其性質上免レサル損害ナルヤ將タ不慮ノ危険ヨリ生シタル損害ナルヤヲ定メサルヘカラス

(第三) 通常ノ使用ニ因リテ生シタル損耗 凡ソ物ハ有機物ヲ除クノ外使用ニ因リテ多少ノ損耗ヲ來スハ自然ノ數ナリ而シテ斯ノ如キ損害ハ人ノ豫知シ得ヘキモノニシテ非常ノ損害ニアラサルヲ以テ保險者ノ負擔スヘキ限ニ在ラサルナリ然レトモ如何ナル損失ハ普通ニシテ如何ナル損失ハ不慮ノモノナルヤナ判断スルハ實際上頗ル困難ナル場合アリ夫ノ英國裁判所ト米國裁判所トカ殆ント同一ノ事件ニ就キ全ク正反對ノ判決ヲ下シタルヨリ見ルモ亦其一班ヲ知得スヘシ例ヘハ船舶ニ屬スル錨綱カ海中ノ岩礁ニ觸レテ切斷セラレタル場合

ノ如キハ通常ノ使用ヨリ生シタル損害ナルヤ將タ不慮ノ危険ヨリ生シタル損害ナルヤヲ區別スルコト甚タ難シ而シテ英米判決例ニ依レハ斯ル損害カ若シ通常ノ碇泊場ニ於テ生シタルトキハ之ヲ通常ノ損害ト看做シ通常ノ碇泊場ニアラサル場所ニ於テ生シタルトキハ之ヲ非常ノ損害ト爲ス然レトモ通常ノ碇泊場ニ於テ起ルモ其原因カ非常ノ波濤等ニ在ルトキハ之ヲ非常ノ損害ト看做サルヘカラス

(第四) 船長又ハ海員ノ行爲ニ付キ船舶所有主ノ擔^ススヘキ責任 元來海上保險ニ於テハ被保險者自身ノ故意ノ所爲ハ勿論懈怠又ハ過失ノ所爲モ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ス何トナレハ若シ斯ルコトヲ許ストキハ之カ爲メニ生スル弊害擧テ數フヘカラサレハナリ而シテ船舶所有主カ責任ヲ帶フル所ノ船長又ハ海員ノ所爲ハ畢竟船舶所有主ノ所爲アリ故ニ斯ノ如キ行爲ヨリ生スル損失ハ保險者之ヲ負擔スルノ責任ナシ英國ノ「ロード」カンベル氏曰ク被保險者カ自己ノ不正ノ所爲ヨリ生シタル損害ノ賠償ヲ求ムルコトヲ得サルハ一般保險法ノ原則ナリト又獨逸商法第八百二十五條第一號ハ衝突ノ場合ヲ除キ船主カ責任ヲ

有スル水夫ノ所爲ニ因リ生シタル損害ハ保險者ノ負擔スヘキ限ニ在ラスト規定シ又其第四號ハ被保險者ノ過失ヨリ生スル損害及ヒ荷物又ハ將來取得スヘキ利益ヲ保險シタル場合ニ於テハ荷物ノ引渡人受取人又ハ荷物管理者ノ資格ニ於テ負擔スル過失ヨリ生シタル損害ハ保險者ノ負擔スヘキモノニアラスト規定シタリ又佛蘭西商法第三百五十二條ニ依レハ船主又ハ荷主ノ所爲若クハ過失ニ因リ損害ヲ生シタルトキハ保險者之ヲ負擔スルノ責任ナシト規定セリ之ヲ要スルニ被保險者ノ所爲又ハ被保險者カ責任ヲ有スル第三者ノ所爲ヨリ生シタル損害ハ保險者ノ負擔スヘキ限ニ在ラサルコトハ一般保險法ノ認ムル所ナリトス

(第五) 航海ノ不耐用又ハ艤裝若クハ乗組員ノ不充分ヨリ生スル所ノ損害 航海ノ不耐用トハ船體カ航海ニ適セサルヲ云ヒ艤裝ノ不充分トハ船舶ノ航海ニ必要ナル一切ノ食料石炭其他藥品等附屬品ノ缺乏スルヲ云フ乗組員ノ不充分トハ船長又ハ船員ノ數不足ナルカ又ハ員數ハ充分ナルモ無能力者アリタル場合ノ謂ナリ斯ル原因ヨリ生シタル損害ニ付テハ保險者之ヲ賠償スルノ責任ナキコト

トハ一般ノ保險法ノ確認スル所ナリ唯タ其之ヲ負擔セサル理由ニ至リテハ歐洲大陸一般ノ法律ト英米法律トノ間ニ差異アリ歐洲大陸一般ノ法律ニ依レハ船長ハ航海ヲ爲ス前其船舶ノ航海ニ耐ユルヤ否ヤヲ検査スルノ義務アリ而シテ若シ航海ニ耐ヘサルコトヲ發見シタルトキハ其航海ヲ停止シテ修繕ヲ加ヘサルヘカラス又艤裝ヲ爲スニ方リテハ相當ノ乗組員ヲ備ヘ且ツ食料品ヲ準備セサルヘカラスナルノ責任アリ從テ船長カ此等ノ義務ヲ盡サ、ル爲メ損害ヲ來シタルトキハ保險者ハ之ヲ負擔スル義務ナシトセリ之ニ反シテ英米法ハ船舶ノ不耐用艤裝其他乗組員ノ不充分ヲ一括シテ之ヲ船舶ノ不適航ト總稱シ而シテ船舶ノ適航ナルコトヲ以テ保險契約ノ一條件ト爲セリ是レ蓋シ商業並ニ人命ヲ保護スルニ於テ最モ必要ト認メタレハナリ左レハ若シ船舶不適航ナルトキハ則チ此條件ヲ欠缺シタルモノニシテ保險契約ハ無効ニ歸セサルヲ得ス今此二法ヲ比較スルトキハ其結果上大ナル差異アリ即チ大陸ノ法律ニ依レハ實際船舶ノ不適航ニ因リテ生シタル損害ニアラサレハ保險者ハ常ニ之ヲ負擔セサルヘカラス之ニ反シテ英國法律ニ依レハ荷モ船舶カ不適航ナルトキハ最初

ヨリ保險契約成立セサルヲ以テ如何ナル損害アルモ保險者之ヲ負擔スルノ責
ナシ而シテ我商法ハ全ク大陸法ノ主義ヲ採用シタルトモ此ニ主義ノ當否ハ立
法上ノ問題トシテ討究ヲ要ス可キモノナラン

(第六) 線路又ハ航海ノ變更ニ因リ生シタル損失 全地球三分ノ二ヲ占ムル渺茫
無涯ノ大洋中ニ於テモ古來ノ經驗并ニ慣習ニ依リ自ラ安全ニシテ且ツ便宜ナ
ル一定ノ線路アリ此線路ハ正當ノ線路ニシテ航海ニ從事スル者ハ能ク之ヲ了
知スト認ムヘキモノナリ是故ニ英米法律ニ於テハ此線路ヲ嚴守スルコトヲ以
テ保險契約ノ一條件ト看做セリ換言スレバ當事者ハ此一定ノ線路ヲ遵守スヘ
キ條件ヲ以テ保險契約ヲ締結シタルモノトス從テ被保險者カ猥リニ此線路ヲ
變更シタルトキハ保險契約ノ利益ヲ享クルコトヲ得ス又同法ニ依レバ保險
付シタル航海ハ相當ノ期間内ニ於テ之ヲ成就セシメサルヘカラサルノ條件ヲ
認メタリ蓋シ海上ノ保險ニ在リテハ其航海ノ時期ハ危險ニ重大ノ關係ヲ有ス
ルヲ以テ當事者ノ意思ハ此時期ニ重キ置キタルモノト推定シヘケレハナリ從
テ其航海カ若シ不相當ニ延滞スルトキハ被保險者ハ此條件ヲ破リタルモノナ

ルヲ以テ如何ナル損害アルモ保險者ニ對シテ其賠償ヲ請求スルコトヲ得ス
我商法ニ於テハ特ニ線路變更及ヒ航海ノ遲滞ヲ以テ保險契約ノ條件ヲ破リタ
ルモノト爲スノ規定ナシト雖モ保險法總則第六百五十四條ニ依レバ契約ヲ取
結ヒタル後被保險物ニ付キ其情況ニ變更ヲ生シタルニ因リ危險ノ増加シ又ハ
變更セル場合ニ於テハ保險者ハ其契約ニ羈束セラル、コトナシト規定セリ而
シテ線路ヲ變更シ又ハ航海ヲ遲延スルトキハ自ラ危險變更スルヲ以テ保險者
ハ之カ爲メ責任ヲ免ル、コトヲ得ヘシ故ニ他ノ點ヨリ之ヲ觀察スレバ保險契
約ハ航海ノ線路ヲ變更セサルコト且ツ航海ハ必ス其時期内ニ成就シ決シテ遲
滞セサルヘキコトノ二條件ヲ以テ取結ヒタルモノト論結スルヲ得ヘシ茲ニ一
言注意スヘキハ本條ニハ危險ノ増加シトノミアリテ其減少ノ場合ヲ掲ケサレ
トモ危險減少シタルトキハ保險ニ何等ノ關係ナキモノトス例ヘハ航海ノ線路
ヲ豫定ヨリ短縮スルモ單ニ保險者ノ危險ヲ減少スルニ止マリ毫モ危險變更ス
ルコトナキヲ以テ契約ノ効果ニ何等ノ影響ヲ及ホサ、ルナリ
既ニ線路ノ變更又ハ航海ノ遲延ノ事實ニシテ存在セハ其事實ノ發生以後ハ保

險者ハ全ク其責任ヲ免ル、ナリテ縱令其後ニ至リ如何ナル損害ヲ生スルトモ之カ責任ヲ負フコトナシ故ニ一度線路ヲ變更シタル以上ハ其後正當ノ線路ニ復シタルトキ發生シタル損害ニ付テモ保險者ハ尙ホ賠償ノ責任ヲ有セザルモノトス

以上述ヘタルガ如ク一旦線路ヲ變更シタル上ハ其後ノ危険ニ付テハ保險者ニ賠償ノ責任ナシ然レトモ又線路ノ變更ニシテ尙ホ正當ノ所爲タルコトアリ換言スレハ線路ノ變更アルモ保險者ノ責任ヲ釋免セサル場合アリテ存ス今其場合ナ一言センニ凡ソ被保險者カ有形上又ハ無形上ノ勢力其他正當ナル原因ノ爲メ必要上止ムヲ得スシテ線路ヲ變更シタル場合ニ於テハ其變更ハ保險法上正當ノコトニシテ保險者ノ責任ヲ釋免スルモノニアラス而シテ其重ナル場合ハ即チ左ノ如シ

(一) 必要ナル修繕ノ爲メ止ムヲ得ス線路以外ノ港ニ立寄ルモ又ハ修繕ニ必要ナル時間其港内ニ滞在スルモ正當ノ變更若クハ正當ノ延滞ナルヲ以テ保險者ハ其責任ヲ免ルコトヲ得ス

(二) 船舶カ最初出帆ノ際ニハ十分ノ海員ヲ乗込マシメタルモ中途疾病其他ノ原因ニ因リ海員ニ不足ヲ生シタルトキ之ヲ補充スルノ目的ヲ以テ線路以外ノ港ニ立寄ルモ其變更ハ正當ナルモノナルヲ以テ保險者ハ責任ヲ免ル、コトヲ得ス然レトモ最初ヨリ十分ノ海員ヲ乗込マシメサル場合ハ乗組員ノ不充分ナル理由ニ因リ保險者ヲシテ其責任ヲ免レシムルノ結果ヲ生スヘシ

(三) 船舶カ暴風雨ノ爲メ線路以外ニ漂流セル場合モ猶ホ正當ノ變更ナリ又暴風雨ヲ避ケルカ爲メ線路ヲ變更シ或ハ出帆ヲ遅延スルモ保險者ハ責任ヲ免ル、コトヲ得ス然レトモ些少ノ暴風雨ノ爲メニ出帆ヲ停止スルカ如キハ止ムヲ得サルノ延滞ニアラサルヲ以テ保險者ハ其責任ヲ免ルヘシ

(四) 敵國若クハ海賊ノ掠奪ヲ避ケンカ爲メ線路以外ニ出テ又ハ出帆ヲ延期スルモ保險者ハ責任ヲ免ル、ヲ得ス但掠奪ノ危険ハ現在ニシテ且ツ確實ナルコトヲ要ス

(五) 護衛船ヲ搜索センカ爲メ線路以外ニ出ツルモ其變更ハ亦正當ナリトス然レトモ其護衛船ヲ必要トスルニ至リタルハ船長ノ怠慢又ハ出帆ヲ遅延ニ原

因セサルコトヲ要ス且ツ近港ニ於テ護衛船ヲ得タルヘキニ殊更ニ遠港ニ赴
キテ之ヲ求ムルカ如キハ素ヨリ不當ノ所爲ナルヲ以テ保險者ハ其責任ヲ免
ルコトヲ得ヘシ

(六) 我商法ニ於テハ明白ナラサルモ英米法律ニ依レハ難船ニ因リ將ニ失ハ
トスル人命ヲ救助センカ爲メニ線路以外ニ出ツルモ不正當ノ變更ニアラス
トセリ例ヘハ航海中船舶ノ將ニ沈没セントスルヲ見テ之ヲ救助センカ爲メ
ニ線路ヲ變更スル場合ノ如シ尤モ此點ハ英米法律ニ於テモ久シク一ノ疑問
タリシカ現今ニ至リ人類ノ道義ト經濟上ノ原則トニ依リ人命ヲ救助スル爲
メ線路以外ニ脱出スルハ正當ノ所爲ナリト確認スルニ至レリ然ラハ被保險
人ハ難船ニ因リテ喪失セラレントスル貨物ヲ救助センカ爲メニ線路以外ニ
脱出スルコトヲ得ルヤ否ト云フニ米國判決例ニ依レハ斯ル場合ハ正當ノ變更
ニアラス從テ保險者ノ責任ヲ釋免スルモノニアラスト爲セリ英國ニ於テハ
此點ニ關シ未タ直接ノ判例ヲ見サレトモ其一般法理ノ傾向ハ猶ホ米國ト同
一ナルモノ、如シ又我商法ニ於テハ何等ノ明文ナキヲ以テ少クトモ一ノ疑

問タルヘキヤ明カナリ

(七) 危險カ目前ニ迫リ且ツ抗拒シ得サルトキ之ヲ避ケンカ爲メニ線路以外ニ
脱出スルモ亦其變更ハ正當ニシテ保險者ノ責任ヲ釋免スヘキモノニアラス
例ヘハ被保險船ノ水夫カ航海中海賊ノ襲撃ヲ恐レ其船舶ヲ棄テ、上陸シ又
ハ水夫カ航海前途ノ險難ヲ恐レ他ニ回航センコトヲ船長ニ強要シタルトキ
ノ如キハ縱令船長カ其方向ニ回航スルモ正當ノ變更ナリトスルカ如シ
以上ハ航路變更ノ正當ナル主要ノ場合ヲ例示シタルニ過キス之ヲ要スルニ有
形上若シハ無形上ノ勢力ニ因リ必要上止ムヲ得スシテ航路ヲ變更シタルトキ
ハ保險者ノ責任ニ何等ノ影響ヲモ及ホスコトナシトノ原則ニ歸着スルモノナ
リ
茲ニ一言注意スヘキハ航海ノ變更ト云ヒ航路ノ變更ト云ヒ孰レモ保險者ノ責
任ヲ釋免スルノ原因タル點ニ於テハ其間ニ差異ナシト雖モ其結果ニ至テハ多
少ノ差異アルヲ以テ之ヲ明確ニ區別センコトヲ要ス抑モ此二者ヲ區別スル標
準ハ果シテ如何ト云フニ航海ノ變更ハ航海其モノ、變更ニシテ航路ノ變更ハ

航海其モノヲ變更セズ唯タ航海ノ線路ヲ變更スルニ過キス例ハ東京灣ヨリ
 函館マテ航行スヘキ豫定ヲ中止シテ神戸ニ航路ヲ轉シタルカ如キハ航海其モ
 ノ、變更ナレトモ之ニ反シテ結局函館ニ赴クコトハ之ヲ止メス唯タ普通ノ航
 路ヲ通航セスシテ他ノ航路ヲ取ル場合即チ中途北海ノ新潟ニ立寄り後函館ニ
 赴クカ如キハ所謂航路ヲ變更ナリ是ヲ以テ此二者ヲ區別スルノ標準ハ畢竟保
 險者ノ擔保シタル航海ハ全ク拋棄セラレタルヤ否ノ點ニ存スヘキモノナリ換
 言セハ全ク豫定ノ航海ヲ拋棄シ他ニ其方向ヲ轉シタルトキハ航海ノ變更ニシ
 テ單ニ普通ノ線路ノミヲ變更シタル場合ハ航路ノ變更ナリト云フニ歸着ス今
 此點ヲ説明センニ英國ニ於テ最モ適當ナル實例アリ其概要ヲ述フレハ茲ニ甲
 港ヨリ乙港ヲ經テ丙港ニ航行スル船舶ヲ保險セシカ其船舶將ニ甲港ヲ出帆セ
 ントスルニ際シ船主ハ船長ニ言テ曰ク聞ク丙港ハ目下戰爭中ナリト若シ果シ
 テ真ナレハ掠奪、差押等ノ危險アルヲ以テ宜シク乙港ニ到リ其真否ヲ探究シテ
 安全ナレハ之ニ航行スヘク又不安全ナレハ必ス丁港ニ航行スヘシト故ニ船長
 ハ先ツ乙港ニ赴キ之ヲ偵察シタルニ其風評全ク眞實ニシテ丙港ニ航行スルコ

トハ頗ル危險ナルコトヲ認知セルヲ以テ遂ニ船主ノ命ニ從ヒ丁港ニ航行シタ
 リ此場合ニ於テハ航海其モノ、變更ナリヤ將タ航路ノ變更ニ止マルヤト云フ
 ニ既ニ到達港ヲ變更シタル以上ハ航海ヲ變更シタルモノト云ハサルヘカラス
 而シテ此等ノ場合ニ於テハ航海ノ變更ハ何時ヨリ起始スルヤト云フニ即チ甲
 港ヲ出帆セル時ニ在リ何トナレハ其當時既ニ到達港ニ航行スルノ意思ヲ變更
 シタルモノト看做スヘキカ故ナリ其結果トシテ縱令甲港ト乙港ノ間ニ生シタ
 ル損害ニ付テモ尙ホ保險者ハ之ヲ擔保スルノ義務ナシ然レトモ少シク事例ヲ
 更メテ乙港ヨリ航路ヲ變シタルモノトセハ甲乙兩港間ニ生シタル損害ハ保險
 者其責ニ任セサルヘカラス何トナレハ此場合ニ於テハ未タ線路ノ變更アラサ
 レハナリ斯ノ如ク航海ノ變更ト航路ノ變更トハ保險者ノ賠償責任ニ付キ重大
 ノ差異アルヲ以テ以上述ヘタル原則ニ依リ明確ニ之ヲ區別センコトヲ要ス

(第七) 船舶カ國際公法上必要トスル書類若クハ萬國ノ條約ニ依リ規定セラレタ
 ル書類ヲ具備セサルヨリシテ生シタル損失 船舶ニ於テ斯ル書類ヲ具備セサ
 ルトキハ開戦ノ際ハ其船舶カ國籍ヲ證明スルコトヲ得サル理由ヲ以テ沒收ノ

不幸ニ遭遇スル恐レアリ故ニ大洋ヲ航行スル船舶ハ必ス國籍ヲ證明スヘキ書類ヲ備フルコトヲ要ス若シ之ヲ怠リタルカ爲メ沒收等ノ不幸ニ陥リテ損害ヲ生スルコトアルモ保險者ハ賠償ノ責任ナシ

(第八) 戦争其他國ノ處分ニ係ル危險ニ由リ生シタル損失 斯ル損失ハ特約アルニアラサレハ保險者之ヲ負擔スルノ責任ナシ國ノ處分ニ係ル危險トハ掠奪封港鎖港報復又ハ差押ノ如キヲ云フ報復トハ奪取セラレタルモノヲ取戻スヲ云ヒ封港トハ相當ノ實力ヲ以テ港口ヲ警護シ船舶ノ出入ヲ禁スルヲ云ヒ鎖港トハ同シク實力ヲ以テ入港ハ之ヲ許スモ出港ヲ禁止スルヲ云ヒ差押トハ政府ノ命令ヲ以テ船舶ヲ差押フルヲ云フ此等ノ危險ハ保險法上所謂非常ノ海上危險ナルヲ以テ此危險ニ付テハ特別ノ明約アラサレハ保險者之ヲ賠償スルノ責務ヲ負擔セス

以上述ヘタル八个ノ場合ニ於テハ保險者ハ賠償ノ責任ナシ尙ホ終リニ臨シテ一言スヘキハ旅客運送貨ヲ保險ニ付スル場合ナリ此場合ニ於テハ被保險者ハ海上危險ニ遭遇シタルカ爲メ或ハ航海ヲ延長シ或ハ旅客ヲ載換ヘ或ハ避難港ニ於テ旅客ニ給養ヲ與ヘ又ハ他船ヲ以テ旅客ヲ運送シ其他食料ノ喪失若クハ減損等ヨリ生シタル旅客運送費増加額ヲ保險者ヨリ賠償セシムルノ權利アリ但シ何等ノ場合ニ於テモ保險者ハ被保險額以外ノ責任ヲ有セザルコト勿論ナリトス(商法第九百六十三條)

保險料ノ増減

第六節 保險料ノ増減

被保險者カ契約上ノ航海期間ヲ延長シタルトキハ其割合ニ應シテ保險料ヲ増加セザルヘカラサルコトハ商法第九百六十二條ノ規定スル所ナリ抑モ海上保險契約ニハ既ニ總則ニ於テ述ヘタルカ如ク航期保險時期保險及ヒ混同保險ノ三種アリ同條ノ規定ハ此三種中果シテ何レニ適合スヘキモノナルヤ先ツ試ニ第一種ノ契約ニ付キ之ヲ考察スルニ此場合ニ於テ航期ヲ延長シ之ヲ保險ニ付スルハ全ク別個ノ契約アリ故ニ保險者ハ前ト同一ノ割合ヲ以テ延長ノ保險ヲ承諾セザルヘカラサルノ義務ナシ例ヘハ茲ニ東京ヨリ上海マテノ航期保險ヲ取結ヒタル後更ニ上海ヨリ新嘉坡マテノ航海ヲ延長セル場合ニ於テハ保險者ハ東京上海間ノ保險料ト同一ノ割合ヲ以テ上海新嘉坡間ノ延長航海ヲ保險セザルヘカラサル理由

ナシ何トナレハ海上危険ノ程度ハ前後同一ナルヘキモノニアラサレハナリ次ニ
 第二種ノ保険契約ニ付テハ如何ト云フニ此契約ニ付テモ亦該規定ヲ適用スルコ
 トヲ得ス何トナレハ同條ニハ第一ニ航海期間ヲ延長シタルトキハ云々トアリテ
 單ニ時期ヲ延長シタル場合ヲ規定セサレハナリ第二ニ危険ハ時期ニ因リテ其大
 小ノ程度ヲ異ニシ決シテ四季同一ナルモノニアラス故ニ保險者ハ前契約ト同一
 ナル保險料ノ割合ヲ以テ保險契約ヲ取結ハサルヘカラサル理由ナシ然ラハ我商
 法第九百六十二條ノ規定ハ僅カニ第三種ノ混同保險ニミ適用シ得ルモノト云
 ハサルヘカラス左レトモ是レ果シテ正鵠ヲ得タルモノナルヤ否ヤ大ニ疑ヲ抱カ
 サルヲ得ス請フ試ニ之ヲ論セン抑モ航海ノ危険ハ前述ノ如ク時期ニ因リテ其程
 度ヲ同ウセス保險者カ保險契約ヲ取結ヒタルハ航海及ヒ時期ニ最モ重キヲ置キ
 自己ノ見ル所ニ因リテ保險料ヲ定メタルモノナリ然ルニ其時期既ニ經過シ目下
 危険甚々多キ時ニ際スルモ尙ホ前ト同一割合ノ保險料ヲ以テ保險契約ヲ取結ハ
 サルヘカラストセハ保險者ハ大ニ迷惑ヲ被ムルモノト云ハサルヲ得ス草案起稿
 者ロエスレル氏ハ説明シテ云ヘラシ元來保險者ハ縱令保險料ヲ増加スルモ自己

ノ意思ニ反シテ新ニ危険ヲ負擔スル義務ナキコト一般ノ原則ナリ然レトモ被保
 險者カ全航海ノ危険ヲ引受ケタルトキハ保險者ハ同一ノ割合ヲ以テ更ニ危険ヲ
 擔保スルノ義務アリト其意蓋シ或ル港ヨリ或ル港マテノ航海ヲ保險ニ付シタル
 トキニ於テ當事者カ時期ヲ定メタルハ單ニ保險料ヲ算定センカ爲メニ外ナラス
 然ルニ未タ航海ハ終了セサルニ疾ク既ニ其定メタル時期經過シタルトキハ其後
 ノ危険ニ付キテモ尙ホ同一ノ割合ヲ以テ危険ヲ負擔スルノ義務アリト云フニ在
 ラン若シ當事者ノ意思果シテ起案者ノ想像スルカ如クナランニハ商法ノ規定ハ
 不當ニアラス然レトモ通常斯ノ如キ意思ヲ以テ契約ヲ締結スル者ナカルヘク又
 保險者カ斯ノ如キ意思ナリシトハ推測スルコト能ハス何トナレハ保險者ハ危険
 カ航海及ヒ時期ニ於テ制限セラレタルカ故ニ此點ニ着眼シテ保險契約ヲ取結ヒ
 タルモノニシテ無制限ノ責任ハ何人モ之ヲ負擔スル者ナケレハナリ起稿者ノ意
 見ニ從フトキハ下ノ如キ結果ヲ生セサルヲ得ス例ヘハ或ル期限ヲ定メテ此期限
 ハ夫ノ危険最モ多キ時ト稱セラル、二百十日前ニ經過スルニ因リ低廉ノ保險料
 ヲ以テ保險契約ヲ取結ヒタリトセンニ其期限經過スルモ航海終了セサルノ理由

ニ因リ其最モ危険多キ時期ニ至ルモ尙ホ同一割合ノ保険料ヲ以テ損失ヲ擔保セサルヘカラサルニ至ルヘシ斯ル場合ニ於テハ當事者ノ意思ハ蓋シ前時期ヲ以テ契約締結ノ一要項ト爲シタルコトハ毫モ疑ナ容ルヘキモノニアラサルナリ由是觀之我商法ノ規定ハ全ク其當ヲ得タルモノト謂フヲ得ス

次ニ商法第九百六十二條ノ末段ニ然レトモ其時期ヲ短縮スル場合ニ於テハ之ヲ減スルコトヲ得ス_トアリ此規定ハ法理上其當ヲ得タルモノト信ス然レトモロエスレ_ル氏ノ言ヘル如ク期間ハ單ニ保險料ノ割合ヲ定ムルノ標準ニ過ヤストセハ期間ヲ短縮シタルトキモ亦同一ノ割合ヲ以テ保險料ヲ減スヘキヲ當然トス然ルニ我商法ハ期間ヲ延長シタルトキハ同一ノ割合ヲ以テ保險料ヲ増加シ期間ヲ減縮スルトキハ之ヲ減スルコトヲ得スト爲スハ前後ノ規定相矛盾シ其趣旨ノ貫徹セサル譏ヲ免レス惟フニ第九百六十二條ノ規定ハ宜シク一考ヲ費スヘキモノナルヘシ

委棄

性質

第七節 委棄

第一款 委棄ノ性質

委棄トハ被保險物ノ損害莫大ナル場合詳言セハ被保險物全損シタルカ又ハ全損ニ至ラサルモ之ヲ修繕スルニ多額ノ費用ヲ要シ若シハ修繕ヲ爲スノ途ナキ場合ニ於テ被保險者カ保險金額ノ全部ヲ受取ルノ條件ヲ以テ被保險物並ニ之ニ附着スル諸般ノ權利ヲ保險者ニ委付スル行爲ヲ云フ而シテ之ヲ行フニハ絶對ノ委付ヲ必要トシ被保險物ノ一部分又ハ其他ノ條件ヲ附シテ之ヲ委付スルコトヲ得ス即チ被保險物ノ全體ヲ無條件ニテ委付スルヲ必要トス

被保險物カ全ク破損シ最早從來ノ名稱ヲ付スルコトヲ得サルニ至ルトキハ保險法上之ヲ稱シテ實際上ノ全損ト云ヒ又被保險物ノ損害ハ全部ニ至ラスト雖モ之ヲ原狀ニ回復スルニハ非常ノ費用ヲ要シ或ハ之ヲ回復スルノ途ナキトキハ之ヲ法律上ノ全損ト云フ而シテ實際上ノ全損タルト法律上ノ全損タルトヲ論セス被保險者ハ被保險物ヲ保險者ニ委付シ以テ保險金額ヲ請求スルコトヲ得ヘシ

委付ノ權ハ素ヨリ被保險者ニ專屬ス從テ被保險者カ此權利ヲ實行スルト否トハ全ク其自由ニシテ保險者ヨリ強テ委付ヲ請求スルコトヲ得ス故ニ若シ被保險者カ被保險物ノ委棄ヲ欲セサルトキハ保險者ハ實際發生シタル損害ノミヲ賠償ス

保險法

各論 海上保險 委棄 委棄ノ性質

ル責任アリテ保険金全額ヲ支拂フ義務ナシ又我商法第九百六十五條ニ依レハ一且爲シタル委棄ノ申込ハ之ヲ取消スコトヲ得サルカ如シト雖モ同第九百七十一條ニ依レハ保險者之ヲ承諾セサル間ハ何時ニテモ其申込ヲ取消スコトヲ得ルニ似タリ余ハ之ヲ取消スコトヲ得サル旨ヲ明カニスルノ必要ヲ認ムルモノナリ

委棄ヲ爲シ得ヘキ場合

第二款 委棄ヲ爲シ得ヘキ場合

被保險者カ被保險物ノ委棄ヲ爲シ得ル場合ハ實際上若クハ法律上全損ニ歸シタル場合ニ限ルコト前ニ一言シタル所ノ如シ尙ホ詳細ニ其場合ヲ舉クレハ左ノ如シ(商法第九百六十五條)

(第一) 船舶カ沈没シ、破砕シ又ハ踪跡ヲ失ヒ又ハ使用ニ耐エサルトキ 沈没トハ船舶カ全ク海中ニ沈没シタルコトヲ云フ斯ル場合ニ於テハ船舶カ唯ダ沈没シタルノミニテ少シモ損害ヲ受ケサルコトアルヘシト雖モ尙ホ保險法上之ヲ全損ト看做スモノナリ何トナレハ船舶カ一タヒ海底ニ沈没スルトキハ之ヲ引揚クルニハ非常ノ日數ト費用トヲ要スルヲ以テ通例ト爲セハナリ
破砕トハ船舶ヲ組織セル諸種ノ材料カ破滅シテ最早船舶ナル名稱ヲ附スルコトヲ得サル場合ヲ云フ是レ實際上全損ノ場合ナリ

踪跡ヲ失フトハ船舶カ其所在ヲ分明ニセス永ク音信ヲ絶ナタル場合ヲ云フ此場合ニ於テモ亦保險法ハ之ヲ全損ト看做セリ然レトモ船舶カ踪跡ヲ失ヒタリト看做サル、ニハ左ノ二條件ヲ具備セサルヘカラス即チ

一、 船舶カ保險契約ノ到達港ニ達セサルコト

二、 船舶出航ノ時又ハ其船舶ニ付キ最後ノ通信アリタル時ヨリ沿岸航海ニ在リテハ六個月其他ノ航海ニ在リテハ一年ヲ經過シタルコト

是レナリ此二條件ヲ具備スレハ船舶ハ失踪シタルモノト看做サルヘシ而シテ其船舶ハ保險者カ擔保シタル航海ニ向テ出帆シタルコトノ證明アルトキハ被保險者ハ之ヲ保險者ニ委付スルコトヲ得ルモノトス故ニ例ヘハ横濱ヨリ上海マテノ航海ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ横濱ヲ出帆シタルハ上海ニ向テ航行スルノ目的ナラサルヘカラス若シ他ノ到達港ニ向ヒ航行スルノ目的ナルトキハ保險者ハ何等ノ責任ナキヲ以テ被保險物ノ委付ヲ受クヘキ義務ナシ然レトモ此等ノ條件ヲ具備スル以上ハ委棄ヲ爲スコトヲ得ヘシテ又縱令後日ニ至

リ其船舶カ再ヒ發見セラル、コトアルモ敢テ委棄ノ効力ニ影響ヲ及ホスモノ
 ニアラス佛國法律ニ依レハ失踪ヲ推定スルノ期限ヲ遠航ト近航トニ區別シ遠
 航ヲ二個年近航ヲ一個年ト爲セリ然レトモ今日ノ如ク船舶ノ速力迅速ナルコ
 ト往時ニ倍シ且ツ通信ノ便普ク開ケタル時代ニ在リテハ斯ル長日月ハ不必要
 ナルヲ以テ則チ我法律ハ前述ノ如ク之ヲ短縮セルモノナルヘシ
 有期保險即チ時期保險ニ於テハ果シテ船舶カ其期間ニ失踪シタルモノナルヤ
 否ヲ定ムルコト最モ必要ナリトス何トナレハ若シ其期間經過後ニ失踪シタル
 トキハ保險者ハ何等ノ責任ヲモ負擔セサレハナリ而シテ我保險法ニ於テハ期
 間滿了後ハ船舶ハ保險期間ニ失踪シタルモノト推定スヘキモノト爲セリ然レ
 トモ此推定タルヤ素ト一應ノ推定ナルヲ以テ保險者ニ於テ反證ヲ舉ケ之ヲ打
 破スルコトヲ得ルハ當然ナリ元來船舶カ如何ナル時期ニ失踪シタルヤハ到底
 之ヲ知ルコト能ハサルヲ以テ其證明ヲ爲スコトハ頗ル難事タリ而シテ當事者
 ノ孰レニ其責ヲ負ハシムルモ均シク穩當ヲ缺クヲ以テ保險法ハ保險者ヲ保護
 スルヨリハ寧ロ被保險者ヲ保護スルヲ妥當トシ遂ニ立證ノ責ヲ保險者ニ負ハ

シメタルモノナリ

使用ニ耐エサルトキトハ實際修繕ヲ爲スコト能ハズシテ航海ノ用ニ供シ得サ
 ルカ又ハ修繕セントスレハ莫大ノ費用ヲ要スル場合ヲ云フ是レ即チ法律上ノ
 全損ナリ

商法第九百六十八條ニ依レハ使用ニ耐エサル船舶ノ積荷ハ他ノ船舶ヲ以テ之
 ヲ到達港ニ送達スルコト能ハサル場合ニ限り委棄ヲ爲スコトヲ得若シ船長カ
 他ノ船舶ヲ以テ積荷ヲ送達シ得ルトキハ被保險者ハ積荷ヲ委棄スルヲ得ス從
 テ保險者ハ總テノ海損運送賃ノ増額及ヒ積荷ノ救助積換倉入其他ノ事由ニ因
 リテ生シタル一切ノ費用ヲ計算シテ之ヲ辨償セサルヘカラスト爲セリ故ニ斯
 ル場合ニ於テハ毫モ積荷自體ノ使用ニ耐ユルト否トヲ問フノ必要ナシ

(第二) 船舶カ坐礁、膠沙ニ罹リタル場合ニ之ヲ引卸シ修繕ヲ加ヘテ到達港マテ航
 海ヲ繼續セシムルコトヲ得ルモ保險者カ必要ナル費用ノ前貸ヲ爲サ、ルトキ
 此場合ハ使用ニ耐エサルモノトシテ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ヘシ從テ此遭
 難ノ爲メニ全ク航海ヲ繼續スルコトヲ得サルトキモ亦其申込ヲ爲シ得ルコト

論ヲ俟タス(商法第九百七十七條)

(第三) 船舶カ掠奪セラレ又ハ國ノ處分ニ因リ抑留セラレタルトキ 此場合ニ於テハ其掠奪又ハ抑留ノ事實ヲ保險者ニ通知シ其通知ヨリ六個月以内ニ判決又ハ沒収ノ言渡ナキトキニ限り委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ヘシ故ニ掠奪又ハ抑留カ有効ナリトノ判決アリタルトキハ勿論良シヤ此判決ナキモ通知ヨリ六個月ヲ經過セハ全損ト看做シ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ルモノトス蓋シ此等ノ場合ニ於テ掠奪裁判所ノ言渡アラサレハ委棄ヲ申込ムコトヲ得スト爲サン乎若シ裁判ニ數多ノ日子ヲ要スル場合ニ在リテハ其間當事者ノ權利關係ヲ不確定ノ地位ニ置カサルヲ得ス然レトモ斯ノ如キハ法律ノ最モ嫌惡スル所ナレハ勉メテ之ヲ避ケサルヘカラサルナリ是ニ於テ乎法律ハ抑留及ヒ掠奪ノ通知ヨリ六個月ヲ經過スレハ縱令裁判所ノ判決ナキ場合ト雖モ尙ホ被保險者ヲシテ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得セシムルコト、爲シタリ

佛蘭西商法第三百八十七條ニ依レハ外國ノ處分ニ因リ抑留セラレタルトキハ近海ト遠海トヲ區別シ六個月ト一箇年トノ通知期限ヲ設ケ又腐敗シ或ハ滅損

シ易キ性質ノ物品ハ尙ホ一箇月ト三箇月トノ期限ヲ設ケタリ獨逸商法第八百六十五條ニ依レハ掠奪又ハ抑留セラレタルトキハ場所ニ從ヒテ六個月九個月十二個月ノ通知期間ヲ定メタリ

船舶カ掠奪セラレタル場合ニ於テハ被保險者ハ止ムヲ得サルトキニ限り豫メ保險者ニ通知ヲ爲サヌ又ハ保險者ノ委任ナキモ保險者ニ代リテ船舶ヲ受戻スコトヲ得ヘシ今普通ニ此場合ヲ觀察スレハ法律上既ニ船舶ノ全損ト認ムル以上ハ若シ委棄ヲ爲セハ被保險物ノ所有權ハ勿論保險者ニ移ルカ故ニ其所有者ノ委任ナキ上ハ之ヲ受戻スコトヲ得サルニ似タリ然レトモ掠奪船舶ヲ受戻ス場合ノ如キハ多クハ急速ヲ要ス從テ保險者ニ通知シテ委任ヲ受クルノ機會ナカルヘク若シ強テ之ヲ受ケサルヘカラストセハ受戻ノコトタル實際上到底之ヲ行フコトヲ得サルノ結果ヲ生スヘシ加之船舶ヲ受戻ス場合ハ概ネ保險者ノ利益ニ屬スルカ故ニ斯ル特例ヲ設ケタルモノニシテ諸國ノ法制共ニ一致スル所ナリ乍去此場合ニ於テ保險者ハ自己ノ利益ヲ捨テ、必ス之ヲ引受ケサルヘカラサルニアラスシテ之ヲ引受クルト否トハ其隨意ナリ而シテ若シ之ヲ引受

ケタルトキハ勿論受戻金及ヒ受戻費用ヲ償却セサルヘカラス

(第四) 喪失又ハ毀損カ價額ノ四分三ヲ超ヘタルトキ 此場合ハ法律上ノ全損ト認ムルモノナリ蓋シ喪失又ハ毀損カ價額ノ四分三ヲ超ユルトキハ之ヲ修繕スルニハ莫大ノ費用ヲ要スヘク其結果タル殆ト全損ト異ナル所ナシ故ニ法律上之ヲ全損ト看做シ被保險者ニ委棄ノ權ヲ與フルコト、セリ而シテ此價格ヲ算定スル標準ハ出帆港ノ價額ニ依ルヘキモノトス

以上述ヘタル四個ノ場合ニ於テハ被保險者ハ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ヘシ然レトモ此委棄ヲ爲スニ付テハ法定ノ期間ヲ遵守セサルヘカラス若シ被保險者ニシテ空シク該期間ヲ經過スルトキハ委付ノ權ヲ失フモノトス詳言セハ被保險者ハ委棄ノ申込ヲ爲スコトヲ得ヘキ事實ヲ知りタル後三日内ニ其委棄ノ理由ト爲ルヘキ事實ヲ被保險者ニ通知シ且ツ六个月内ニ委棄ノ申込ヲ爲サ、ルヘカラス若シ此期間ヲ怠リタルトキハ被保險者ハ唯タ保險契約ヨリ生スル通常ノ請求權ヲ主張シ得ルニ止マリ毫モ委棄ノ結果ヲ收ムルコトヲ得サルナリ

委棄ノ効果

第三款 委棄ノ効果

委棄ニハ合意上ノモノト法律上ノモノトノ二種アリ合意上ノ委棄ノ効果ハ凡テ合意ニ因テ定マリ別ニ法律上何等ノ規定ヲ設ケス之ニ反シテ法律上ノ委棄ハ既ニ述ヘタルカ如ク法律ノ特定シタル場合ニ限ルモノナリ

法律上ノ委棄ノ効力ハ被保險者カ其委棄ノ申込ヲ承諾シタルトキ發生ス從テ被保險者ハ被保險者ノ承諾アル迄ハ其申込ヲ取消スコトヲ得ヘク若シ又被保險者カ異議ヲ唱ヘテ承諾ヲ拒ミタル場合ニ於テハ裁判所ニ請求シ有効ナリトノ判決ヲ受ケサルヘカラス是レ商法第九百七十二條第一項ノ規定スル所ナリ然レトモ立法上ヨリ論スルトキハ被保險者カ既ニ委棄ノ申込ヲ爲シ得ヘキ權利ヲ有スル以上ハ其委棄ノ効力ハ被保險者ノ承諾ノ有無ニ關セス單ニ被保險者ノ申込ニ因リテ發生スルモノト定メ一旦爲シタル委棄ノ申込ハ之ヲ取消スコトヲ得サラシムルノ簡便ナルニ若カス草案ニ於テハ此主義ヲ採リタルニ拘ハラズ審査ノ際之ヲ削除シテ現法文ノ如ク改正セラレタルハ實ニ余輩ノ惜ム所ナリ

委棄ノ効力ニシテ一度發生シタルトキハ後日ニ至リ其船舶カ救助セラレ又ハ歸航スルモ毫モ變更ヲ受クルコトナシ然ラハ委棄ノ直接ノ効力如何ト云フニ其危

險ニ遭遇シタル被保險物ハ委棄ノ効力ニ因リテ保險者ニ移轉スルモノナリ詳言セハ被保險物ニ關スル被保險者ノ權利及ヒ義務ハ總テ保險者ニ移轉シ被保險者ハ被保險價額ヲ請求スルノ權利ヲ取得スト云フニ在リ而シテ被保險物ハ何レノ日ノ現狀ニ於テ保險者ニ移轉スルモノナルヤト云フニ前日ニ遡リテ危險發生シタルトキノ現狀ニ於テ移轉スルモノトス即チ船舶カ失踪沈没掠奪或ハ毀損シタル當時ノ現狀ニ依ルヘキモノナリ而シテ夫ノ運送賃ノ如キハ積荷ヲ到達港ニ引渡シタル時ニアラサレハ請求スルコトヲ得ス且ツ其危險ノ發生前後ノ區別ニ從ヒ分割スルコトヲ得サルヲ以テ運送賃ノ全部及ヒ其ノ負擔スル義務ハ共ニ保險者ニ移轉スルモノナリ故ニ其運送賃ヲ取得スル代リニ船長及ヒ海員ノ給料モ亦保險者之ヲ支拂ハサルヘカラス然レトモ其危險發生ノ前後ニ因リ明カニ運送賃ヲ分割シ得ル場合例ヘハ危險發生前既ニ運送賃終リタル貨物ノ運送賃ノ如キハ保險者ニ移轉セサルモノトス英國及ヒ佛國法律ニ於テモ亦同一ノ規定アリ米國並ニ獨逸法ニ於テハ遭難ノ時ヲ區別シ保險者ハ其以後ノ運送賃ヲ取得スヘキモノトセリ

保險者ハ別段ノ契約ヲ締結スルコトアラサレハ委棄ノ申込ヲ受ケタル後三個月内ニ被保險額ヲ拂渡スコトヲ要ス然レトモ保險者ハ委棄ノ辯明ニ供スル證書ノ交付ヲ受ケス且ツ總テ委棄シタル物ニ係ル他ノ保險冒險貸借登記ヲ經タル債權其他ノ債權ノ通知ヲ受ケサル以前ニ拂渡ヲ爲スノ義務ナシ何トナレハ此等ノ證明書ノ有無ハ保險者ノ利害ニ關スルコト少ナカラサレハナリ(商法第九百七十條)次ニ被保險者ハ委棄ノ申込後ト雖モ被保險物ヲ救助シ又ハ取戻シ或ハ一層大ナル損害ヲ避ケンカ爲メニ可及的注意ヲ爲スノ義務アリ而シテ斯ル行爲ノ爲メ支出シタル費用ハ保險者之ヲ負擔セサルヘカラス然レトモ此等ノ義務ハ委棄ヨリ直接ニ生スル効果ニアラスシテ保險法ノ總則ノ適用ニ過キサルナリ被保險者カ若シ詐僞ヲ以テ委棄ノ申込ヲ爲シタルトキハ其制裁トシテ全ク保險上ノ權利ヲ失フノミナラス其委棄物ニ關スル債權ハ自ラ支拂フコトヲ要ス蓋シ保險ニハ詐欺行ハレ易ク殊ニ委棄ノ場合ニ於テ其最も多キヲ見ル故ニ此等ノ制裁ヲ設ケテ事ヲ未萌ニ防カントスルニ外ナラサルナリ(商法第九百七十一條)

第一章 火災保險

第一節 火災保險ノ性質

火災保險トハ當事者ノ一方カ一定ノ報償ヲ得テ他ノ一方カ火災ニ因リ蒙ルリタル財產上ノ損害ヲ賠償センコトヲ約束スル契約ナリ故ニ苟モ火災ノ爲メニ財產上ノ損害ヲ招クコトヲ恐ル、者ハ何人ト雖モ此契約ヲ取結フコトヲ得ヘシ
火災保險ノ沿革ヲ按スルニ古代ニ於テハ火災保險ハ最モ冷遇セラレタルノミナラス公益ヲ害スル毒及ナリトノ觀念ヲ以テ排斥セラレタリ蓋シ之ヲ許ストキハ財產所有者ハ其保存不注意トナリ從テ其財產ハ火災ノ爲メニ燒燬シ易ク延テ一般ノ公益ヲ害スルヲ恐レタルモノ、如シ然レトモ世上ニ於ケル實際上ノ必要ハ斯ル漠然雲ヲ攫ムカ如キ觀念ノ爲メ全ク其發達ヲ抑壓セラルトモノニアラス乍去此等ノ理由ハ多少ノ妨害タルヲ免レスシテ火災保險ノ發達ハ極メテ近世ノ事ニ屬セリ即チ千七百五十四年刊行佛蘭西法學家ポチエー氏ノ保險論ニ依レハ當時佛京巴里ニ於テハ未タ火災保險ヲ取結ヒタルモノナク全然之ヲ無効ナリトセリ唯タ同年ニ至リ始メテ海上保險會社カ火災ニ付キ保險營業ヲ爲スノ許可ヲ受ケタレトモ其結約ハ實ニ稀少ナリシト云フ然レトモ英國ニ於テハ大陸ト異ナリ

遠ク往時ニ於テ既ニ火災保險行ハレタルモノ、如シ「ミストル」マーシャル氏ノ保險論ヲ閱スルニ英國ニ於テハ一千八百二年ノ以前既ニ火災保險ハ盛行ハレタルニ當時ノ法律ニ於テハ大ニ之ヲ制限シ可成發達セシメサルノ主義ヲ以テ之ニ重稅ヲ賦課シタルニ拘ハラス尙ホ一般ニ行ハレ且ツ其發達頗ル急速タリ蓋シ同國ニ於テモ亦當時大陸ト同一ノ妄想ヲ抱キテ斯ル制限ヲ加ヘタルモノナルヘシ然ルニ今日ニ於テハ一般人ノ思想ハ非常ノ變化ヲ來シ何人ト雖モ火災保險ハ財產ノ保護上最モ有益ナル機關ノ一トシ若シ之ヲ缺クトキハ到底安全ナル商工業ノ發達ヲ望ムヘカラサルモノト認了シ法律上ニ於テモ亦獎勵至ラサルナシ其思想ノ正反對ニ變遷セル豈ニ奇ナラスヤ但シ現今ノ實際ニ於テモ火災保險ノ爲メニ多少放火或ハ財產上注意ヲ缺クノ弊ナキニアラス然レトモ他方ニ於テ其利益宏大ナルカ故ニ斯ル一小弊害ハ全ク壓倒セラレ益々發達ノ傾向ヲ見ルニ至レリ是レ今日歐米ノ商人カ其商品ニ付テハ一人トシテ火災保險ヲ締結セサルモノナキヲ以テ見ルモ明カナリ
抑モ火災保險ノ目的物ハ動產タルト不動產タルトヲ問フコトナシ而シテ動產ニ

付テハ個々ニ或ハ包括シテ之レヲ保險ニ付スルコトヲ得包括シタル動産トハ例
 ～ハ商店ノ商品家屋内ニ在ル家財收場ノ群羊書籍館ノ書籍又ハ美術館ノ美術品
 ノ如キ即チ是レナリ而シテ此等ノ包括動産ヲ保險ニ付シタルトキハ縱令其一部
 分カ増減變更スルコトアルモ保險契約ニハ何等ノ影響ヲ及ホスコトナシ故ニ包
 括物ノ一個ヲ賣却シ他ノ物品ヲ買入レタルトキニ於テモ尙ホ保險契約ノ効力ハ
 其現存セル物品ノ全體ニ及フヘキモノナリ唯ダ貨幣寶玉有價證券又ハ著述ノ草
 稿ノ如キ特ニ貴重ニシテ普通ノ價額ヲ以テ算定シ得サル物ハ特別ノ契約ヲ以テ
 保險ニ付スルコトヲ定ムルニアラスノハ之ヲ包括物中ニ包含セシムルコトヲ得
 サルモノトス

包括物保險ノ場合ニ於テハ其目的物中殊ニ商品ノ如キハ終始増減シテ寸時モ停
 滯セス故ニ朝ニ一万圓ノ物品ヲ有スルモ夕ニハ減少シテ五千圓ニ下ルコトアリ
 斯ル場合ニ於テ若シ其物品カ火災ニ罹リ燒失シタルトキハ保險者ノ賠償スヘキ
 金額ハ保險ノ特性タル補償ノ性質上ヨリ之ヲ推論シ實際發生シタル損害ヲ確定
 シテ之ヲ計算スヘキモノトス而シテ如何ナル場合ニ於テモ保險者ハ被保險額ヲ

超過シテ之ヲ賠償スヘキ義務ナシ故ニ例～ハ商品カ半減シタルトキニ危險發生
 シタルトキハ其半部ノ被ムリタル損害ヲ賠償スヘク若シ又二三倍ニ増加シタル
 トキ危險發生シタルトキハ則チ其實際發生シタル損害ヲ賠償セサルヘカラス而
 シテ其孰レノ場合ニ於テモ賠償ノ標準ヲ定ムル爲メ其損害額ヲ精確ニ算定セサ
 ルヘカラサルナリ

被保險利益

第二節 被保險利益

保險ノ總則ニ於テ説明シタル如ク保險ハ總テ補償ノ契約ナルカ故ニ被保險利益
 ヲ有セサル者ハ其契約ヲ締結スルコトヲ得サルチ原則トス特ニ火災保險ニ至リ
 テハ爲メニ放火罪ヲ獎勵スルノ恐アルチ以テ古來此補償ノ原則ヲ適用スルコト
 最モ嚴格ナリシ英國ニ於テモ古代ハ保險契約ニ被保險利益ヲ必要ト爲サ、リシ
 ノミナラス今日ニ在テモ尙ホ外國船舶ノ海上保險ニ付テハ必スシモ被保險利益
 ヲ有スルコトヲ要セス然ルニ獨リ火災保險ニ付テハ被保險利益ヲ有セサルモノ
 ハ保險契約ヲ取結フコト能ハサルモノト爲セリ

被保險利益ハ古代ニ於テハ現實ノ利益ノミヲ指示シタルモ近世ニ至リテハ之ヲ

寛大ニ解釋シ敢テ現實ノ財産タルヲ要セスシテ被保險物タル動産若クハ不動産ヲ利用シ將來利益ヲ收得スヘキ相當ノ希望ヲ有スル者モ亦タ被保險利益ヲ有スルモノトス唯タ此被保險利益ハ保險契約ヲ取結フトキト損失ノ發生シタルトキトニ於テ存在セサルヘカヲサルノミ是ヲ以テ動不動産ノ所有者ハ勿論質又ハ抵當取主賃借人用益者或ハ受寄者等ノ資格ヲ以テ之ヲ占有シ或ハ保管スル者モ亦其物ノ上ニ被保險利益ヲ有スルモノナリ何トナレハ此等ノ者ハ其目的物ノ保存上ニ於テ現實若クハ將來ノ利害ノ關係ヲ有スレハナリ例ヘハ質又ハ抵當取主ノ如キハ其目的物ニシテ安全ニ保存セラル、トキハ若シ債務者ヨリ債務ノ辨濟ヲ得サレハ則チ之ヲ賣却シテ自己ノ債權ニ充當スルコトヲ得ヘク又賃借人用益者ノ如キハ其物件ヲ使用シ又ハ収益スルノ利益ヲ取得スヘク其他運送人仲買人又ハ旅店主人ノ如キ苟モ他人ノ爲メニ財産ノ保管ヲ爲シ之ニ利害ノ關係ヲ有スル者ハ總テ其物件ノ上ニ被保險利益ヲ有スルナリ

保險契約ハ自己又ハ他人ノ計算ヲ以テ之ヲ締結シ得ルコトハ總則ニ於テ說述シタル所ナリ(商法第六百二十八條)此原則ハ素ヨリ火災保險ニモ適用スルコトヲ得ヘシ商法第六百六十條ノ規定ハ此原則ノ適用ニ外ナラス今同條ニ依レハ他人ノ物件ヲ占有シ又ハ保管スル者ハ自己ノ利益ノ爲メ又ハ所有者ノ利益ノ爲メ或ハ自己并ニ所有者ノ利益ノ爲メ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ヘシ而シテ保管者ハ所有者ノ利益ノ爲メニ保險ニ付スル場合ニ於テモ所有者ノ何人タルヲ指示シ且ツ實際其委託ノ有無ヲ問フノ必要ナク自ラ保險者ニ對シテ被保險額ヲ請求スルヲ得ヘキハ勿論ニシテ別ニ疑義ノ生スヘキ餘地ナシ唯茲ニ一ノ疑問ト爲ルヘキコトハ斯ル場合ノ契約ハ保管者カ事務管理トシテ之ヲ取結フモノナルヤ將ク代理トシテ之ヲ取結フモノナルヤノ點是レナリ我商法ニ於テハ此點甚々明瞭ナラス而シテ此二者ノ差異ヨリ生スル結果ハ若シ之ヲ事務管理ト看做ストキハ法律ニ定メタル普通ノ事務管理ヲ爲シ得ル場合ニ限リテ保險契約ヲ締結シ得ヘク若シ又之ヲ普通ノ代理ト看做ストキハ所有者カ其契約ヲ追認セサルトキハ之ヲ無効ト爲サルヘカヲ余ハ我法文ノ解釋上代理說ヲ保持スルモノナリ然レトモ兩者ノ區別ハ保險契約ノ効果上著大ナル差異アルヲ以テ修正ノ際ハ此點ヲ明カニ規定センコトヲ要ス

保管者カ其保管物ニ付キ保險契約ヲ締結シタルトキハ自己ノ利益ノ爲メナルヤ
 將タ所有者ノ利益ノ爲メナルヤノ疑ヲ生スル場合ナシトセスル場合ハ法律上
 先ツ自己ノ利益ニテ取結ヒタルモノト推定スヘキモノトス故ニ若シ所有者ノ利
 益ニテ此契約ヲ取結ヒタルコトヲ主張スル者ハ進ンテ之ヲ證明セサルヘカラサ
 ルナリ斯ル推定ヲ下ス所以ノモノハ蓋シ自己ノ利益ヲ先ニシ他人ヲ後ニスルハ
 普通ノ人情ナルノミナラス人ハ自己ノ利益ノ爲メニ法律行爲ヲ爲シタルモノト
 推測セラルヘキモノナルヲ以テナリ

占有者又ハ保管者カ自己ノ利益ノ爲メニ保險契約ヲ取結ヒタルトキハ其眞所有
 者ニ對スル自己ノ責任ヲ保護シ併セテ自己ノ損害ヲ保護スル爲メニ契約ヲ取結
 ヒタルモノト看做スヘシ何トナレハ若シ其目的物上ニ危險發生スル下キハ保管
 者等ハ一面ニ於テハ所有者ニ對シテ損害ヲ賠償スルノ責任アル場合アルヘシ又
 一面ニ於テハ自己モ亦之ヲ使用スルノ利益ヲ喪失スヘキ場合アルヘシテ畢竟
 孰レモ保管者ノ損害タルヲ失ハサレハナリ而シテ斯ル場合ニ於テ保險者ヨリ受
 取リタル賠償額ハ先ツ何レニ充當スヘキモノナルヤト云フニ我商法第六百六十

條第二項ニ依レハ先ツ第一ニ被保險者自己ノ損害ニ充テ次ニ所有者ニ對スル自
 己ノ責任ニ充ツヘシ而シテ所有者ニ對スル責任ニ充ツヘキ被保險額ノ部分ニ對
 シテハ被保險者ノ債權者ハ何等ノ請求權ヲモ有セサルモノトスル規定ヲ設ケ
 タル法律ノ精神ハ蓋シ被保險額ハ被保險利益ト同一ノモノナリトスルノ主義ニ
 基ツクモノナリ今一例ヲ舉ケテ之ヲ説明センニ例ヘハ一ノ家屋ヲ一万圓ノ火災
 保險ニ付シタル場合ニ於テハ其一万圓ナル被保險額ハ其家屋ト同一ナリト看做
 スモノナリ而シテ若シ此家屋カ不幸ニシテ燒失シタルトキハ保險者ヨリ受取リ
 タル一万圓ハ之ヲ責任ノ代償トシテ所有者ニ辨濟セサルヘカラス換言スレハ被
 保險額ハ責任ト同一ナルヲ以テ被保險者ノ債權者ハ之ニ對シテ何等ノ請求權ヲ
 有セス從テ所有者ハ被保險額ニ付キテハ他ノ債權者ニ對シテ優先權ヲ保有スト
 云フニ在リ然レトモ此規定ハ其當ヲ得タルモノニアラサルナキヲ得ノ何トナ
 レハ被保險者カ保險者ヨリ損害ノ補償トシテ得ル金額ハ普通ノ損害賠償金ト同
 一ニシテ被保險物ト同視スヘキ密接ノ關係アルモノニアラス從テ被保險者ノ債
 權者ハ所有者ト平等ニ其賠償金額ノ分配ヲ受クヘキヲ至當トス然レトモ是レ立

危險

法上ノ問題ニ屬スルヲ以テ茲ニ之ヲ詳述スルノ必要ナシ

第三節 危險

保險ハ一定ノ危險ノミヲ擔保スルモノナリ詳言セハ當事者ノ保險契約ヲ以テ定メタル危險カ其契約ノ場所ニ於テ起リタル場合ノミヲ擔保スルモノナリ是故ニ若シ危險ノ起リタル場所カ當事者ノ豫想外ナリシトキハ保險者ハ何等ノ責任ヲ負擔スルコトナシ然レトモ當事者ノ一方カ一時被保險物ノ場所ヲ變更スルモ尙ホ其保險契約ハ直チニ消滅シ又ハ解除セラル、モノニアラス蓋シ動産ノ如キハ性質上輾轉スヘキモノニシテ特ニ或ル種類ノ物ニ至リテハ場所ヲ換ユルニアラサレハ使用ノ途ナキモノアリ故ニ我商法第六百六十三條ニ於テモ動産ノ保險ハ保險證券ニ記載シタル住居其他ノ場所ニ關シテノミ効力ヲ有スルモ其契約ハ被保險物ヲ一時保險外ノ場所ニ移シタルカ爲メニ解止セラル、コトナシト規定シタリ然ラハ若シ一時被保險物ヲ保險外ノ場所ニ移轉シタル際危險發生シタルトキハ保險者ハ尙ホ其損害ヲ賠償スル責任アリヤト云フニ斯ル場合ニ於テハ保險者ハ何等ノ責任ヲモ負擔セサルモノニシテ保險ノ効力ハ其移轉ノ期間一時停止

シ爾後原場所ニ回復セラル、トキハ亦之ト相伴テ回復スルモノトス然レトモ同條ニモ明示セル如ク其規定ハ一時他ニ移轉シタル場合ニ限り之ヲ適用シ得ヘキモノニシテ若シ永久其場所ヲ變更スルノ意思ナルトキハ素ヨリ保險ヲ解除スルノ原因トナルモノナリ從テ縱令後日ニ至リ契約ノ場所ニ復歸スルコトアルモ保險ノ効力ハ回復シ得サルモノトス

建物ハ之ヲ使用スル目的ノ如何ニ因リテ其危險ニ増減ヲ來スモノナリ即チ湯屋又ハ鍛冶職ノ如キ者ノ住スル家屋ハ危險ノ發生スルコト多シ而シテ被保險人カ或目的ノ用ニ供スヘキコトヲ陳示シ保險契約ヲ取結ヒタル場合ニ於テモ將來仍ホ其使用方法ヲ繼續スヘキコトヲ擔保シタル場合ニアラサレハ其使用方法ヲ變更スルモ固ヨリ保險ヲ無効タラシムルモノニアラス又之ト同一ノ理由ニ依リ貸家ヲ保險ニ付シタル場合ニ於テ其當時ノ借屋人ハ最モ火災ニ注意ヲ用ユル人ナリシニ後ノ借屋人ハ頗ル不注意ノ者ナリトスルモ未ダ保險者ノ責任ヲ免レシムルヲ得ス何トナレハ被保險者ハ借屋人ノ性行ニ付キ擔保ノ責ヲ負ヒタルニアラサルノミナラス借家人ノ變更スルカ如キハ普通ノコトニシテ毫モ特別ナル

事情ノ變更ニアラサルヲ以テナリ然レトモ特ニ著シク危険ヲ増加シタルノ明證アル場合ハ其責任ヲ免カルヘキコト論ヲ俟タズ而シテ此危険ニ變更ヲ來シタルヤ否ヤヲ見ルニハ當事者カ其契約當時ニ於テ豫想シタル所ノモノニ依ルヲ要スル雷電ノ危険火災若クハ機關ノ破裂ノ危険火藥若クハ機關ニ原因ナル破裂ノ危険震災其他之ニ類スル危険ハ同時ニ火災ノ起ルト否トヲ問ハズ法律ハ之ヲ火災ノ危険ト同一視スルヲ以テ當事者カ火災保險ヲ取結ヒタル場合ニ別ニ反對ノ契約ナクンハ當然此等ノ危険ヲモ保險ニ付シタルモノト看做スヘシ是レ商法第六百六十六條ノ規定スル所ナリ此規定ハ二個ノ作用ヲ有ス即チ一ハ火災保險ヲ締結スレハ當然雷電震災等ノ保險ヲモ爲シタルモノト看做スニアリ二ハ雷電震災等ノ危険ノミニ付テ保險契約ヲ締結シタルトキハ火災保險ニ關スル規定ニ依リテ權利關係ヲ定ムルコト是レナリ然レトモ火災ノ危険中ニ地震ノ危険ヲ包含ストノ規定ハ果シテ我邦人一般ノ意思ニ適合スルモノナルヤ否ハ余ノ大ニ疑フ所ナリ若シ之ニ適合セストスレハ則チ此規定ハ我民情ニ適應セサルモノト謂ハサルヘカラス

損失ノ賠償

第四節 損失ノ賠償

商法第六百六十一條第一項ニ依レハ不動産ヲ保險ニ付シタルトキハ法律命令其他ノ成規又ハ契約ニ依リテ被保險者ニ毀滅シ若クハ破損シタル物ノ再築若クハ修繕ヲ爲ス義務アルトキハ保險者ハ被保險者若クハ其權利承繼人ニ對シテ其義務ヲ履行ス可キ期間ヲ定メソコトヲ裁判所ニ申立テ再築若クハ修繕ノ實施ヲ監視シ及ヒ其工事ノ捗ル割合ニ應シテ被保險額ヲ支拂フコトヲ得ルモノトセリ此規定ハ被保險額ハ被保險物ニ代ルトノ原則ニ基因シタルモノナリ例ヘハ家屋ノ賃借主ト賃貸主間ニ於テ若シ其家屋カ火災ニ罹リ燒失シタルトキハ之ヲ再築シテ更ニ貸與スヘシトノ特約ヲ爲ス場合アリ又法律若クハ特別ノ制規ニ依リテ防火線ニ當ル家屋ハ土造又ハ煉瓦造等ニテ再築セサルヘカラスト規定スルコトアリ斯ル場合ニ於テハ其家屋ノ所有者ハ之ヲ再築セサルヘカラサル義務ヲ負擔スルモノニシテ被保險額ハ當然再築ノ費用ニ供セサルヘカラス何者被保險額ハ被保險物ニ代ルヘキモノニシテ即チ家屋ト外形ヲ異ニスルモ其實同一ナルモノナレハナリ而シテ所有者カ既ニ之ヲ再築スルノ義務アル以上ハ保險者ハ其實施ヲ

監視シテ其工事ノ捗ル割合ニ應シテ被保險額ヲ支拂ヘハ差支ナキナリ而シテ若シ所有者カ其工事ニ着手スルノ時日不分明ナルトキハ保險者ハ被保險者ニ對シテ其義務ヲ履行スヘキ期間ヲ定メノコトヲ裁判所ニ申立ルコトヲ得ヘシ又同條第二項ノ規定ニ依レハ保險者ハ契約ニ依リ被保險額ノ割合ニ應シ自費ヲ以テ再築若シハ修繕ヲ爲シ又ハ第三者ヲシテ之ヲ爲サシムルコトヲ得トアリ此規定ハ要スルニ保險者ハ特別ノ契約ヲ取結ヘハ之ニ從フコトヲ得ヘキ旨ヲ規定シタルニ過キサレハ無用ノ贅文タルヘキモノナリ

商法第六百六十四條ハ自然ニ燒失シ又ハ爆發スルノ危險アル物ヲ保險ニ付シタルトキハ被保險者カ契約上若クハ相當ノ豫防方法ヲ盡サ、ル爲メニ生シタル損害ハ保險者之ヲ賠償スルノ責任ナキ旨ヲ規定セリ是レ第六百三十五條ニ規定セル被保險物固有ノ性質ヨリ生シタル損害ハ保險者賠償ノ義務ナシトノ原則ノ適用ニ外ナラス蓋自然ニ燃焼シ又ハ爆發スルノ危險アル物ハ相當ノ豫防方法ヲ盡サ、ルトキハ其危險ノ發生ハ性質上免ルヘカラサルヲ以テ之ヲ怠リタル爲メニ生シタル損害ハ保險者賠償スヘキ限ニアラサルモノトス

火災カ被保險物所在ノ場所ニ起リタルトキト其近傍ニ起リタルトキト中間ハス消防若クハ救濟處分ノ爲メニ生シタル損害及費用ハ保險者ノ負擔ニ歸スヘキモノトス又火災ノ起リタル爲メ竊盜ノ窺フ所トナリ物品ヲ竊取セラレ若クハ其他之ニ類似スル事由ニ因リ損害ヲ來シタルトキハ之ヲ火災ノ損害ト看做シ保險者ハ賠償ノ責ヲ免レス是レ商法第六百六十五條ニ規定スル所ニシテ要スルニ保險法ノ總則タル第六百三十四條ノ保險者ハ間接ノ損害ヲモ負擔セサルヘカラステフ規定ノ適用ニ外ナラス然レトモ此等ノ規定ヲ適用スルニ當リテハ注意ヲ要スヘキ點アリ即チ先ツ消防若クハ救濟處分ハ果シテ相當ナルヤ否ヲ審査セサルヘカラス若シ其處分カ適當ナラサルトキハ保險者之ヲ賠償スルノ責ナシ例ヘハ遠方ニ火災起リ敢テ類焼ノ恐レナキニ拘ハラズ大早計ニモ狼狽シテ家財ヲ運搬シ爲メニ多少ノ損害ヲ蒙ルモ保險者ハ何等ノ義務ナキカ如シ次ニ竊盜ノ災難ニ付テモ被保險者ニ過失ノ責ムヘキモノ、有無ヲ審査セサルヘカラス例ヘハ火災ニ際シテ其家財ヲ保護スルニ充分ノ餘力アルニ拘ハラズ疎忽ニモ之ヲ路傍ニ放擲シ爲メニ竊取サレタル場合ノ如キハ亦保險者ニ何等ノ責任ナキモノトス要スル

ニ保險者ハ第一、火災ノ爲メニ直接ニ生シタル損害第二、火災ノ損害ヲ防止スル爲メニ生シタル損害第三、間接ニ生シタル損害即チ竊盜其他類似ノ事由ヨリ生シタル損害ハ總テ之ヲ賠償セサルヘカテサルナリ而シテ玆ニ一言注意スヘキハ第六百六十五條ニ所謂火災カ被保險者ノ方ニ起リタルトハ被保險物ノ方ニ起リタルトノ意ニ解スヘキモノナリ何者保險ノ目的物ハ被保險物ニ在リテ被保險者ト被保險物トハ必スシモ同一場所ニ存在スルモノナラサレハナリ

最後ニ第六百六十條第三項ニ依レハ所有者又ハ其他ノ者ノ損害賠償ノ要求ニ充テシカ爲メ火災保險ニ付シタル場合ニ於テハ總則第六百三十九條ノ規定タル不足ノ額ニ付キ被保險者チ自己ノ保險者ト看做ストノ原則チ適用スルコトヲ得スシテ保險者ハ被保險額チ限度トシテ獨リ全部ノ損害チ負擔セサルヘカラスト規定セリ今普通ノ原則ニ依レハ不足保險ノ場合ニ於テハ不足ノ部分ト保險ノ部分トノ割合ニ於テ保險者、被保險者共ニ損害チ負擔スヘキモノナリ例ヘハ一万圓ノ家屋チ五千圓ノ被保險額チ以テ保險ニ付シタリトセハ若シ其家屋カ全部燒失シタルトキハ保險者ハ其損害チ折半シテ五千圓チ支拂フヘク若シ又一部ノ燒失ニ

止マリ單ニ五千圓ノ損害ニ過キサルトキハ保險者ハ二千五百圓チ支拂ヘハ足ルヘシ是レ前ニ不足保險ノ場合ニ於テ詳述シタル所ノ如シ然ルニ本條ニ於テハ特ニ此例外チ設ケテ若シ半部ノ損害チ生シタル場合ニ於テモ被保險額ノ限度マテハ總テ保險者之チ負擔セサルヘカラストセリ而シテ何故玆ニ斯ル例外チ規定セルヤ其趣旨甚タ明瞭ナラス今ロエスレル氏ノ起稿セル草案チ緋クニ斯ル規定ノ存スルチ見ス惟フニ所有者其他ノ者ノ損害ニ充ツル爲メ保險ニ付シタル場合ニ於テハ被保險者ハ所有者其他ノ者ニ對シ何程ノ責任チ有スルヤチ定ムルコトハ容易ノ業ニ非ス諸般ノ狀況チ審査シ損害賠償法ノ原理ニ據リテ之チ定メサルヘカラス老練ナル判事ト雖モ尙ホ之チ難シトス況ンヤ通常人ニ於テオヤ故ニ斯ル困難チ避ケンカ爲メニ被保險額ノ有ラン限リハ保險者ニ賠償ノ責任アリト爲シタルモノナルヘシ

土地產物ノ保險

第三章 土地ノ產物ノ保險

土地ノ產物トハ唯ニ五穀、烟草、野菜又ハ果實ノ如キ土地ノ收穫物ノミチ指スニ止マラスシテ人蠶又ハ天蠶ノ如キ產物チモ包含スルモノナリ故ニ導口之チ農產物

ノ保險ト稱スルヲ以テ其實ヲ得タルニ近シトス而シテ此保險ハ強雨、洪水、早魃、暴風雨等ノ如キ人力ト注意トヲ以テ防禦スルコト能ハサル非常ノ天災ニ對シテノミ之ヲ爲スコトヲ得ルモノトス蓋シ農産物ノ豊凶ハ土地ノ肥瘠、培養ノ厚薄、農夫ノ巧拙及勤惰其他普通ノ風雨ノ程度ニ因ルヘキハ勿論ナリ然レトモ此等ノ事項ハ保險法ノ原則上之ヲ保護スヘキ限ノモノニアラス若シ斯ル場合ニ於テ尙ホ保險ヲ許ストキハ爲メニ農夫ノ怠慢ヲ誘導シテ天産力ヲ減シ援ヒテ公益ヲ阻害スルノ結果ヲ生スヘキカ故ニ法律ハ通常ノ人力ト注意トヲ以テ豫防スルコトヲ得サル非常ノ天災ニ對シテノミ保險ヲ付スルコトヲ許シタルナリ而シテ此土地ノ産物ノ保險ニ付テハ保險ニ付シタル危険ハ洪水、早魃或ハ暴風雨等ノ其何レナルヤチ合意ヲ以テ明カニ定ムルコトヲ要ス故ニ若シ其危険ニ付キ合意ヲ欠缺シタルトキハ保險契約ハ未ダ成立シタリト云フコトヲ得サルモノナリ

農産物ノ保險ハ永クモ一ノ年ヲ限リテ其効力ヲ有ス但シ更ニ短キ期間ヲ約スルコトハ當事者ノ自由タリ若シ一ノ年以上ノ契約ヲ取結フトキハ法律上當然其期間ヲ一ノ年ニ短縮スルモノトス故ニ其餘ノ期間ニ付キテハ保險ハ全然其効力

ヲ有セサルナリ法律上斯ノ如ク農産物ノ保險ヲ一ノ年ニ限リタルハ蓋シ通常農産物ハ一ノ年以内ヲ期シテ其收穫ヲ見ルカ爲メナルヘシ然レトモ農産物ニシテ一ノ年内ニ尙ホ其收穫ヲ見サルモノ稀ニ之レナキニアラス例ヘハ藥品ノ人參ノ如キハ通例三四个年ニアラサレハ成熟セサルカ如シ從テ此類ノ農産物ニ付キ保險ヲ爲サンニハ毎年新タニ其契約ヲ締結スルノ勞ヲ執ラサルヘカラス故ニ我輩ハ法律カ其期間ヲ一ノ年ニ限リタルハ或ハ短キニ失スルナキヤチ疑ハサルヲ得ス

次ニ進テ損失ノ賠償ニ付キ講述スヘシ保險者ハ如何ナル限度ニ於テ損失ヲ賠償セサルヘカラサルヤト云フニ被保險物カ非常ノ天災ノ爲メニ損害ヲ被ムリタルトキハ其産物カ成熟シタル現狀ニ於テ有スヘキ價額ト天災後ニ有スル價額トノ差額ヲ賠償スルノ義務アリ今例ヲ舉ケテ之ヲ説明センニ例ヘハ産物カ天災ニ遭遇セシテ成熟シタルトキハ百圓ノ價額ヲ有スヘキニ一朝天災ノ爲メニ充分ノ成熟ヲ見ルコトヲ得スシテ僅カニ五十圓ノ價額ヲ有スルニ過キサルトキハ其差額五十圓ヲ支拂フヘキカ如シ而シテ若シ當事者カ豫メ被保險額ヲ定メタルトキ

ハ保險者ハ其割合ニ應シテ之カ賠償ヲ爲サ、ルヘカラス例ヘハ半部ノ收穫ヲ得
 サルトキハ保險者ハ豫メ定メタル被保險額ノ半ヲ賠償スヘキカ如シ然レトモ前
 ニ屢々述ヘタルカ如ク保險ハ補償ノ性質ヲ有スルモノナルカ故ニ當事者ニ於テ
 濫リニ被保險額ヲ定ムルコトヲ得ス從テ右ノ如キ場合ニ於テ定メタル被保險額
 カ成熟シタル現狀ニ於テ有スヘキ價額ヲ超過スルトキハ其被保險額ハ法律上何
 等ノ効力ナキモノトス從テ斯ル場合ニ於テハ豫メ被保險額ヲ定メサル場合ト同
 一ノ方法ニ依リテ保險者ノ負擔額ヲ定メサルヘカラス
 終リニ述フヘキハ保險者ハ損害ノ額カ農産物ノ有スヘキ價額ノ少クトモ四分ノ
 一ニ充タサルトキハ其賠償ノ責ニ任セサルモノナリ例ヘハ農産物カ完全ニ成熟
 セハ百圓ノ價額ヲ有スヘキニ損害額カ其四分ノ一ニ充タサルトキハ保險者ハ其
 損害ニ對シテ何等ノ義務ナキモノトス蓋シ四分ノ一以下ノ損害ハ果シテ非常ナ
 ル天災ノ爲メニ生シタルモノナルヤ將タ通常ノ災害ノ爲メニ生シタルモノナル
 ヤ換言セハ被保險者ノ怠慢ニ因ルカ又ハ其培養宜シカラサルニ因ルカ將タ又非
 常ノ天災ニ因ルカ容易ニ之ヲ判別スルコトヲ得ス故ニ法律ハ寧ロ之ヲ通常ノ損

害ト看做シ保險者ヲシテ之ヲ負擔セシメサルモノトセルナリ

運送ノ保

第四章 運送ノ保險

運送保險ハ陸上又ハ國內ノ河湖等ノ運送中ニ在ル物ヲ保險スルコトヲ云フ諸國
 ノ法律ヲ見ルニ多クハ運送保險ニ付キ特別ノ規定ヲ設ケズシテ海上保險ノ原則
 ナ適用スヘキモノトセリ特リ和蘭瑞西ノ法律ニ於テハ別ニ運送保險ノ規定ヲ設
 ケタリ我法典モ亦此等ノ法律ニ倣ヒタルモノナラン
 元來運送人ハ運送品ヲ引受ケタルトキハ其喪失毀損及ヒ引渡ノ延滞ニ付キテ其
 責ニ任セサルヘカラス從テ運送人ハ荷主ニ對シテ幾分カ保險ノ責任ヲ負擔セル
 モノナリ然レトモ運送人ノ責任ハ百般ノ損害ニ付キテ負擔スルモノニアラス殊
 ニ不可抗力ニ因リ生シタル損害ニ對シテハ何等ノ責任ヲ有セサルモノトス故ニ
 荷主ハ斯ル危險ヲ保護スル爲メニハ其運送物ニ付キ保險契約ヲ取結フノ必要ア
 リト云フヘシ又翻テ運送人ヲ見ルニ運送人ハ差出人ノ過失運送品ノ性質又ハ不
 可抗力ニ因テ生シタル損害ノ外ハ運送品ノ喪失毀損及引渡ノ延滞ニ付キ責任ヲ
 有スルモノナリ去レハ運送人モ亦其運送品ニ付キテハ利害ノ關係ヲ有スルカ故

ニ自ラ保險契約ヲ取結フ必要アリ其他荷受人仲買人等ノ如キ荷モ運送品ノ到着
 ニ付キ利害ノ關係ヲ有スル者ハ其利益ノ全額ヲ限リテ保險契約ヲ締結スルコト
 ナ得ヘシ此運送ノ期間内ニ於テ若シ被保險物ヲ他人ニ讓渡シタルトキハ保險モ
 亦當然讓受人ニ移轉ス但シ保險ノ總則タル第六百四十條ノ規定ヲ遵守セサルヘ
 カラサルハ論ヲ俟タス

運送保險ハ火災又ハ農産物ノ保險ト異ナリ全ク海上保險ト同一ノ性質ヲ有スル
 モノナリ從テ夫ノ震災火災若クハ洪水暴風雨ノ如キ一定ノ危険ヲ目的トシテ取
 結フモノニアラス運送中ニ生スル總テノ危険ヲ目的トシテ其契約ヲ締結ス故ニ
 天災ハ勿論盜難火災敵ノ威力又ハ國ノ處分等荷モ運送中生シタル不慮ノ危険ニ
 付キテハ保險者之ヲ擔保スルノ義務アルナリ故ニ當事者カ特約ヲ以テ取除キタ
 ル危険アルトキハ格別何等ノ特約ナクシテ單ニ運送保險ノ契約ヲ取結ヒタルト
 キハ保險者ハ右ニ述ヘタル總テノ場合ヲ擔保スヘキモノナリ

運送保險ノ危険ハ運送ノ全期間ニ涉ルモノナリ故ニ荷クモ此運送期間中ニ生シ
 タル損害ハ保險者之ヲ賠償セサルヘカラス而シテ運送期間ノ始終スルハ何時ナ
 リヤト云フニ之ヲ概言セハ運送ノ始マリタル時ニ始マリ運送ノ終ルト同時ニ終
 了スルモノトス然ラハ運送ハ何時ニ始マルヤト云フニ運送人カ自ラ又ハ代人ナ
 以テ差出人ヨリ運送ノ爲メ運送物ヲ受取リタルトキニ始マルモノニシテ又其運
 送ノ終了スルモノト同シク到達地ニ到着シタルトキ直チニ終ルモノニアラスシ
 テ荷受人ニ引渡スカ又ハ荷受人ノ處分ニ附シタルトキニ終ルモノトス今一例ヲ
 舉ケテ之ヲ説明セゾニ例ハ鐵道ヲ以テ運送ヲ營業トスル者ニ荷物ヲ託スルト
 キハ其荷物ハ未タ停車場ニ到着セサル間ニ危険ニ罹ルモ保險者ハ其損害ヲ賠償
 セサルヘカラス又一時運送ヲ中止シテ其物品ヲ倉庫中ニ貯藏セル際ニ危険發生
 スルモ亦同様ノ論結ヲ爲スコトナ得ヘシ然レトモ止ムナ得サルニアラスシテ故
 ラニ永ク運送ヲ延滞シ爲メニ危険ヲ増加シタルトキハ保險者ハ總則ノ規定ニ從
 ヒ其損害ヲ賠償スルノ義務ヲ免カル、モノトス
 被保險物ノ價額ヲ保險證券ニ記載シ又ハ特約ヲ以テ之ヲ定メタルトキハ其價額
 ニ基キ保險者ノ辨濟スヘキ價額ヲ定ムヘキコト論ヲ俟タス然レトモ若シ當事者
 間ニ之ヲ定メサリシトキハ如何ナル方法ヲ以テ其額ヲ定ムヘキヤト云フニ原價

ニ附帶ノ費用ヲ合算シタルモノヲ標準トシテ之ヲ判定スヘキモノトス而シテ若シ此原價ヲ知ルコトヲ得サルトキハ積込ノ時及ヒ地ノ市價ニ保險費用諸稅積込費用并ニ保險者ノ負擔ニ歸スヘキ運送費用ヲ合算シタルモノヲ標準トシテ之ヲ判定スヘキモノナリ若シ原價カ分明ナラサルトキハ普通ノ價額ニ從フノ外ナシ又總則ノ規定ニ依レハ損害ノ額ハ損害ノ時及ヒ地ニ於ケル市場ノ價額ニ依リテ之ヲ定ムルコトヲ原則トス然レトモ此原則ハ運送物ニ適用スルコトヲ得ス何トナレハ損害ノ時及ヒ地ハ此場合ニ於テハ或ハ數日ニ涉リ又ハ數地ニ跨ルコトアリ加之其損害カ山野又ハ湖上ニ起リタルトキハ素ヨリ市價ノ徵スヘキモノナケレハナリ故ニ運送保險ニ在リテハ運送ニ附シタル地若クハ到達地ノ市價ニ依ラサルヘカラス而シテ現今諸國ノ法律ニ於テハ積込地ノ市價ニ依リ此損害額ヲ定ムルノ主義ヲ採ルモノ多シ我商法モ亦此主義ニ依レリ

運送物ニ生シタル損害ハ果シテ保險者カ擔保シタル危險ノ爲メニ生シタルヤ否ヲ證明スルノ責任ハ何人ニ在リヤト云フニ保險者之ヲ證明セサルヘカラス蓋シ夫ノ農産物ノ保險ニ於テハ被保險者之ヲ證明スルノ責任アルモ運送保險ニ在リ

テハ前述ノ如ク運送中ニ生シタル百般ノ危險ヲ負擔スヘキモノナルカ故ニ先ツ保險者カ擔保シタル危險ニ因リ損害ヲ生セリトノ推測ヲ下スヘキモノナリ而シテ若シ保險者ニ於テ之ヲ爭ハントスルトキハ自ラ其證明ノ責ニ任セサルヘカラスアルコト論ヲ俟タス草案起稿者ロエスレル氏ハ更ニ他ノ理由ヲ附加シ説明シテ曰ク運送中ノ物品ヲ管理スル者ハ運送人ナリ故ニ其管理中ニ生シタル事變如何ハ運送人之ヲ悉知スルモノト云ハサルヘカラス而シテ今保險者ト被保險者トノ地位ヲ觀察スルニ保險者ハ寧ロ運送人ノ地位ニ代リテ其災害ノ性質ヲ悉知セルモノト看做スコトヲ得故ニ其危險ヲ證明スル責任ハ保險者ニ在リト然レトモ保險者ハ何故ニ運送人ノ地位ニ代ルヘキモノナルヤ甚タ了解ニ苦シマサルヲ得ス之ヲ要スルニ運送保險ノ性質上一般ノ危險ヲ擔保スル以上ハ其特別ノ危險ニ付キ賠償ヲ免レントスル者ハ之カ證明ノ責任アリト爲ヌヲ以テ最モ穩當ヲ得タルモノト信ス

第五章 生命保險

第一節 生命保險ノ歴史

生命保險
ノ歴史

保險法 各論 生命保險 生命保險ノ歴史

生命保險ノ思想ハ「ウイスビー」ノ古法ニ於テ既ニ其萌芽ヲ顯ハセリ然レトモ其好果ヲ結フニ至リタルハ極メテ輓近ノコトニ屬セリ今歐洲ノ事跡ニ付テ看ルニ英國ニ於テハ頗ル好結果ヲ以テ「ウイスビー」法典ノ萌芽ヲ培養シタリ一千六百四十年ノ古ニ於テ王廷ノ裁判所ハ保險ノ原則ハ生命ニハ適用スヘキモノニアラストノコトヲ判決セリ其事實ヲ舉クレハ船長カ或ル航海中其生命ヲ保險ニ附シタルモノナリ當時ノ裁判長ハ曰ク斯ル契約ハ法律上ノ効力ヲ與フヘキモノニアラスト然レトモ其後ニ至リ普通海上保險ノ契約ニ倣ヒテ生命保險ヲ取結フモノ輩出シ裁判所ニ於テモ從來ノ判例ヲ覆シ之ニ効力ヲ與フルコトナレリ然ラハ何レノ時代頃英國ニ於テハ生命保險ニ効力ヲ與フルニ至リタルヤト繹スルニ生命保險會社ノ設立以前ニ在ルコト甚タ分明ナリト云フヘシ蓋シ其當時ニ在リテハ僅カニ一個人カ海上保險ノ方法ニ模擬シテ生命保險ヲ締結シタリシナリ然レトモ生命保險ナルモノハ管ニ長久ノ時間ヲ要スルノミナラス其資力モ亦確實ナラサルヘカラサルヲ以テアッソントン氏ハ生命保險會社ヲ設立スルノ必要ヲ鼓吹セリ故ニ後世ニ至テ寡婦及ヒ家族ノ爲メニ養料ヲ供給スルノ方法トシテ生

命保險ヲ發見シタルノ名譽ハアッソントン氏ノ雙肩ニ懸ルコトナレリ實ニ氏ハ生命保險ノ方法ヲ獎勵スルコトニ付キテハ全力ヲ注キ且ツ之ヲ改良スルコトニ付キテハ種々ノ方案ヲ研究シタリシカ最初ハ不幸ニシテ其結果ヲ見ルコト能ハザリキ然ルニ一千六百九十年ニ於テ偶然ニモマーサーユノ會社ヲシテ此契約ヲ締結セシメ氏カ多年ノ計畫ハ茲ニ成功ヲ見ルニ至レリ爾後生命保險ハ益々昌盛ヲ極メ人民モ亦敢テ生命保險ノ組織ニ疑ヲ起シ生命保險ハ道德ニ背反ストノ思想ヲ懷クモノアルコトナシ

然ルニ歐洲大陸ヲ見ルニ全ク之レト趣キ異ニシ生命保險ナルモノハ極メテ近來ニ至ルマテ全ク不適法ノモノトシテ取扱ハレ特ニ嚴格ナル法律ヲ以テ禁セラレタリ現ニ佛王路易十四世ハ法律ヲ發布シテ生命保險ヲ嚴禁セリ今生命保險ヲ不適法ト爲スノ理由ハ何レニ在リヤト云フニ自由民ノ生命ハ金錢ヲ以テ計算シ得ヘキモノニアラス生命ハ超然トシテ金錢ノ上ニ位セリ然ルニ生命保險ヲ許ス時ハ自由民ハ品格ヲ下落シテ奴隸ト擇フ所ナキニ至ラント云フニ在リ蓋シ羅馬ニ一ノ格言アリ曰ク生命ハ凡テノ價額ノ上ニ位スト此格言當時ノ人民ノ腦裡ニ浸

染シタルモノナルヘシ

次テ米國ヲ見ルニマツサチューセツト州ノ裁判長バルカー氏嘗テ生命保險ニ關スル事件ヲ裁判スルニ當リ言ヘラシ生命保險ナルモノハ英國ヲ除キ歐洲ノ諸國ニ於テハ一般ニ獎勵セラレス否ナ管ニ獎勵セラレサルノミナラス法令ヲ以テ明カニ嚴禁セラル然レトモ如何ナル理由ヲ以テ之ヲ嚴禁スルカニ至リテハ甚ダ分明ナ欠ケリ思フニ佛國法律ニ於テ之ヲ嚴禁スルノ理由ヨリ他ニ之レナカルヘシ曰ク自由民ノ生命ニハ價值ヲ評定スルコトヲ得スト然レトモ這般ノ理由カ佛國ニ歡迎セラル、ハ眞ニ怪ムニ堪エタリ夫レ自由若クハ自由民ナル思想ハ佛國民ノ腦裡ニ存在セサルニアラスヤ英國ニ於テハ自由又ハ自由ノ權利ナル思想ノ發達セルヲ看ル然ルニ英國ニ於テ生命保險ヲ獎勵セルニ拘ハラズ自由ヲ尊重セサル佛國ニ於テ之ヲ嚴禁スルハ豈ニ咄々怪事ニアラスヤト米國ニ於テハ生命保險歐洲ヨリ輸入セラレ一時大ニ世人ノ注意ヲ惹起シ今日ニ至テハ最モ盛ニ行ハル、ニ及ヘリ然レトモ當初ニ於テハ生命保險ハ果シテ法律上有効ナリヤ否ハ一个ノ問題ニシテ實ニ一千八百十九年マツサチューセツト州上等裁判所ニ於テ論議セラ

レタリ同州ニハ素ヨリ英國法行ハル、ニ拘ハラズ尙ホ此點ニ關シテ幾多ノ紛争ヲ免ル、コト能ハサリキ裁判長バルカー氏説明シテ曰ク生命保險ニ付キテハ先例アルヲ見ス從ツテ先例ヲ以テ此問題ヲ決スル能ハサルハ勿論ナリ然レトモ今普通法ニ依ルニ凡ソ相當ニ締結セラレタル契約ニシテ有價ノ報償ヲ有シ且ツ法律ニ違背スルコトナシ又法律上一般ノ政策ニ背反セサルトキハ之レニ法律上ノ保護ヲ與ヘサルノ理ナシ又若シ此契約ヲ破リタルトキハ違約者ニ損害賠償ノ責任ヲ負ハシメサルノ理ナシ今生命保險ヲ看ルニ法律ニ違背スルコトナシ又一般ノ政策ニ背反スルコトナシ安シ此レニ法律上ノ効果ヲ與ヘサルノ理アラザト其後マツサチューセツト上等裁判所判事フレツチアー氏亦之カ説明ヲ與ヘテ曰ク從來ハ生命保險ハ不法ニシテ外國ニ於テハ特別法令ヲ以テ之ヲ嚴禁シタリ蓋シ道德ノ主義ニ背反シ且ツ濫用ノ基ヲ開クモノト爲スニ在リタリ然レトモ今日ニ於テハ全シ反對ノ見解ヲ採ルニ至レリ即チ今日ニ在リテハ最モ普通ニ又最モ廣シ行ハレ且ツ社會ニ於テモ其便益ヲ許認スルニ及ヘリト惟フニ生命保險ナルモノハ人智發達シ各其身後ノ策ヲ畫スルニ至ラハ最モ盛ニ行ハル、ニ至ル可キモ

ノタリ特ニ他人ノ庇蔭ニ生活スルモノニ在リテハ一日モ欠ク可カラサルモノナリ例ヘハ妻子ノ如シ一朝其夫又ハ父ニシテ死亡スルコトアランカ直チニ路頭ニ迷ハサルヘカラサルニ至ルコトアラン然ルニ生命保険ナルモノハ此等ノ難チ救濟スル最良ノ方法ナリトス夫ノ人ノ生命ハ金錢ノ價値ノ上ニ在リト云フカ如キハ架空ノ妄説ニシテ素ヨリ齒牙ニ懸クルニ足ラサルモノト云フヘシ

生命保険ノ定義

第二節 生命保険ノ定義

生命保険ニ廣狹ノ二義アリ之ヲ廣義ニ解スルトキハ保險者カ被保險者ヨリ保險料ヲ受取リテ或ル人ノ死亡又ハ病傷ニ因リテ生スルコトアルヘキ損害ニ付キ被保險者ニ賠償ヲ爲スコトヲ負擔スル所ノ契約ヲ云フ又狹義ニ之ヲ解スルトキハ生命ニ對スル所ノ保險ヲ云ヒ其健康即チ病傷ニ對スル保險ヲ病傷保險ト云フ人ノ生命又ハ健康ハ或ハ終身ヲ期シ或ハ期間ヲ限リテ之ヲ保險ニ附スルコトヲ得終身ヲ期シタル保險ハ之ヲ終身保險ト云フ被保險額支拂ノ期日ハ死亡ノ時若クハ病傷ノ時ヲ以テスルヲ通常トスレトモ必スシモ此時ニ限ルニアラス契約ヲ以テスルトキハ或ハ年金又ハ或ル期限ニ至リタルトキニ以テ支拂ノ期日ト爲ス

コトヲ得又狹義ノ生命保険ニ於テハ一時ニ被保險額ヲ支拂フ代リニ年金ヲ以テ支拂ヲ約束スルコトヲ得之ヲ年金保險ト云フ年金保險ノ方法ハ通常ノ保險方法ト全ク相異ナリ被保險者カ一時ニ多額ノ金圓ヲ支拂ヒ而シテ年々少額ノ金圓ヲ受取ル所ノ契約ナリ例ヘハ甲者カ一時ニ三千圓ヲ保險會社ニ支拂ヒ毎年百圓ツツ死亡ノトキマテ受取ルコトヲ約スルカ如シ然レトモ是レ單ニ積金ヲ爲シテ年金ヲ受取ルトハ大ニ異ナレリ甲者ニシテ長ク生存セハ被保險者ノ利益ヲ受クルコト從ツテ多シ決シテ普通債權ノ原則ヲ以テ之ヲ論スルコトヲ得サルナリ換言スレハ人ノ死亡スルヤ否ヤニ付キテ當事者ニ利害ノ關係ヲ及ホスヲ以テ保險ノ性質ヲ失フコトナシ又普通ノ生命保険ハ年々少額ノ保險料ヲ支拂ヒ死亡シタルトキ一時ニ多額ノ金錢ヲ受取ル契約ナリ故ニ年金保險トハ全ク相反シ利害モ亦相反ス即チ年金保險ニ在リテハ長生スルトキハ被保險者ヲ利シ普通ノ保險ニ在リテハ短命ナルトキハ被保險者ヲ利ス可シ然レトモ何レモ保險タルノ性質ヲ帶フルニ至リテハ異ナルコトナシ

生命保険ノ性質

第三節 生命保険ノ性質

保險法 各論 生命保険 生命保険ノ定義 生命保険ノ性質

抑モ生命保険ナルモノハ一般ノ保険ニ必要欠クヘカラサル性質ヲ具有セサルヘ
 カラサルコト固ヨリ論ヲ俟タス從ツテ利害ノ關係ヲ有セサル人ノ生命ヲ保險ニ
 附スルコト能ハサルナリ夫ノ船舶又ハ家屋ノ如キハ自ラ其固有ノ價額ヲ有シ又
 年ヲ經ルニ從ヒテ其價額ハ漸次減少スヘシ人モ亦然リ金圓ヲ産出スル所ノ能力
 ナ具有セリ即チ物ニ固有ノ價アルト異ナルコトナシ又老衰ニ赴クトキハ漸次其
 能力ノ耗盡スルハ猶ホ物カ老朽シテ價ヲ減スルカ如シ故ニ原則上生命保險ト其
 他ノ保險トノ間ニ區別アルヘキノ理ナシ從ツテ生命保險ハ素ヨリ補償ノ性質ヲ
 離レテ効力ヲ有ス可キモノニアラサルコト知ルヘシ然レトモ此原則ヲ生命保險
 ニ適用スルニ當テハ少シク趣キ異ニセサルヘカラサルモノアリ蓋シ船舶家屋ノ
 如キハ自ラ普通ノ價額ヲ有シ之ヲ算定スルニ容易ナリト雖モ人間ノ價額ヲ算定
 スルハ容易ナラス或ハ殆ント之ヲ評定スルコト能ハサルモノアラシ故ニ他ノ
 保險ニ於テハ被保險額ヲ定メスシテ尙ホ保險契約ヲ取結フコトヲ得若シ損害起
 リタルトキハ其時ニ於テ損害ヲ計算スレハ足レリ然レトモ人間ノ生命ハ前ニ云
 ヘル如ク之ヲ算定スルコトヲ得サルヲ以テ豫メ被保險額ヲ以テ保險契約ヲ取結

ハサルヘカラス

次ニ補償主義ノ適用ニ於テハ我保險法ハ生命保險ト其他ノ保險トノ間ニ寬嚴ノ
 差ヲ認メタリ即チ生命保險ニ於テハ此主義ヲ適用スルコト他ノ保險ニ比シテ頗
 ル寬大ナリ然ラハ如何ナル場合ニ於テ其差異アリヤト云フニ他ノ保險ニ在リテ
 ハ契約取結ノ當時補償ノ性質ヲ具有セサルトキハ其保險ハ何等ノ効力ナキモノ
 トス若シ又危險發生ノ當時ニ於テ被保險利益ヲ有セサルトキハ被保險者ハ保險
 者ニ對シテ賠償ヲ要求スルノ權ナシ然ルニ生命保險ニ於テハ契約ヲ取結フノ當
 時ニ於テ被保險利益ヲ有スルトキハ危險發生ノ當時ニ於テ此性質ヲ保有セサル
 モ尙ホ且ツ有効ナリトセリ例ヘハ甲カ乙ニ對シテ千圓ノ貸金ヲ爲ストキハ甲ハ
 乙ノ生命上ニ利害ノ關係ヲ有スルモノト云フヘシ何トナレハ乙ニシテ生存セハ
 甲ハ其債務ノ辨濟ヲ受クルノ希望ヲ有スルモ若シ乙ニシテ死亡シタルトキハ甲
 ハ遂ニ辨濟ヲ得ル能ハサルノ境遇ニ陥ルモ測ルヘカラサレハナリ故ニ甲ハ乙ナ
 ル義務者ノ生命ニ付キ自己ノ債權額ヲ限リテ保險ヲ取結フコトヲ得ヘシ而シテ
 此場合ニ於テ甲者カ乙者ノ生命ニ付キ保險契約ヲ取結ヒタリト假定セハ其契約

ハ全ク有効ナルモノニシテ縦令後日ニ至リテ甲者ハ乙者ヨリ債權ノ辨濟ヲ受ケテ被保險利益ヲ失フモ其保險契約ハ尙ホ有効ニ存續スヘキモノナリ今其理由ヲ按スルニ蓋シ生命保險ハ補償ノ性質ヲ具有スヘキハ勿論ナルモ他ニ積立金ノ性質ヲ有スルモノナルカ故ニ契約成立ノ當時ニ於テハ補償ノ性質ヲ有スルコトヲ要スルモ其後ニ至テハ全ク此性質ヲ存續スルヲ要セサルモノトス我商法第六百八十三條及ヒ第六百八十八條ニ依レハ被保險者ハ正當ナル時期ニ於テ豫告ヲ爲ストキハ契約ヲ解除シテ積立金ノ半額ヲ請求スルコトヲ得ルモノト爲セリ是レ生命保險ニ積立金ノ性質ヲ帶フルカ故ナリ而シテ此事ハ生命保險カ他ノ保險ト其性質ヲ異ニスル一大要點ナリトス

被保險利益

第四節 被保險利益

凡ソ人ハ自己ノ生命若クハ健康ニ付テ被保險利益ヲ有スルモノナルカ故ニ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルハ論ヲ俟タズ然レトモ其被保險額ニ至テハ素ヨリ普通ノ價格又ハ市價ノ徵スヘキモノナシ從テ契約當事者ハ自由ニ其被保險額ヲ定ムルコトヲ得而シテ此生命保險ニ効力ヲ付スルノ理由ニ至テハ二个ノ主義アリテ

存ス

(第一) 元來生命ナルモノハ金錢ヲ以テ其價額ヲ計算シ得ヘキモノニアラスシテ金錢ヲ以テ計算シ得ヘキモノヨリ優カニ上層ノ地位ニ立ツモノナリ故ニ生命ハ金錢上ノ利益アルカ故ニ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ヘシトノ説ハ甚ダ誤謬タルヲ免レス唯タ生命保險ニ効力ヲ付シタル所以ハ生命ニ付テ此契約ヲ取結フモ敢テ道徳又ハ法律ニ背反スルノ行爲ニアラス又一般ノ政畧ニ牴觸スルノ點アルニアラス加之契約ハ吾人カ自由ニ取結フコトヲ得ルモノナル以上ハ生命保險ニ効力ヲ與フヘカラサル理由ハ毫モ之アルナシ而シテ夫ノ賭博契約ノ如キモノトハ之ヲ同一視スルコトヲ得サルニ依レリ

(第二) 身體即チ生命ノ保存ハ人間第一ノ觀念ニ屬シ吾人ニ於テハ最モ貴重ナルモノナリ而シテ人カ生命ヲ保有シ若クハ健康ヲ傷害セサルトキハ多少金錢上ノ利益ヲ取得シ得ヘキコトハ普通ニシテ猶ホ物カ果實ヲ生スルト同シ故ニ人ハ自己ノ生命ニ付テハ金錢上ノ利益ヲ有スルモノト云フヘシ從テ之ヲ保險ニ付スルコトヲ得ルナリ